

2 集計結果

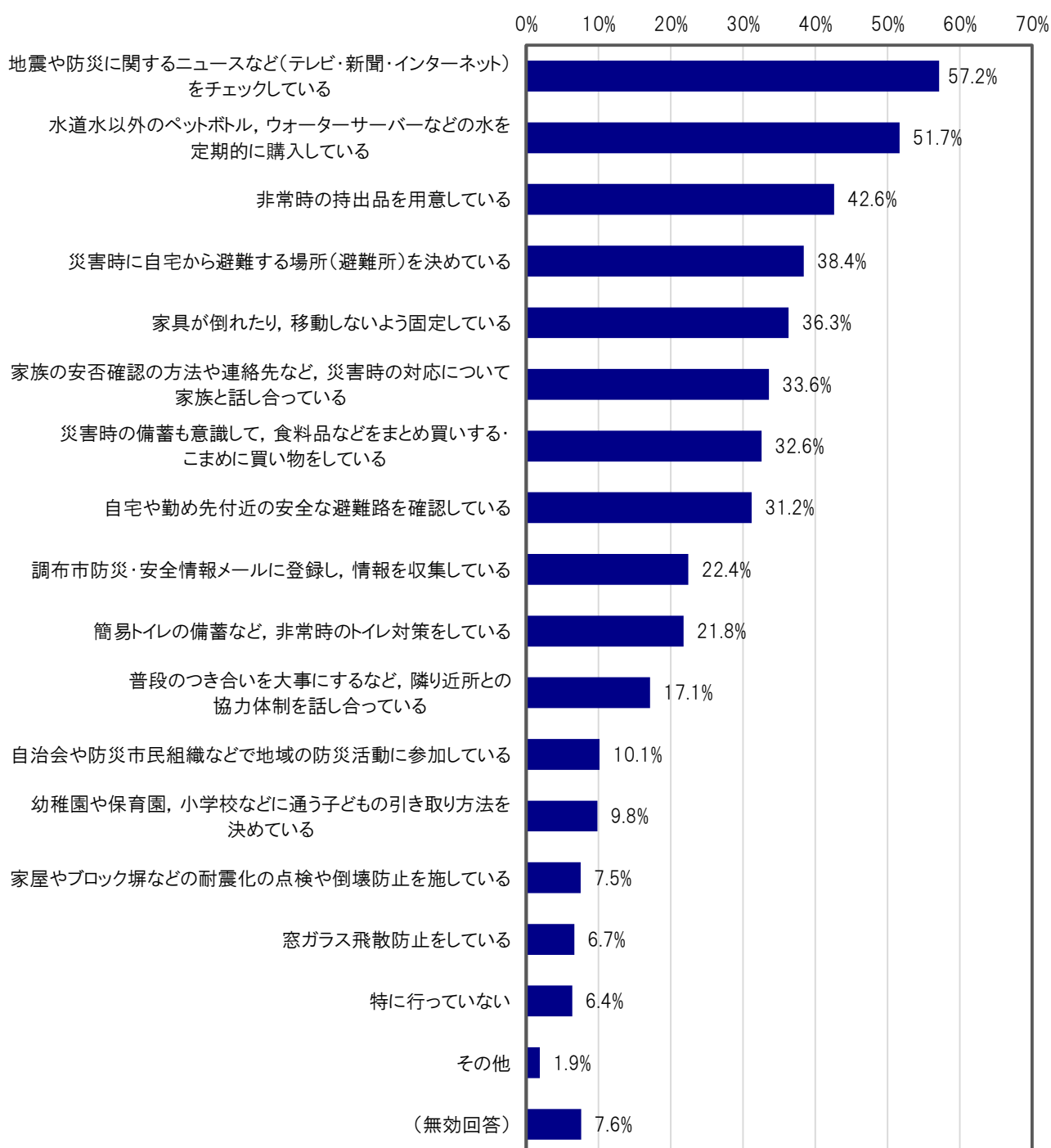
(1) 日ごろの意識や行動

【災害に強いまちづくりについて】

問1) あなたは、日ごろから防災対策として以下のことを行っていますか。(※複数回答可)

<全体 (n=1,382)>

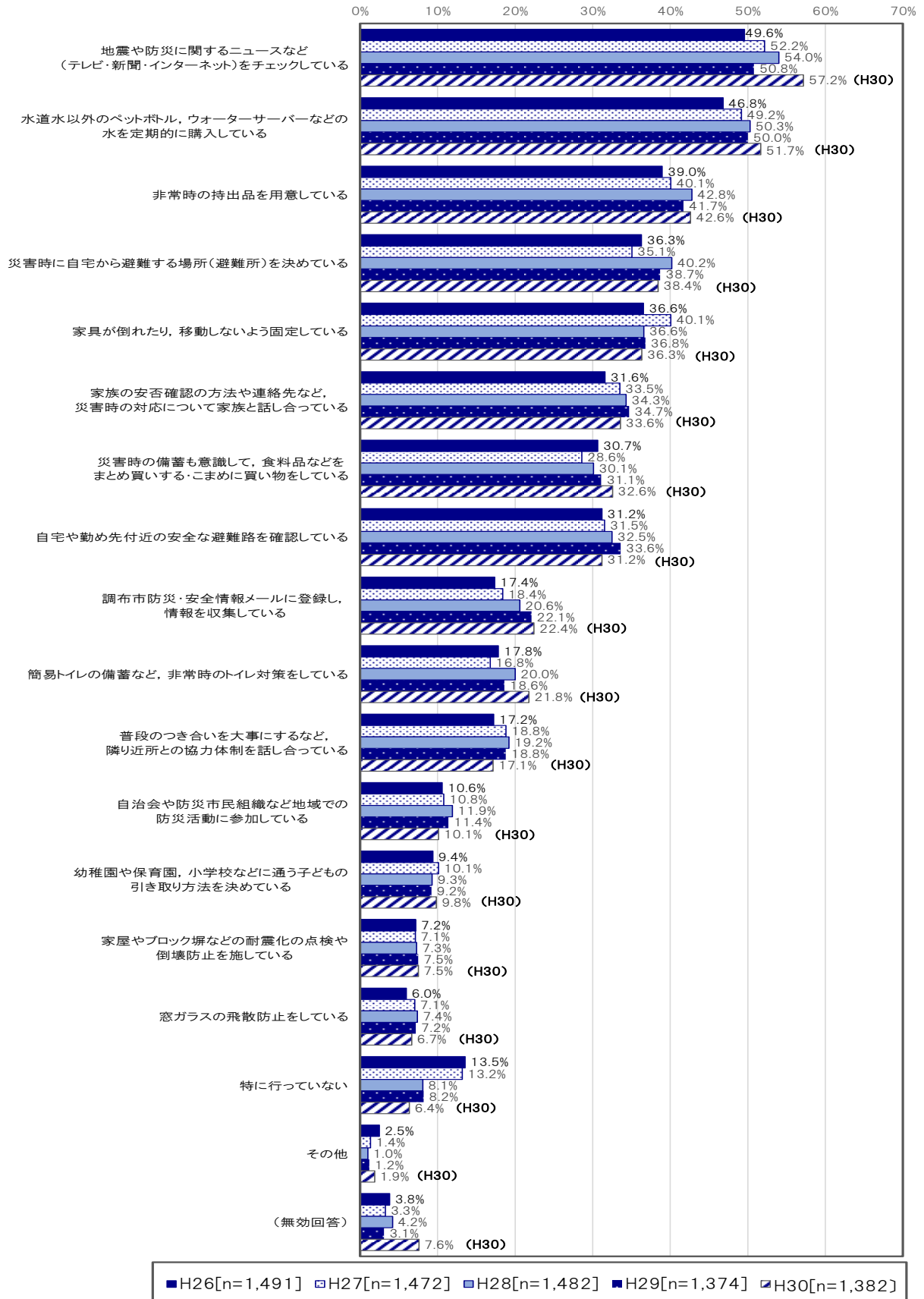
- 「地震や防災に関するニュースなど(テレビ・新聞・インターネット)をチェックしている」が57.2%と最も多く、次いで「水道水以外のペットボトル、ウォーターサーバーなどの水を定期的に購入している」が51.7%、「非常時の持出品を用意している」が42.6%の順となっています。
- 「特に行っていない」は6.4%となっています。



＜経年比較＞

○平成 30 年度は、平成 29 年度同様に、「地震や防災に関するニュースなど（テレビ・新聞・インターネット）をチェックしている」が最も多く、次いで「水道水以外のペットボトル、ウォーターサーバーなどの水を定期的に購入している」の順となっており、防災意識の向上や防災対策に取り組んでいる傾向が伺えます。

○「特に行っていない」は、平成 29 年度（8.2%）に比べ、1.8 ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

- 「地震や防災に関するニュースなど（テレビ・新聞・インターネット）をチェックしている」では、20～29歳と40～64歳、70歳以上で割合が高くなっています。
- 「特に行っていない」は20～29歳において、14.3%と、他の年齢層より高くなっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
地震や防災に関するニュースなど（テレビ・新聞・インターネット）をチェックしている	790 57.2%	15 50.0%	48 49.0%	89 46.4%	158 65.0%	125 57.9%	61 61.6%	60 55.0%	125 62.5%	103 56.3%
水道水以外のペットボトル、ウォーターサーバーなどの水を定期的に購入している	714 51.7%	9 30.0%	33 33.7%	101 52.6%	127 52.3%	121 56.0%	55 55.6%	65 59.6%	105 52.5%	94 51.4%
非常時の持出品を用意している	589 42.6%	9 30.0%	28 28.6%	73 38.0%	116 47.7%	100 46.3%	51 51.5%	52 47.7%	80 40.0%	74 40.4%
災害時に自宅から避難する場所（避難所）を決めている	531 38.4%	17 56.7%	32 32.7%	58 30.2%	107 44.0%	81 37.5%	34 34.3%	40 36.7%	80 40.0%	79 43.2%
家具が倒れたり、移動しないよう固定している	502 36.3%	10 33.3%	22 22.4%	56 29.2%	82 33.7%	87 40.3%	46 46.5%	49 45.0%	73 36.5%	74 40.4%
家族の安否確認の方法や連絡先など、災害時の対応について家族と話し合っている	464 33.6%	16 53.3%	26 26.5%	58 30.2%	93 38.3%	91 42.1%	31 31.3%	42 38.5%	57 28.5%	48 26.2%
災害時の備蓄も意識して、食料品などをまとめ買いする・こまめに買い物をしている	450 32.6%	5 16.7%	24 24.5%	57 29.7%	79 32.5%	67 31.0%	30 30.3%	44 40.4%	78 39.0%	61 33.3%
自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認している	431 31.2%	11 36.7%	24 24.5%	55 28.6%	83 34.2%	76 35.2%	35 35.4%	32 29.4%	63 31.5%	49 26.8%
調布市防災・安全情報メールに登録し、情報を収集している	310 22.4%	3 10.0%	4 4.1%	49 25.5%	119 49.0%	69 31.9%	17 17.2%	15 13.8%	14 7.0%	17 9.3%
簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている	301 21.8%	2 6.7%	7 7.1%	28 14.6%	50 20.6%	57 26.4%	29 29.3%	35 32.1%	45 22.5%	45 24.6%
普段のつき合いを大事にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っている	237 17.1%	2 6.7%	3 3.1%	23 12.0%	35 14.4%	30 13.9%	23 23.2%	22 20.2%	46 23.0%	51 27.9%
自治会や防災市民組織などで地域の防災活動に参加している	140 10.1%	0 0.0%	0 0.0%	13 6.8%	11 4.5%	15 6.9%	14 14.1%	12 11.0%	39 19.5%	35 19.1%
幼稚園や保育園、小学校などに通う子どもの引き取り方法を決めている	136 9.8%	0 0.0%	2 2.0%	53 27.6%	60 24.7%	8 3.7%	2 2.0%	3 2.8%	6 3.0%	1 0.5%
家屋やブロック塀などの耐震化の点検や倒壊防止を施している	104 7.5%	2 6.7%	3 3.1%	4 2.1%	13 5.3%	15 6.9%	10 10.1%	14 12.8%	18 9.0%	25 13.7%
窓ガラスの飛散防止をしている	92 6.7%	2 6.7%	3 3.1%	6 3.1%	11 4.5%	15 6.9%	10 10.1%	11 10.1%	14 7.0%	18 9.8%
特に行っていない	88 6.4%	3 10.0%	14 14.3%	18 9.4%	11 4.5%	13 6.0%	8 8.1%	6 5.5%	10 5.0%	5 2.7%
その他	26 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.6%	2 0.8%	2 0.9%	2 2.0%	1 0.9%	8 4.0%	8 4.4%
（無効回答）	105 7.6%	1 3.3%	4 4.1%	8 4.2%	5 2.1%	10 4.6%	6 6.1%	11 10.1%	25 12.5%	35 19.1%

（上段：実数（人）、下段：構成比）

回答割合が最も高い： 0.0%

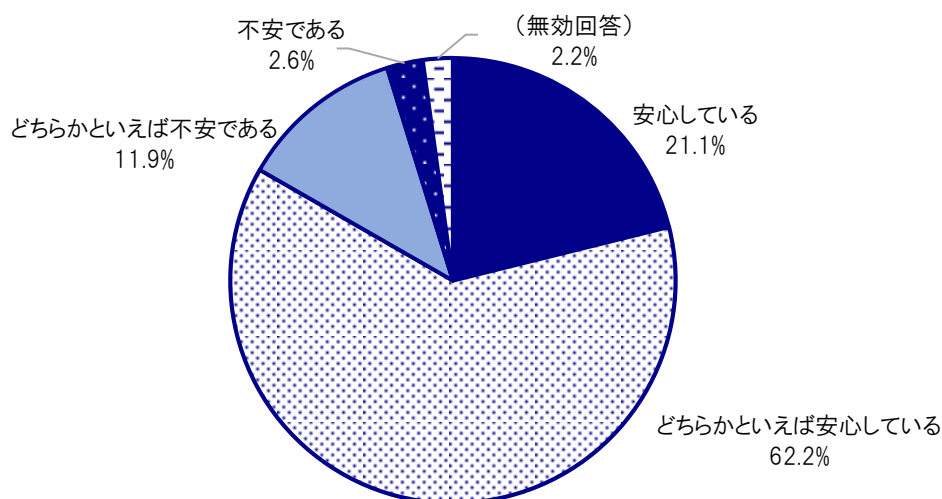
回答割合が2番目に高い： 0.0%

【防犯対策について】

問2) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心できると感じていますか。

＜全体（n=1,382）＞

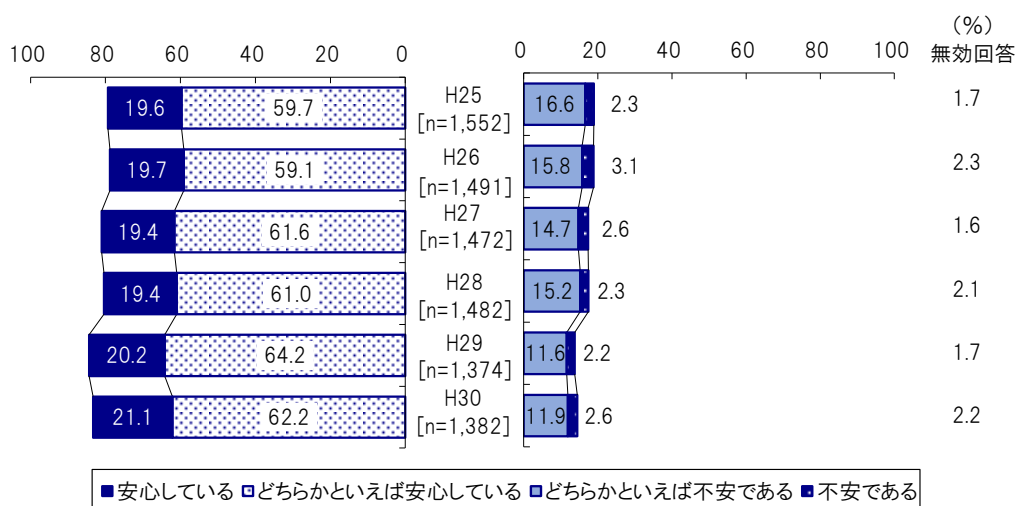
○「安心している」は21.1%、「どちらかといえば安心している」は62.2%であり、合計すると8割以上(83.3%)を占めています。



＜経年比較＞

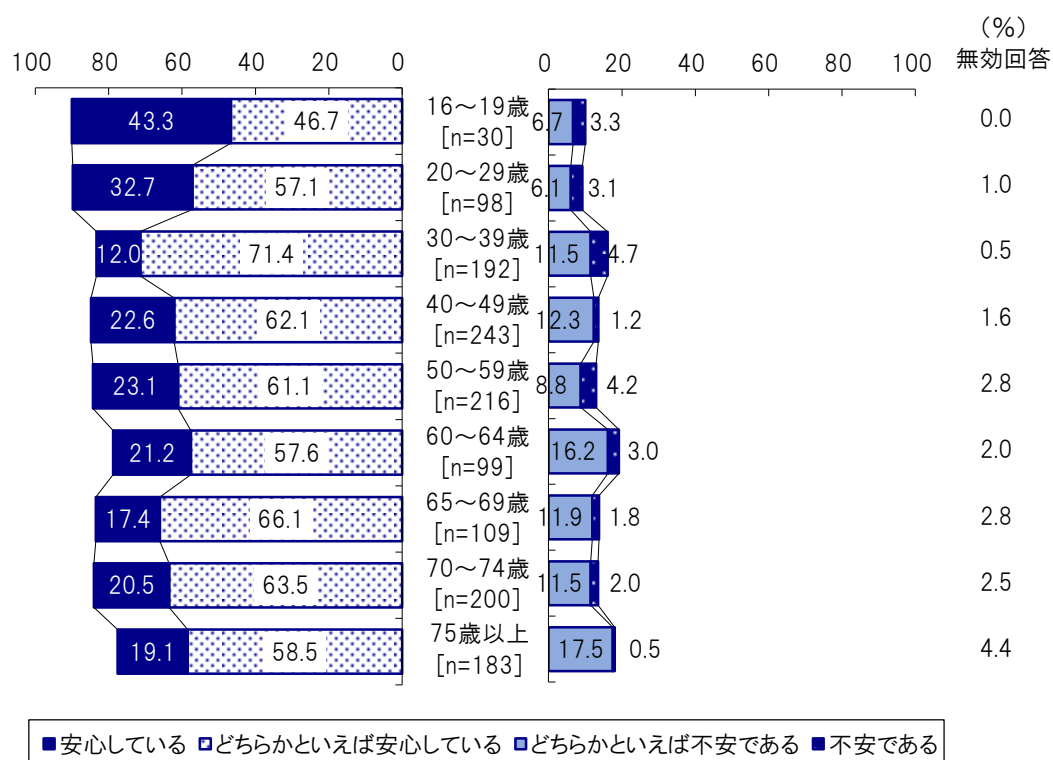
○「安心している」「どちらかといえば安心している」の合計（83.3%）は、平成29年度（84.4%）に比べ1.1ポイント減少しています。

○一方、「不安である」「どちらかといえば不安である」の合計（14.5%）は、平成29年度（13.8%）に比べ0.7ポイント増加しています。



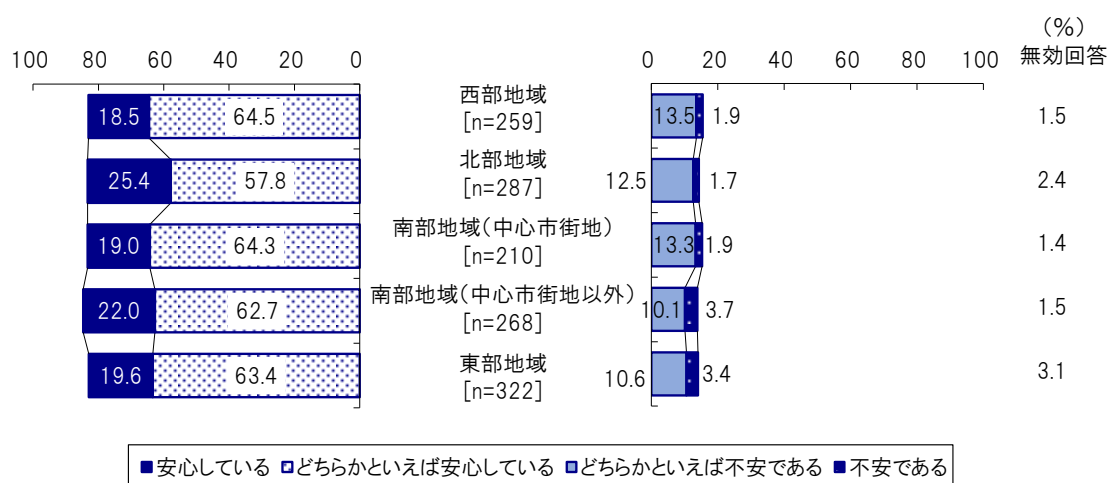
＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が75%以上を占めています。



＜地域別＞

○いずれの地域でも、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が8割以上を占めています。

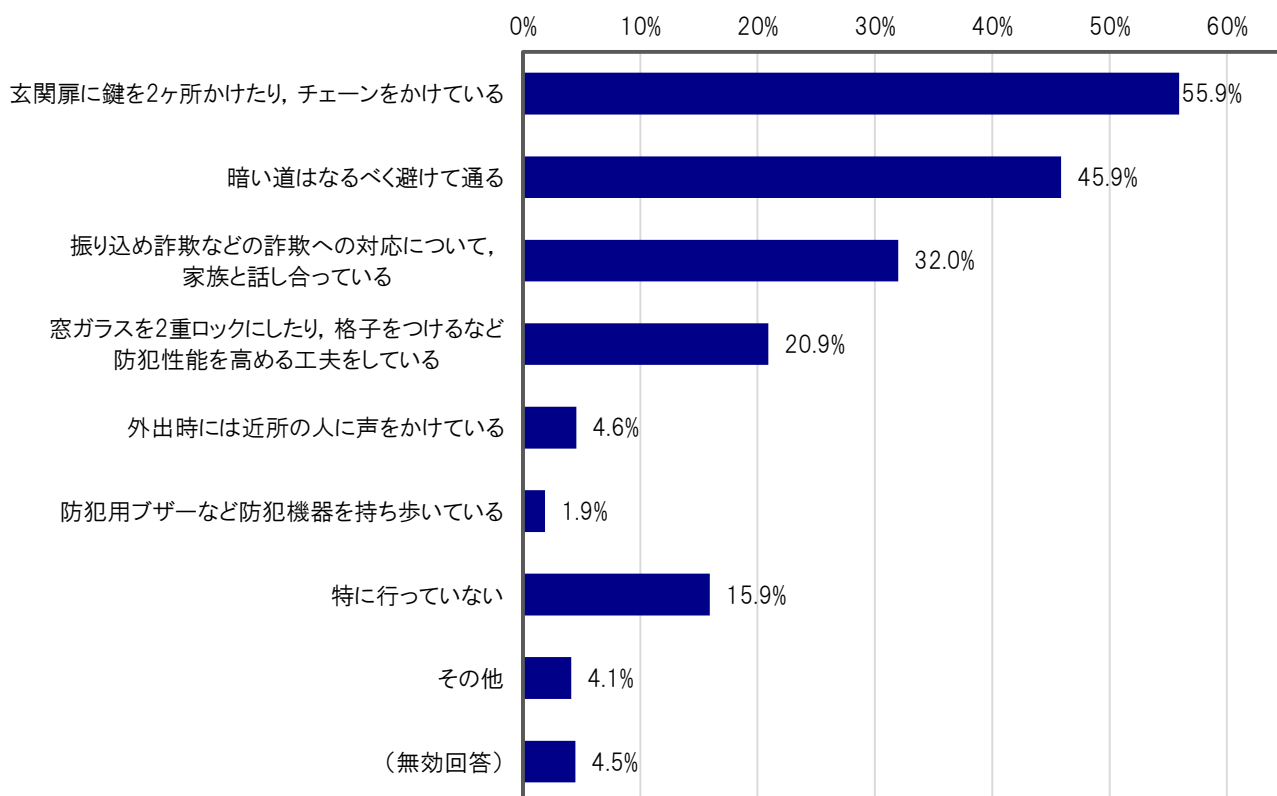


問3) あなたは、日ごろから防犯対策として以下のことを行っていますか。(※複数回答可)

＜全体 (n=1,382) ＞

○「玄関扉に鍵を2ヶ所かけたり、チェーンをかけている」が55.9%と最も多く、次いで「暗い道はなるべく避けて通る」が45.9%、「振り込め詐欺などの詐欺への対応について、家族と話し合っている」が32.0%の順となっています。

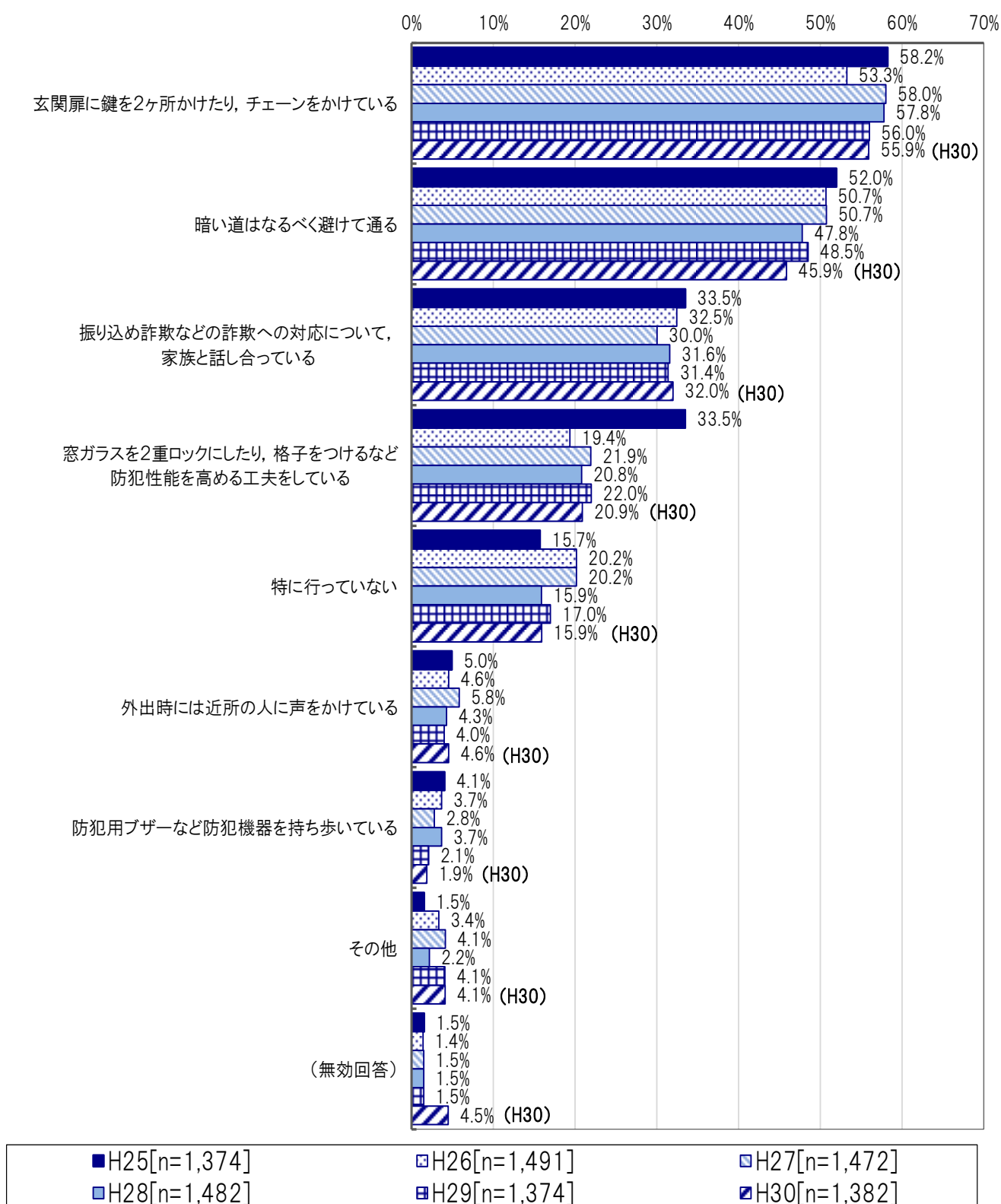
○「特に行っていない」は15.9%となっています。



＜経年比較＞

○過去5年とも、「玄関扉に鍵を2ヶ所かけたり、チェーンをかけている」が最も多く、次いで「暗い道はなるべく避けて通る」の順となっています。

○「特に行っていない」は、平成29年度（17.0%）に比べ1.1ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

○16～74 歳では、「玄関扉に鍵を2ヶ所かけたり、チェーンをかけている」、75 歳以上では、「振り込め詐欺などの詐欺への対応について、家族と話し合っている」が最も多くなっています。

○全体で3 番目に多い「振り込め詐欺などの詐欺への対応について、家族と話し合っている」は、年齢が上がるにつれ多くなる傾向がみられ、65 歳以上では4 割を上回っています。

○16～19 歳と 30～29 歳では、「特に行っていない」が他の年齢層に比べて高い割合となっています。

選択肢	全体	16～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 以上
玄関扉に鍵を2ヶ所かけたり、チェーンをかけている	773 55.9%	14 46.7%	62 63.3%	99 51.6%	136 56.0%	129 59.7%	66 66.7%	58 53.2%	118 59.0%	87 47.5%
暗い道はなるべく避けて通る	634 45.9%	13 43.3%	41 41.8%	78 40.6%	112 46.1%	88 40.7%	43 43.4%	53 48.6%	113 56.5%	89 48.6%
振り込め詐欺などの詐欺への対応について、家族と話し合っている	442 32.0%	4 13.3%	10 10.2%	21 10.9%	53 21.8%	68 31.5%	33 33.3%	49 45.0%	102 51.0%	100 54.6%
窓ガラスを2重ロックにしたり、格子をつけるなど防犯性能を高める工夫をしている	289 20.9%	6 20.0%	10 10.2%	37 19.3%	51 21.0%	55 25.5%	23 23.2%	29 26.6%	53 26.5%	24 13.1%
外出時には近所の人に声をかけている	63 4.6%	1 3.3%	4 4.1%	7 3.6%	11 4.5%	8 3.7%	4 4.0%	5 4.6%	9 4.5%	14 7.7%
防犯用ブザーなど防犯機器を持ち歩いている	26 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 3.6%	6 2.5%	3 1.4%	1 1.0%	5 4.6%	2 1.0%	2 1.1%
特に行っていない	220 15.9%	12 40.0%	16 16.3%	42 21.9%	44 18.1%	40 18.5%	13 13.1%	14 12.8%	21 10.5%	12 6.6%
その他	57 4.1%	0 0.0%	2 2.0%	8 4.2%	10 4.1%	8 3.7%	3 3.0%	8 7.3%	8 4.0%	10 5.5%
(無効回答)	62 4.5%	0 0.0%	1 1.0%	3 1.6%	0 0.0%	2 0.9%	3 3.0%	9 8.3%	16 8.0%	27 14.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

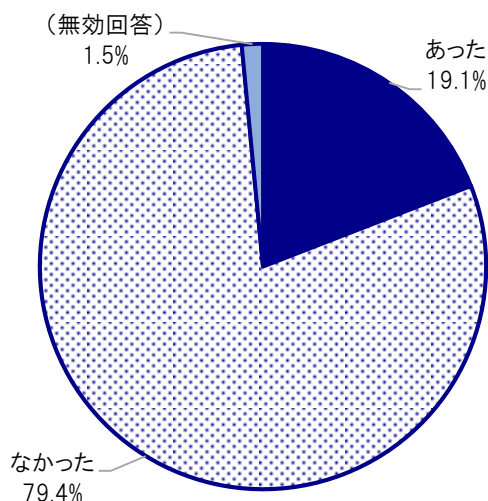
回答割合が2番目に高い: 0.0%

【消費生活について】

問 4-1) あなたは、この1年間に日常生活の中で、身に覚えのない請求や、しつこい勧誘など、消費生活上のトラブルに巻き込まれそうになった経験がありますか。

＜全体（n=1,382）＞

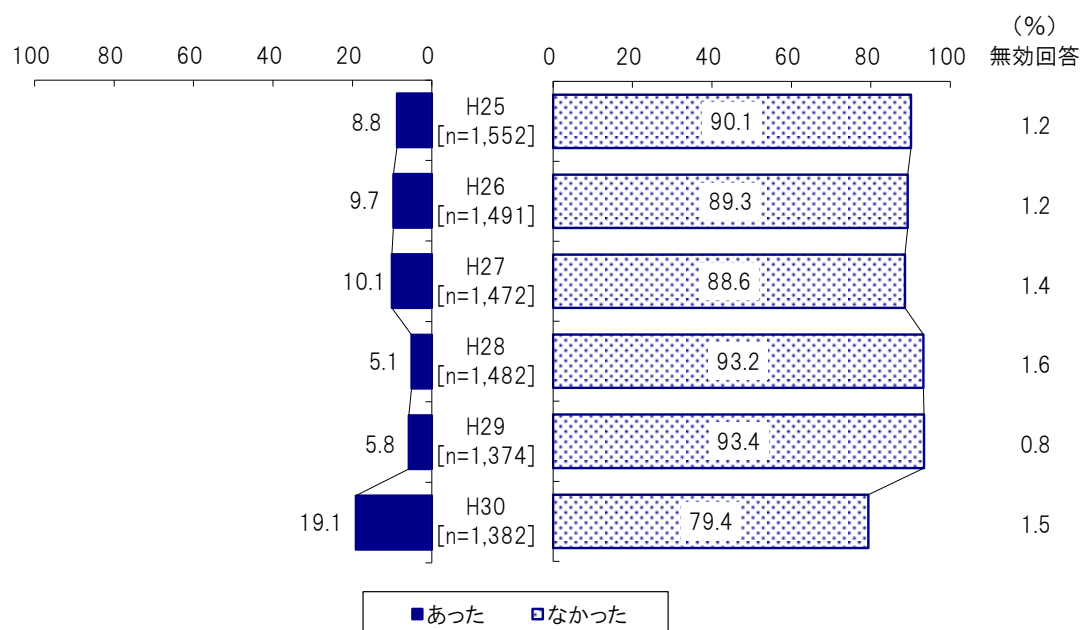
○消費生活上のトラブルに巻き込まれそうになった経験が「あった」は19.1%、「なかった」は79.4%となっています。



＜経年比較＞

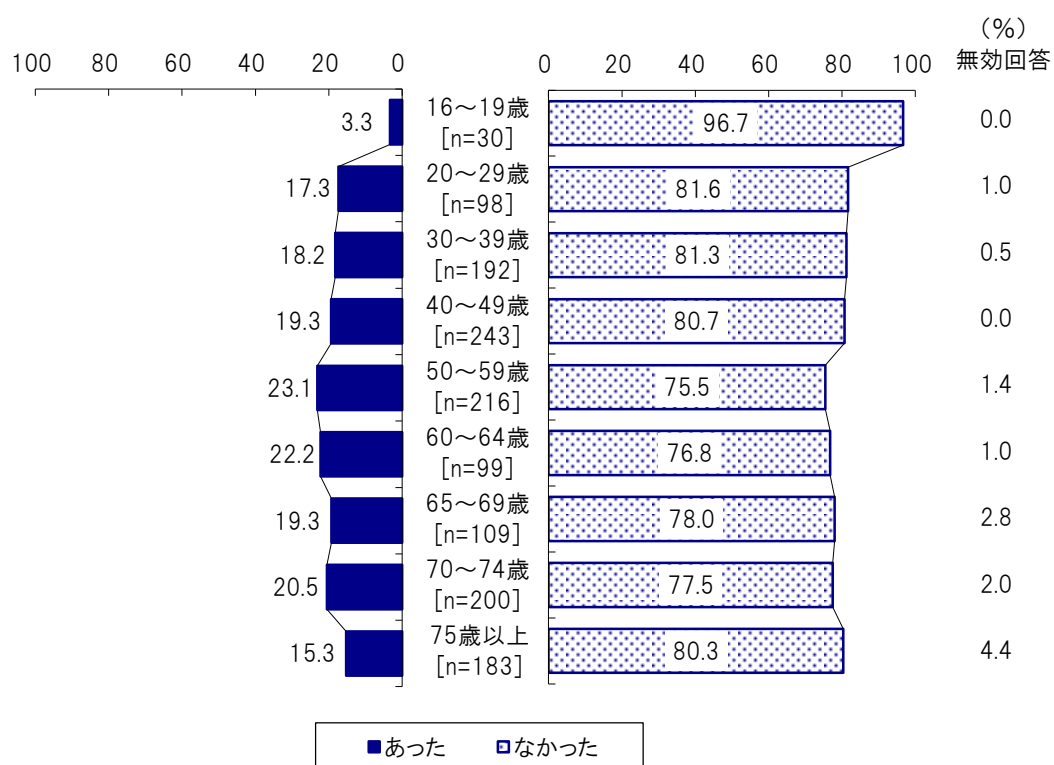
○消費生活上のトラブルに「あった」は、平成28年度に最も低い値（5.1%）となりましたが、それ以降は増加しています。平成30年度は平成29年度に比べ13.3ポイント増加しています。

○一方、「なかった」は平成29年度（93.4%）に比べ、14.0ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

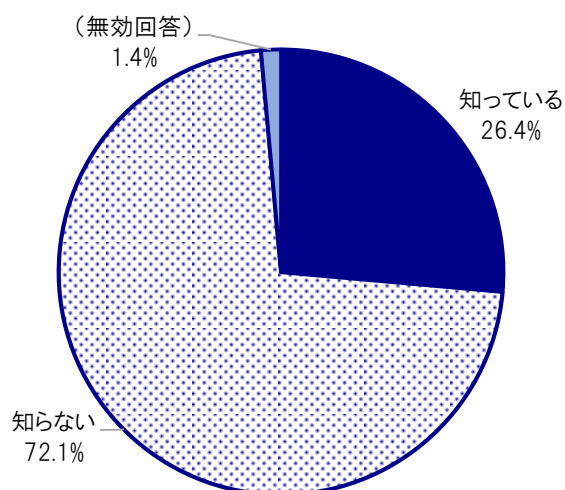
○50歳代，60～64歳，70～74歳で消費生活上のトラブルに「あった」が2割以上となっています。



問 4-2) あなたは、市役所 3 階の消費生活センターなどで消費者トラブルに関する相談を受け付けていることを知っていますか。

＜全体（n=1,382）＞

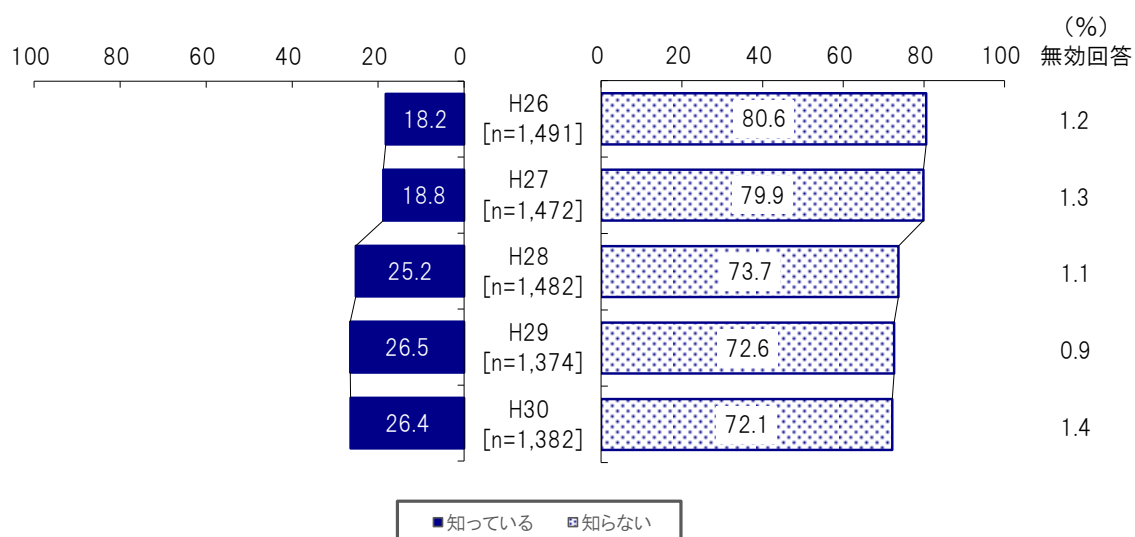
○消費者トラブルに関する相談を受け付けていることを「知っている」が 26.4%，「知らない」が 72.1%となっており、認知度は 3 割以下となっています。



＜経年比較＞

○「知っている」(26.4%) は、平成 29 年度 (26.5%) と比べて 0.1 ポイント減少しています。

○「知らない」(72.1%) は、平成 29 年度 (72.6%) と比べて 0.5 ポイント減少しています。

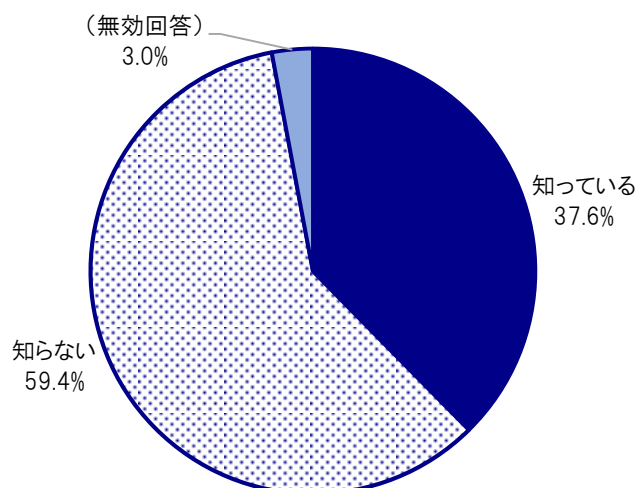


【子ども・子育て支援について】

問5) あなたは、子ども家庭支援センターすこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っていますか。

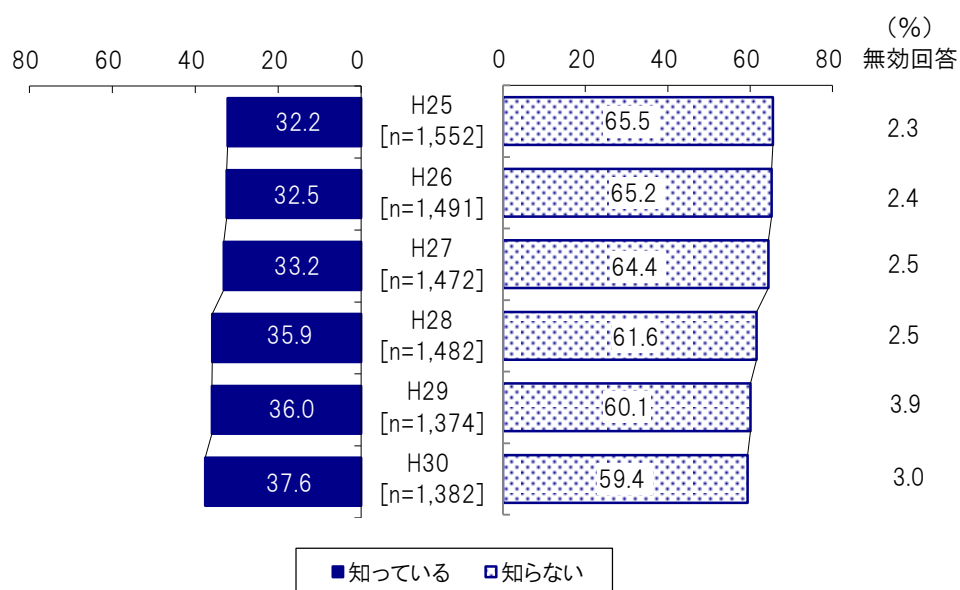
＜全体（n=1,382）＞

○児童虐待に関する相談を受け付けていることを「知っている」は37.6%、「知らない」は59.4%となっており、認知度は4割以下となっています。



＜経年比較＞

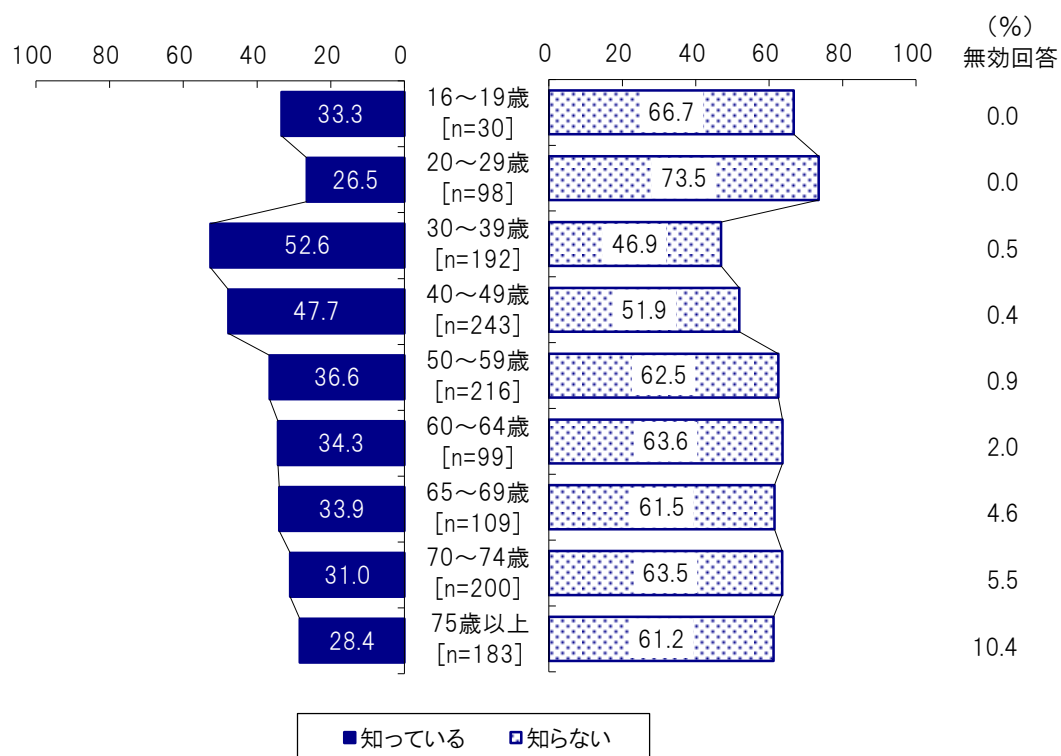
- 「知っている」(37.6%)は、平成29年度(36.0%)と比べて1.6ポイント増加しています。
- 「知らない」(59.4%)は、平成29年度(60.1%)と比べて0.7ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

○30～39歳では「知っている」が52.6%と最も多く、次いで40～49歳が47.7%となっています。

○一方、20歳代と75歳以上以下では3割未満となっています。



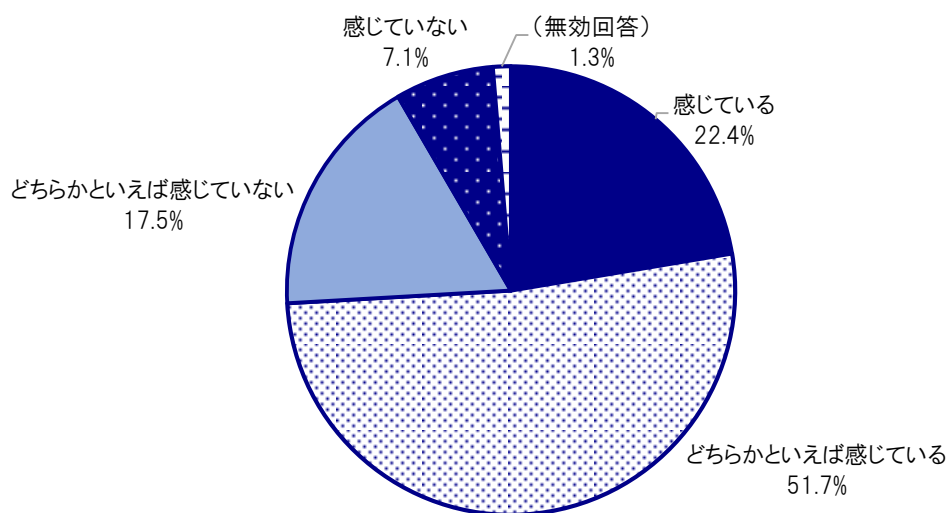
【健康づくりについて】

問6) あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

＜全体（n=1,382）＞

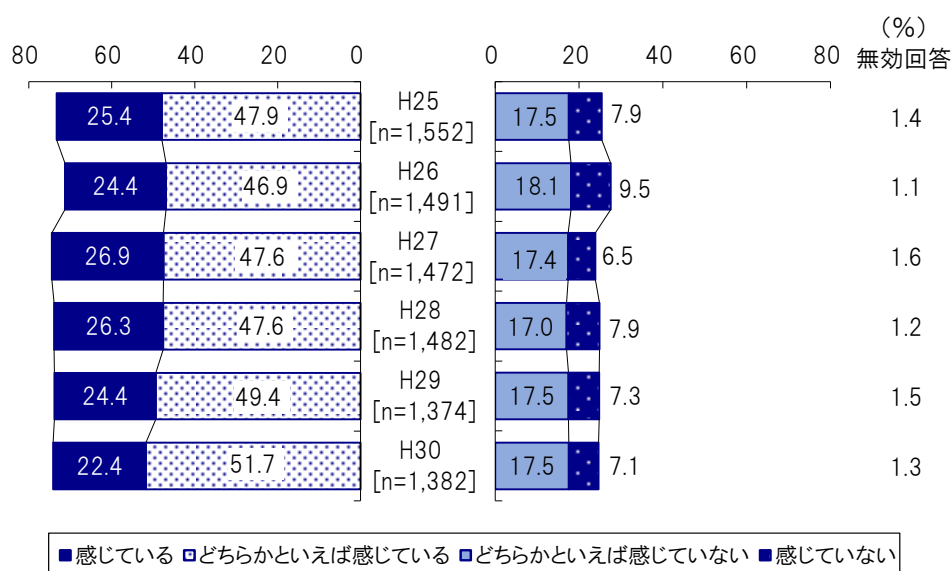
○心身ともに健康だと「感じている」は22.4%、「どちらかといえば感じている」は51.7%であり、合計すると7割以上（74.1%）を占めています。

○一方、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計は24.6%となっています。



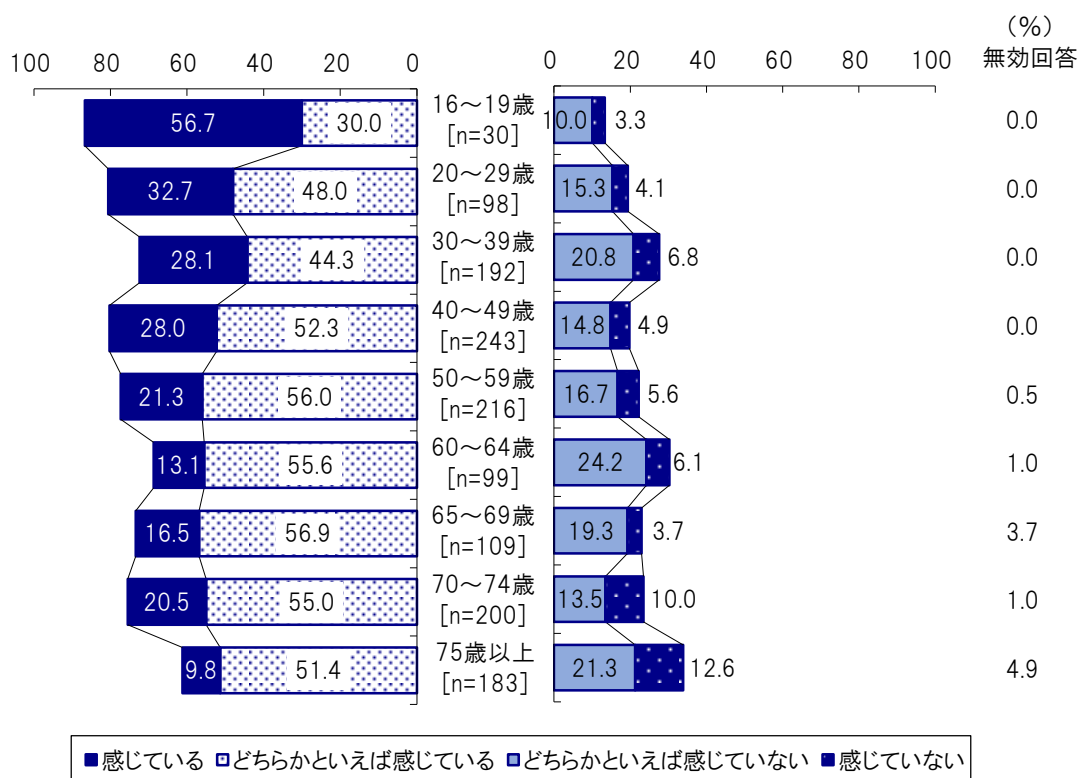
＜経年比較＞

○過去5年間の推移を見ると、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、ほぼ横ばいとなっています。



＜年齢層別＞

○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、59歳以下と65～74歳では7割を上回っていますが、60～64歳と75歳以上では7割を下回っています。

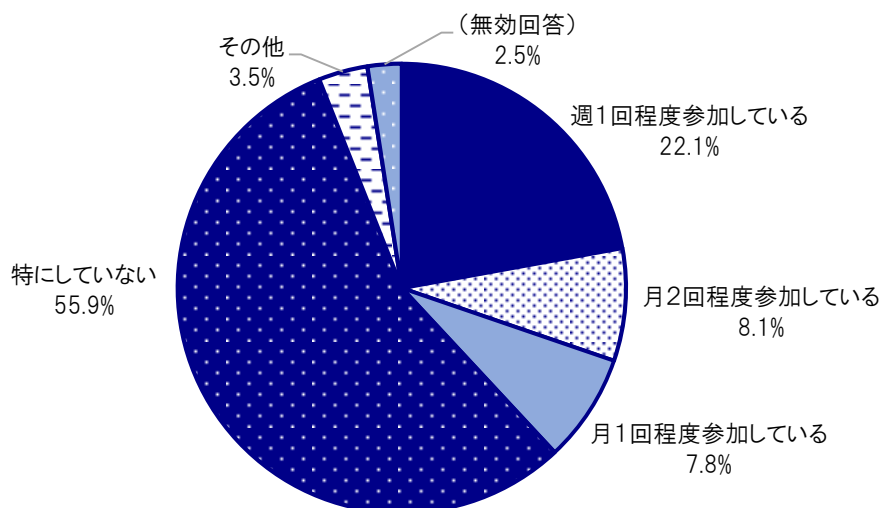


問7) あなたは、健康ではりのある生活のため、趣味活動や地域活動などに参加していますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「週1回程度参加している」が22.1%、「月2回程度参加している」が8.1%、「月1回程度参加している」が7.8%であり、合計で3割以上（38.0%）を占めています。

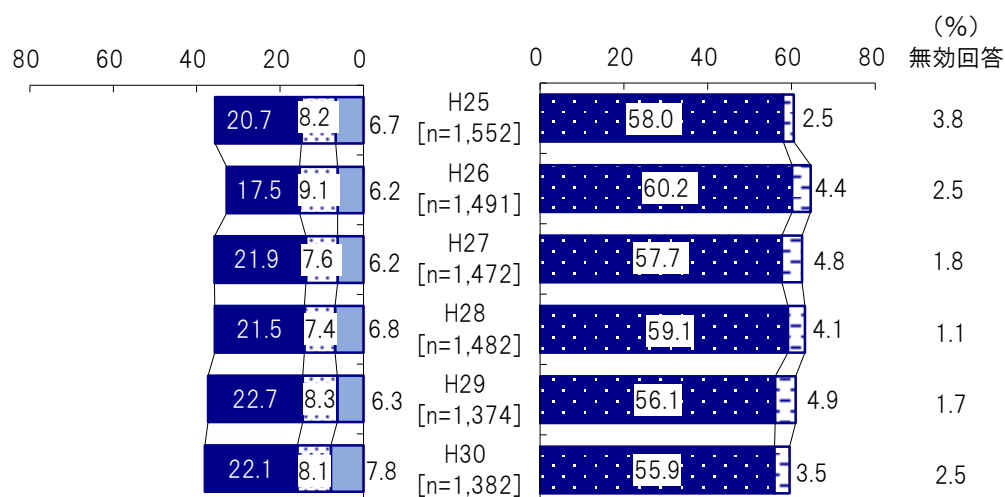
○「特にしていない」は55.9%となっています。



＜経年比較＞

○「参加している」の合計（38.0%）は、平成29年度（37.3%）と比べ0.7ポイント増加しています。

○一方、「特にしていない」（55.9%）は、平成29年度（56.1%）と比べ0.2ポイント減少しています。

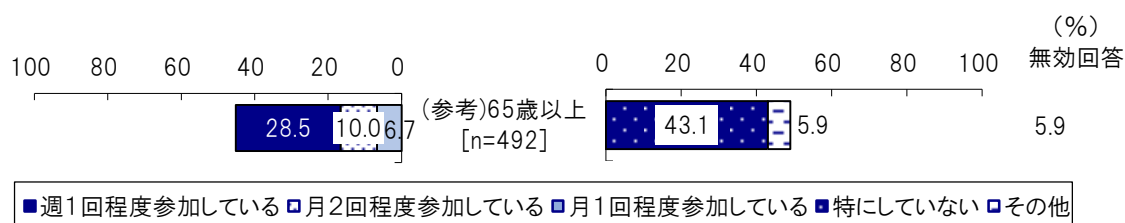
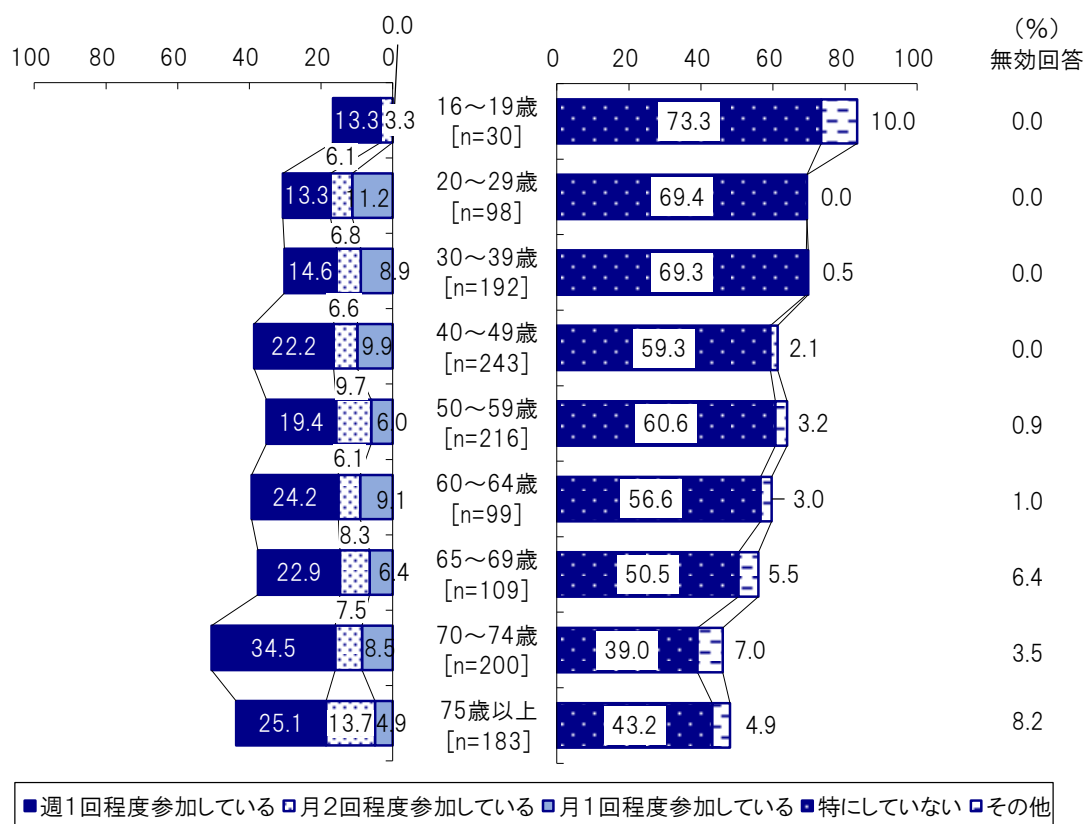


■週1回程度参加している ■月2回程度参加している ■月1回程度参加している ■特にしていない ■その他

＜年齢層別＞

○「週1回程度参加している」「月2回程度参加している」「月1回程度参加している」の合計は、16～19歳では2割程度、20～39歳では3割程度、40～69歳と75歳以上では4割程度となっており、70～74歳のみ半数を上回っています。

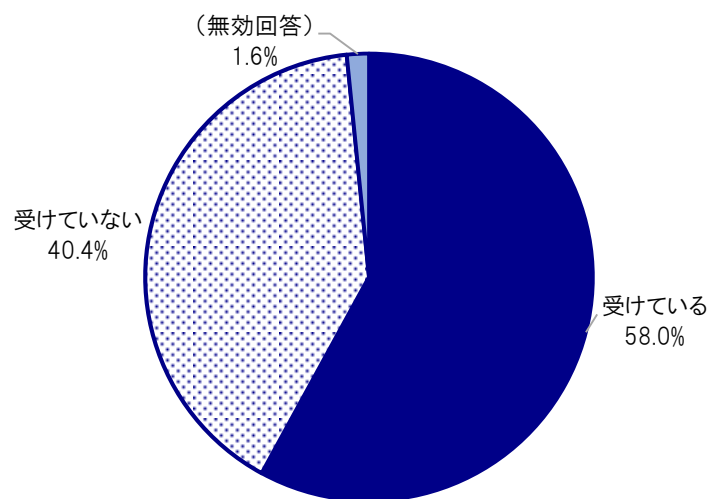
○「特にしていない」は、70歳以上を除き、半数を上回っています。



問 8-1) あなたは、定期的ながん検診を受けていますか。

＜全体（n=1,382）＞

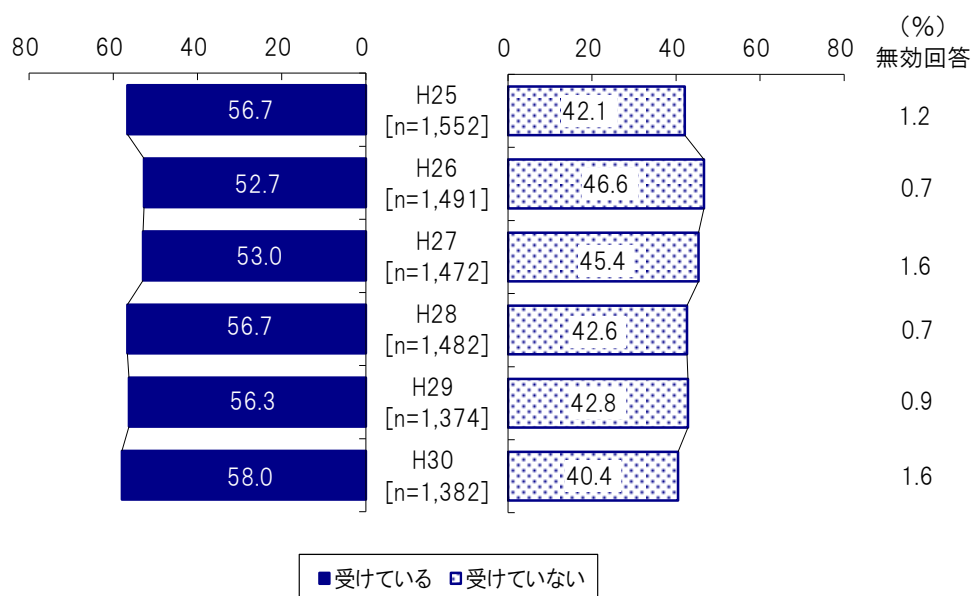
○「受けている」は58.0%、「受けていない」は40.4%であり、定期的ながん検診の受診者は半数を上回っています。



＜経年比較＞

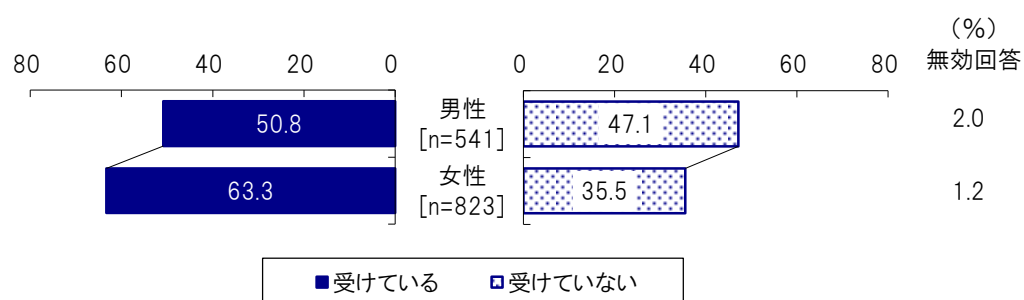
○「受けている」(58.0%)は、平成26年度に最も低い値(52.7%)となりましたが、その後は増加傾向にあります。

○一方、「受けていない」(40.4%)は、平成25年度から平成26年度にかけて増加しましたが、その後は減少傾向にあります。



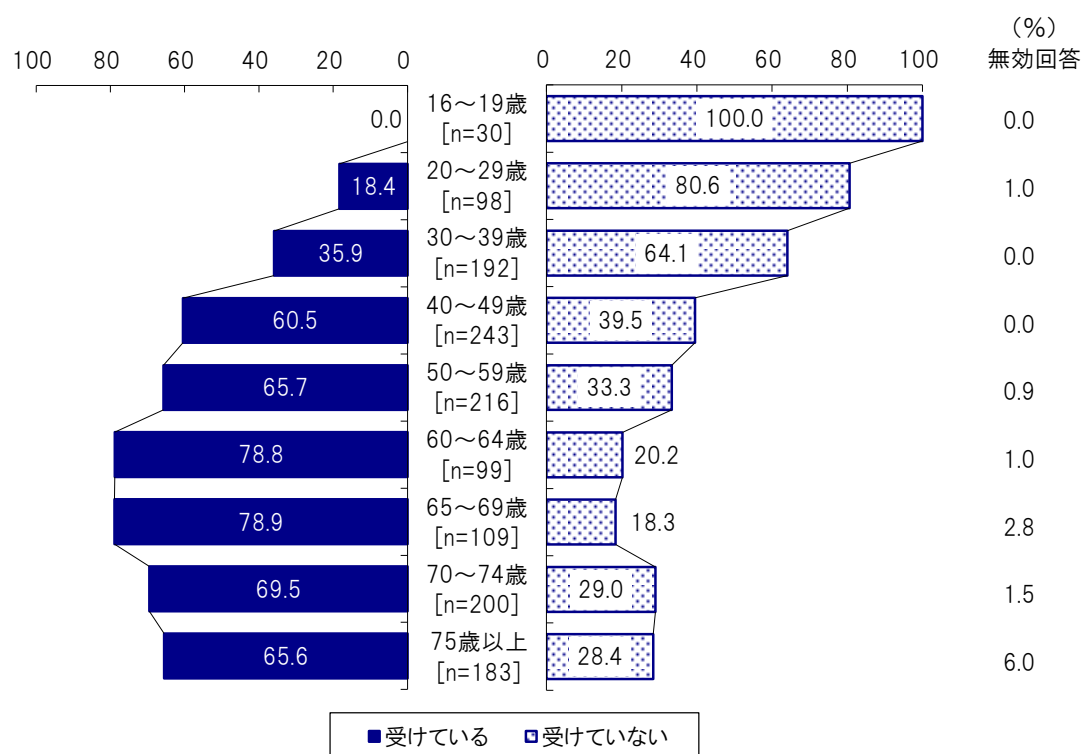
＜性別＞

○男女とも「受けている」が半数を上回っていますが、女性は男性に比べ12.5ポイント上回っています。



＜年齢層別＞

○「受けている」は、概ね年齢が上がるにつれ多くなる傾向にあり、40歳以上ではいずれの年齢層でも半数を上回っています。



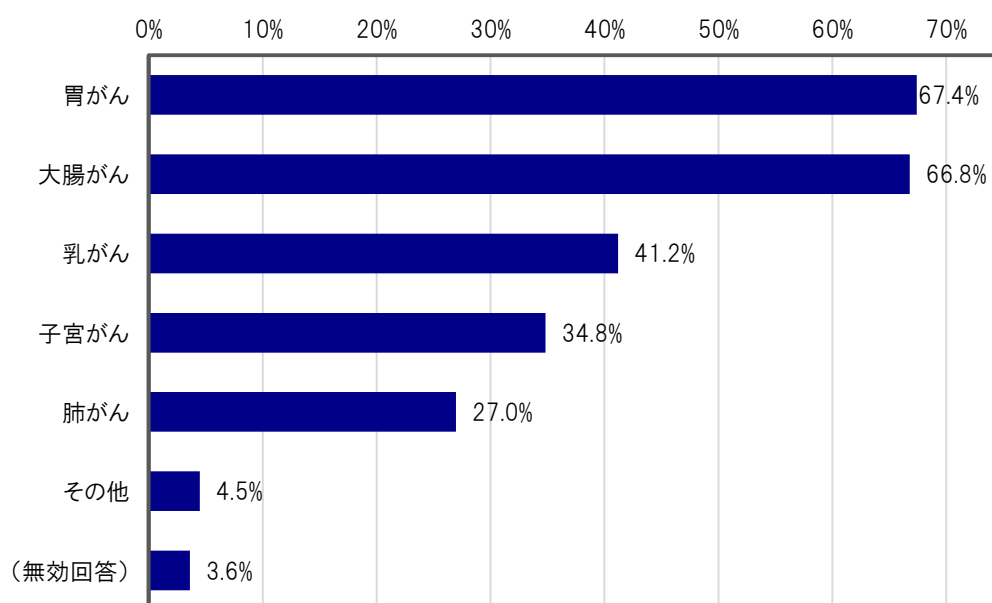
問 8-2) 問 8-1 で「1 受けている」を選んだ方にうかがいます。どのようながん検診を、どのような場所で受けていますか。(※複数回答可)

受けているがん検診

＜全体（n=801）＞

○「胃がん」が 67.4%と最も多く、次いで「大腸がん」の 66.8%となっており、これらの検診は 6 割以上が受診しています。

○「肺がん」は 3 割以下となっています。



＜性別＞

○男性は女性に比べ、「胃がん」で 20 ポイント以上回答割合が高くなっています。

○「子宮がん」、「乳がん」は、女性では半数以上が受診しています。

(上段:実数(人), 下段:構成比)			
回答割合が最も高い:			
回答割合が2番目に高い:			
選択肢	全体	男性	女性
胃がん	540	229	309
	67.4%	83.3%	59.3%
大腸がん	535	206	325
	66.8%	74.9%	62.4%
乳がん	330	9	321
	41.2%	3.3%	61.6%
子宮がん	279	0	279
	34.8%	0.0%	53.6%
肺がん	216	96	119
	27.0%	34.9%	22.8%
その他	36	21	15
	4.5%	7.6%	2.9%
(無効回答)	29	15	13
	3.6%	5.5%	2.5%

＜年齢層別 男性＞

○30～74 歳では「胃がん」が最も多くなっています。75 歳以上では「大腸がん」が最も多くなっています。
○第2 位を見ると、30～74 歳では「大腸がん」となっています。75 歳以上では「胃がん」となっています。

(上段:実数(人), 下段:構成比)										
回答割合が最も高い:						回答割合が2番目に高い:				
選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
胃がん	229	0	0	15	33	33	31	28	46	43
	83.3%	0.0%	0.0%	88.2%	76.7%	76.7%	86.1%	90.3%	92.0%	78.2%
大腸がん	206	0	0	10	28	27	25	22	44	50
	74.9%	0.0%	0.0%	58.8%	65.1%	62.8%	69.4%	71.0%	88.0%	90.9%
肺がん	96	0	0	3	10	19	9	13	17	25
	34.9%	0.0%	0.0%	17.6%	23.3%	44.2%	25.0%	41.9%	34.0%	45.5%
乳がん	9	0	0	3	2	2	0	1	1	0
	3.3%	0.0%	0.0%	17.6%	4.7%	4.7%	0.0%	3.2%	2.0%	0.0%
子宮がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	21	0	0	0	2	3	0	2	4	10
	7.6%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	7.0%	0.0%	6.5%	8.0%	18.2%
(無効回答)	15	0	0	1	3	5	3	0	1	2
	5.5%	0.0%	0.0%	5.9%	7.0%	11.6%	8.3%	0.0%	2.0%	3.6%

＜年齢層別 女性＞

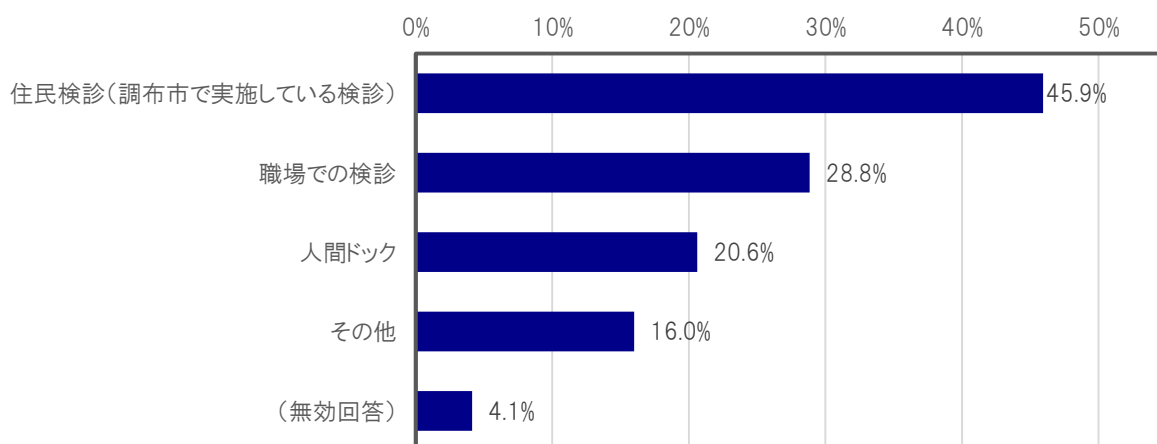
○60～64 歳では「大腸がん」と「乳がん」、「胃がん」とが同数で最も多くなっています。20～39 歳では「子宮がん」、40～59 歳では「乳がん」、65 歳以上では「大腸がん」が、それぞれ最も多くなっています。
○第2 位を見ると、20～39 歳では「乳がん」、40～64 歳では「子宮がん」、65 歳以上は「胃がん」となっています。

(上段:実数(人), 下段:構成比)										
回答割合が最も高い:						回答割合が2番目に高い:				
選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大腸がん	325	0	0	13	60	54	30	41	74	53
	62.4%	0.0%	0.0%	25.0%	57.7%	54.5%	71.4%	75.9%	83.1%	84.1%
乳がん	321	0	10	38	88	84	30	29	25	17
	61.6%	0.0%	55.6%	73.1%	84.6%	84.8%	71.4%	53.7%	28.1%	27.0%
胃がん	309	0	1	14	55	61	30	37	64	47
	59.3%	0.0%	5.6%	26.9%	52.9%	61.6%	71.4%	68.5%	71.9%	74.6%
子宮がん	279	0	12	41	84	70	26	18	20	8
	53.6%	0.0%	66.7%	78.8%	80.8%	70.7%	61.9%	33.3%	22.5%	12.7%
肺がん	119	0	0	1	14	28	15	15	26	20
	22.8%	0.0%	0.0%	1.9%	13.5%	28.3%	35.7%	27.8%	29.2%	31.7%
その他	15	0	1	4	2	0	0	3	0	5
	2.9%	0.0%	5.6%	7.7%	1.9%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	7.9%
(無効回答)	13	0	1	2	0	3	0	3	4	0
	2.5%	0.0%	5.6%	3.8%	0.0%	3.0%	0.0%	5.6%	4.5%	0.0%

受けている場所

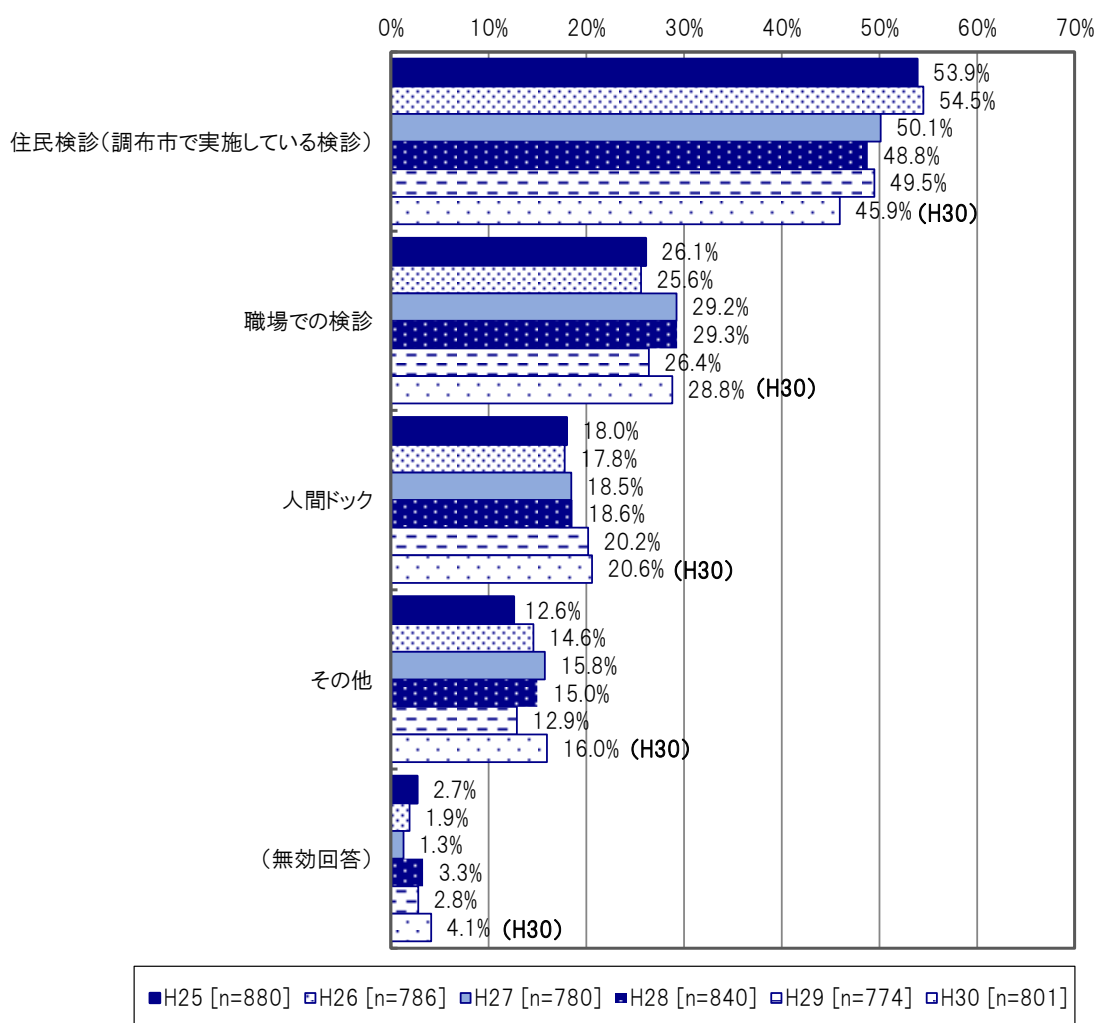
＜全体（n=801）＞

○「住民検診（調布市で実施している検診）」が 45.9%と最も多くなっています。次いで「職場での検診」の 28.8%、「人間ドック」の 20.6%の順となっています。



＜経年比較＞

○過去5年とも、「住民検診（調布市で実施している検診）」が最も多く、次いで「職場での検診」の順となっています。



＜性別＞

○男性・女性とも「住民検診」が最も多くなっていますが、女性は男性に比べ「住民検診」で11.9ポイント回答割合が高くなっています。

○一方、男性は女性に比べ「人間ドック」で9.4ポイント、「職場での検診」で4.6ポイント回答割合が高くなっています。

(上段:実数(人), 下段:構成比)
回答割合が最も高い: 0.0%
回答割合が2番目に高い: 0.0%

選択肢	全体	男性	女性
住民検診(調布市で実施している検診)	368 45.9%	105 38.2%	261 50.1%
職場での検診	231 28.8%	88 32.0%	143 27.4%
人間ドック	165 20.6%	74 26.9%	91 17.5%
その他	128 16.0%	36 13.1%	91 17.5%
(無効回答)	33 4.1%	11 4.0%	20 3.8%

＜年齢層別＞

○60歳以上では「住民検診」が最も多く、特に75歳以上では7割以上を占めています。

○20歳～50歳代では「職場での検診」が最も多くなっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
住民検診(調布市で実施している検診)	368 45.9%	0 0.0%	2 11.1%	16 23.2%	44 29.9%	32 22.5%	33 42.3%	52 60.5%	96 69.1%	93 77.5%
職場での検診	231 28.8%	0 0.0%	9 50.0%	42 60.9%	65 44.2%	76 53.5%	21 26.9%	8 9.3%	10 7.2%	0 0.0%
人間ドック	165 20.6%	0 0.0%	2 11.1%	10 14.5%	39 26.5%	40 28.2%	29 37.2%	20 23.3%	20 14.4%	5 4.2%
その他	128 16.0%	0 0.0%	5 27.8%	6 8.7%	16 10.9%	21 14.8%	7 9.0%	18 20.9%	28 20.1%	27 22.5%
(無効回答)	33 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.3%	4 2.7%	2 1.4%	4 5.1%	2 2.3%	5 3.6%	11 9.2%

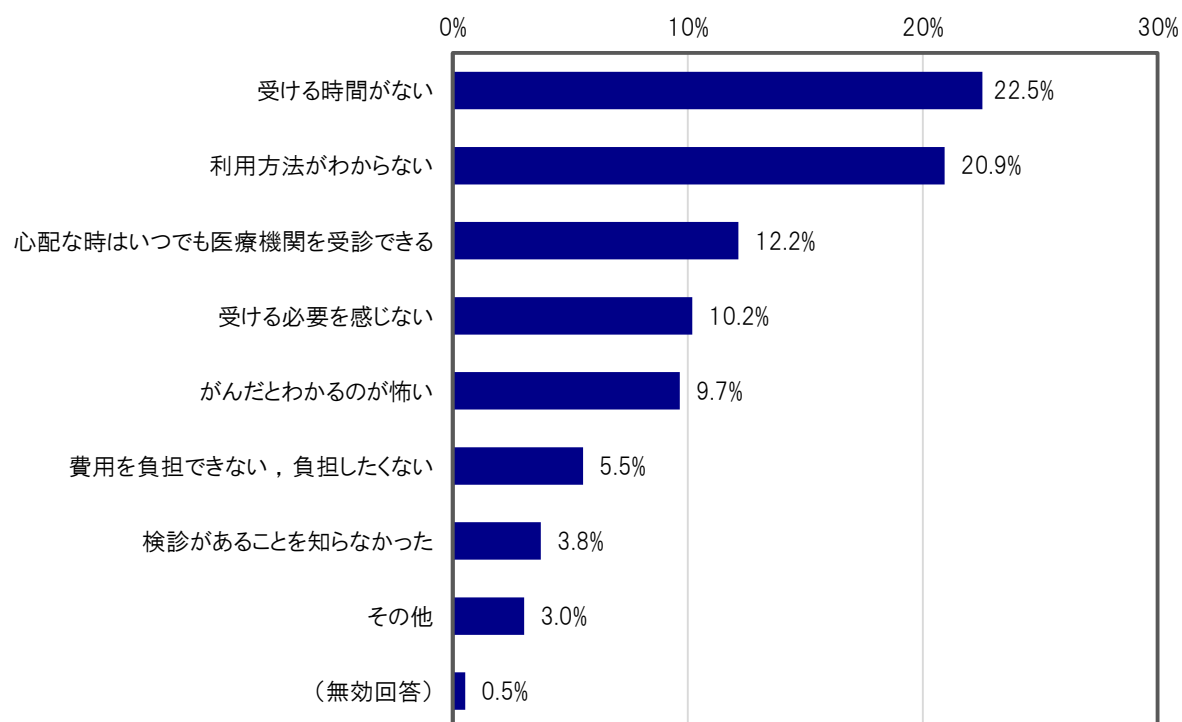
(上段:実数(人), 下段:構成比)
回答割合が最も高い: 0.0%
回答割合が2番目に高い: 0.0%

問 8-3) 問 8-1 で「2 受けていない」を選んだ方にうかがいます。検診を受けない理由は何ですか。(※複数回答可)

受けない理由

＜全体（n=559）＞

○「受ける時間がない」が 22.5%と最も多くなっています。次いで「利用方法がわからない」の 20.9%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できる」の 12.2%の順となっています。



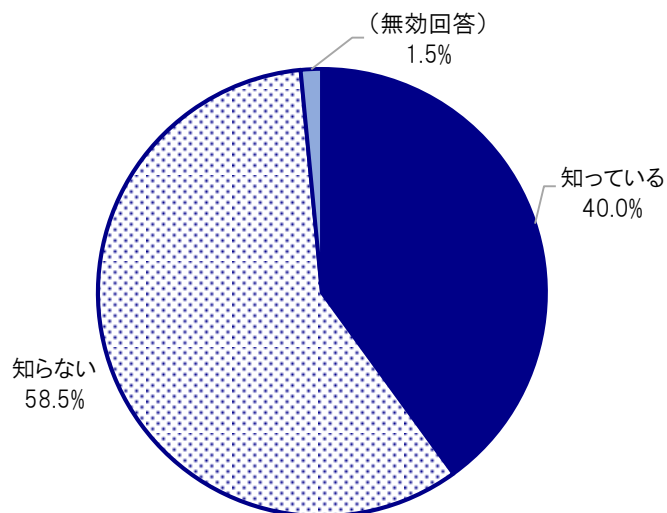
【地域福祉・高齢者施策について】

問9) あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。

地域包括支援センター

＜全体（n=1,382）＞

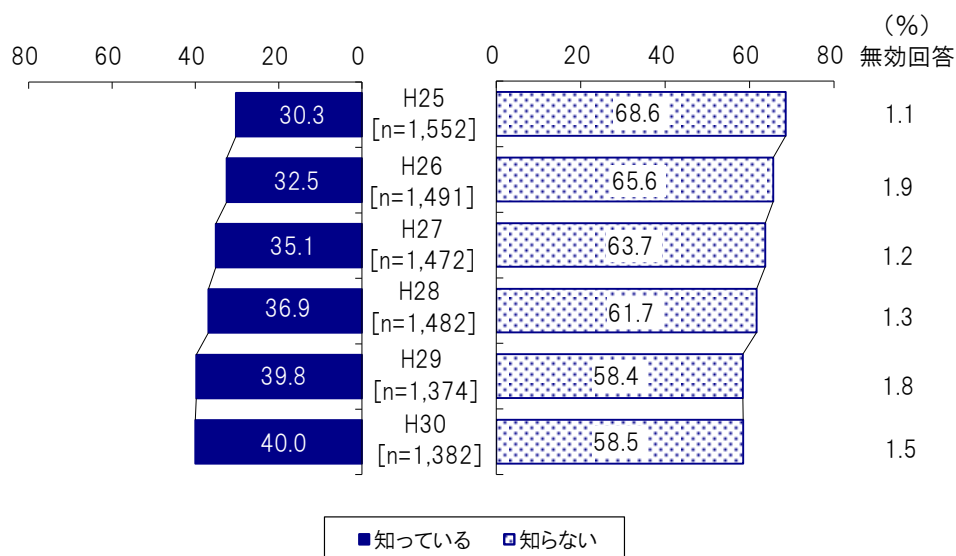
○「知っている」は40.0%、「知らない」は58.5%であり、認知度は4割となっています。



＜経年比較＞

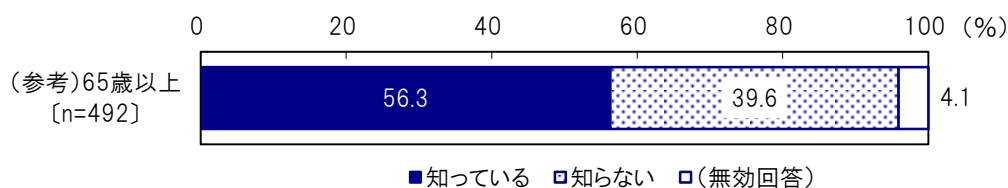
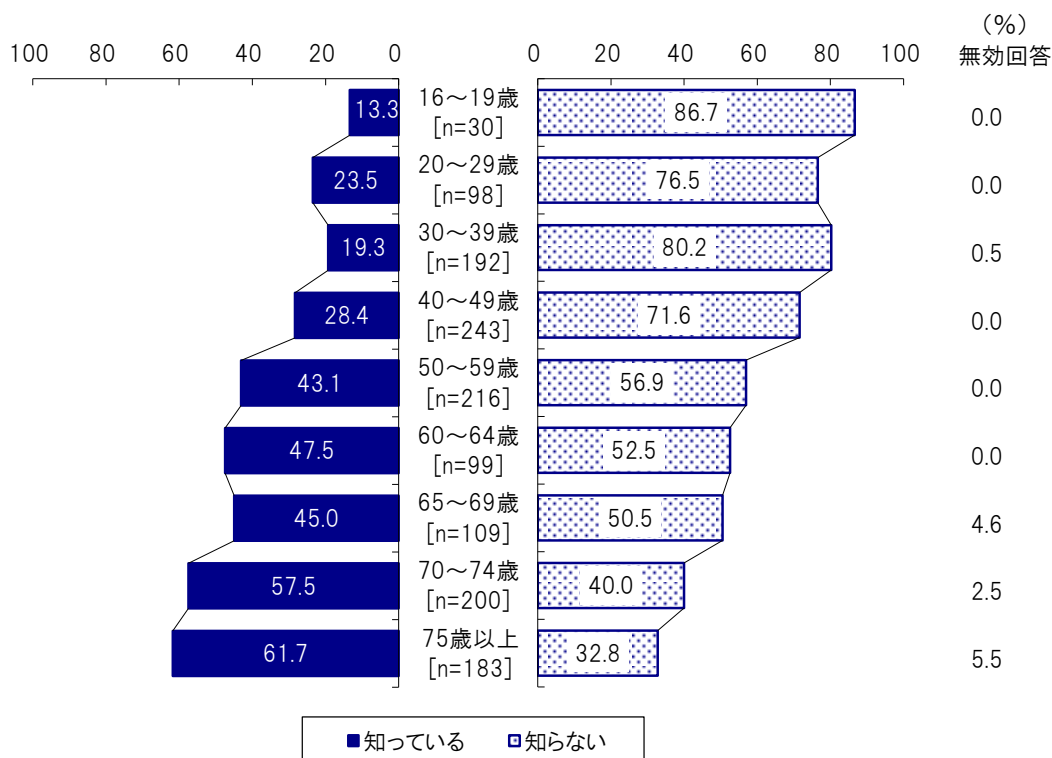
○「知っている」(40.0%)は、平成25年度から平成30年度にかけて増加しています。平成30年度は平成29年度(39.8%)に比べ0.2ポイント増加しています。

○「知らない」(58.5%)は、平成25年度から平成29年度にかけて減少傾向にありましたが、平成30年度には0.1ポイント増加しています。



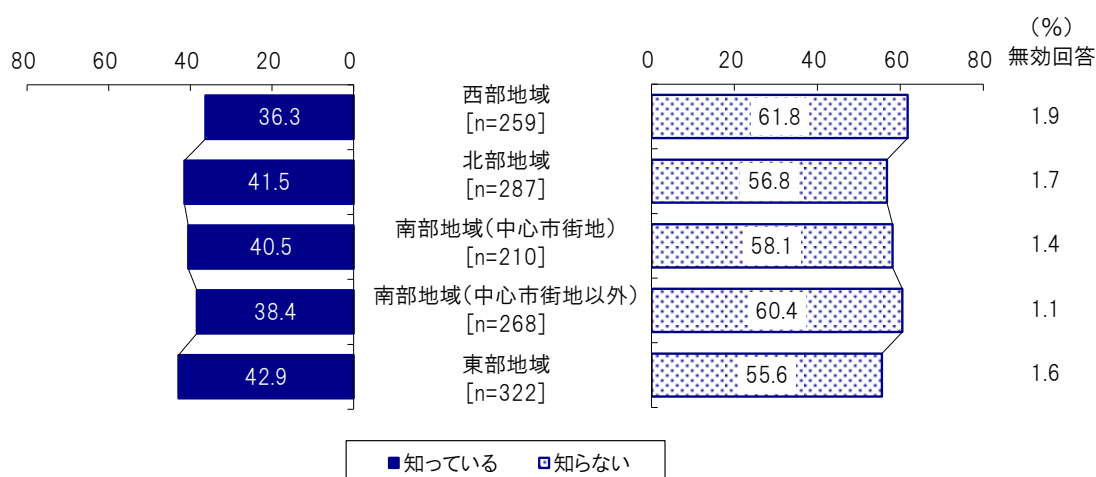
＜年齢層別＞

○「知っている」割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向にあり、70歳以上では半数を上回っています。



＜地域別＞

○いずれの地域でも「知っている」は4割前後となっており、「知らない」が5～6割となっています。



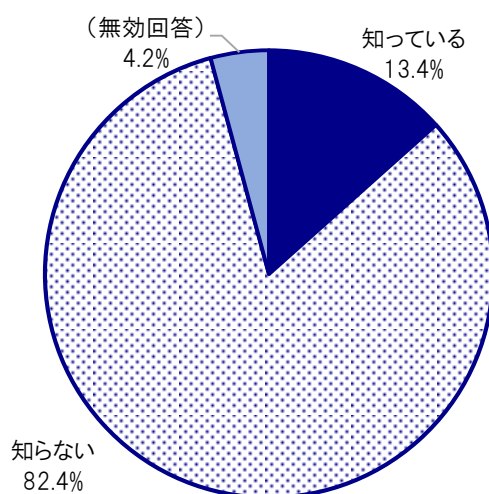
※地域包括支援センター…市内10地域に設置しています。

高齢者に関する様々な相談のほか、介護予防ケアマネジメント業務、成年後見制度の利用手続きや高齢者虐待に関する相談などの権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などを行っています。

地域福祉コーディネーター

＜全体（n=1,382）＞

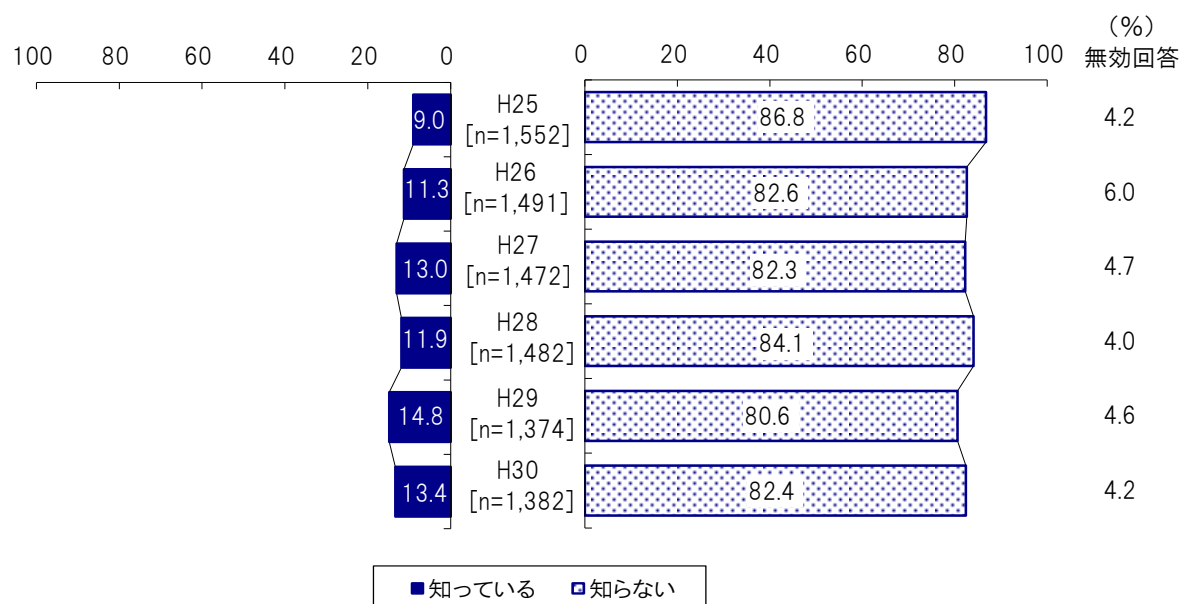
○「知っている」は13.4%、「知らない」は82.4%であり、認知度は1割程度となっています。



＜経年比較＞

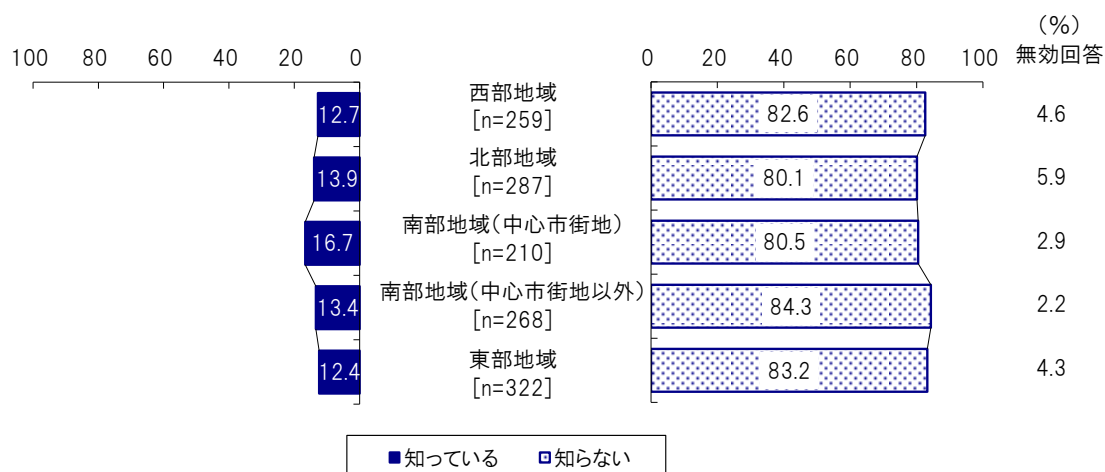
○「知っている」(13.4%)は、平成25年度から平成29年度にかけて概ね増加傾向にありましたが、平成30年度は平成29年度(14.8%)に比べ1.4ポイント減少しています。

○「知らない」(82.4%)は、平成25年度から平成29年度にかけて減少傾向にありましたが、平成30年度は平成29年度(80.6%)と比べ1.8ポイント増加しています。



＜地域別＞

○いずれの地域でも「知っている」は1割程度であり、「知らない」が8割以上となっています。

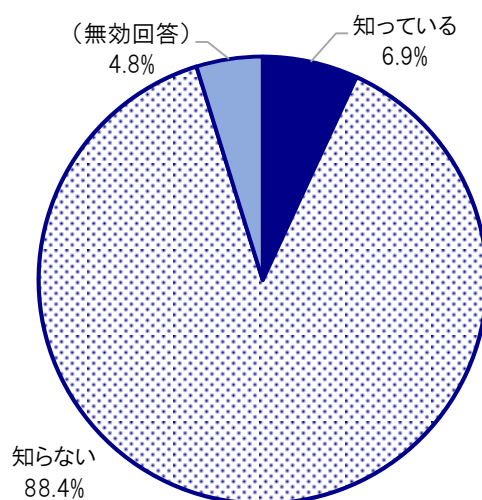


※地域福祉コーディネーター…地域で福祉の生活課題を抱える高齢者や障害者、生活に困窮する人などに対し、必要な支援や課題解決等に努めています。平成25年度から2年間のモデル事業として2人配置し、既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方などに対して、専門機関と連携して個別支援を行っており、平成30年度までに6人を配置しました。平成31年度からは、さらに、2人を増員し、各福祉圏域（計8圏域）への配置を進めていきます。

地域支え合い推進員

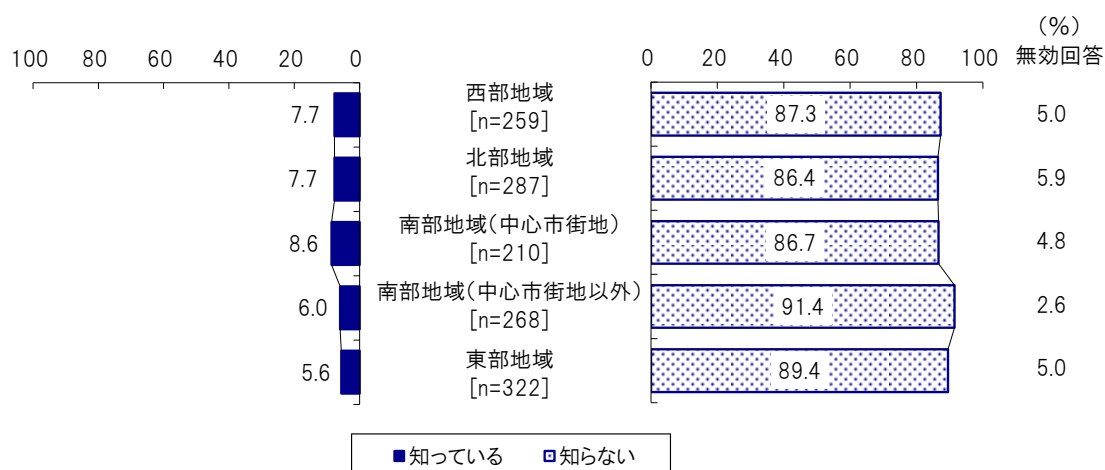
＜全体（n=1,382）＞

○「知っている」は6.9%、「知らない」は88.4%であり、認知度は1割以下となっています。



＜地域別＞

○いずれの地域でも「知っている」は1割未満であり、「知らない」が8割以上となっています。



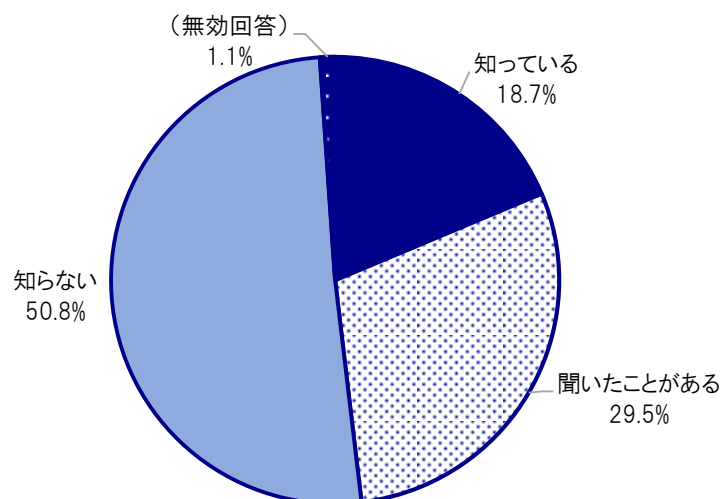
※地域支え合い推進員…市内を8つに分けた福祉圏域に段階的に配置し、地域における福祉ニーズの把握や活動支援を行うことで、市民参加による地域づくりを推進します。具体的には、介護予防や交流を目的とした活動に関する相談等に応じるなど、高齢者等が地域の中で安心・安全に暮らしていけるよう、生活支援・介護予防サービスの充実や強化に取り組んでいます。

【障害者施策について】

問 10) あなたは、平成28年4月から「障害者差別解消法」が施行されたことを知っていますか。

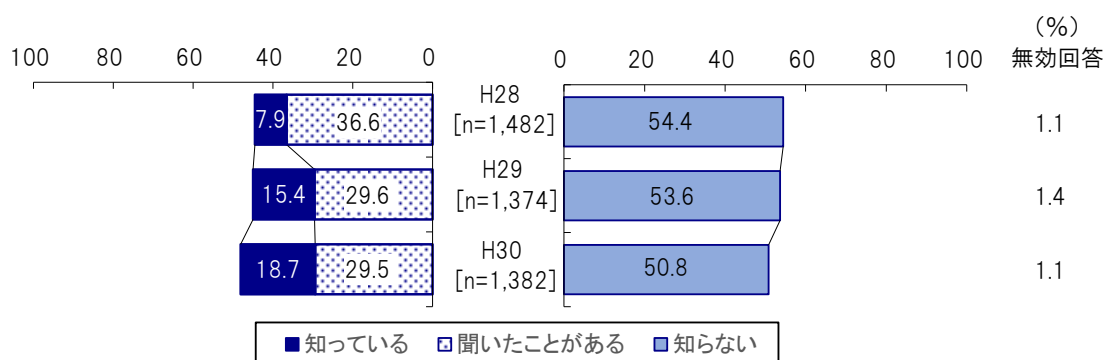
＜全体（n=1,382）＞

○「知っている」は18.7%、「聞いたことがある」は29.5%であり、合計で5割程度（48.2%）となっています。



＜経年比較＞

○「知っている」と「聞いたことがある」の合計（48.2%）は、平成29年度（45.0%）と比べて3.2ポイント増加しています。



問11) あなたは「ヘルプカード」について、知っていますか。

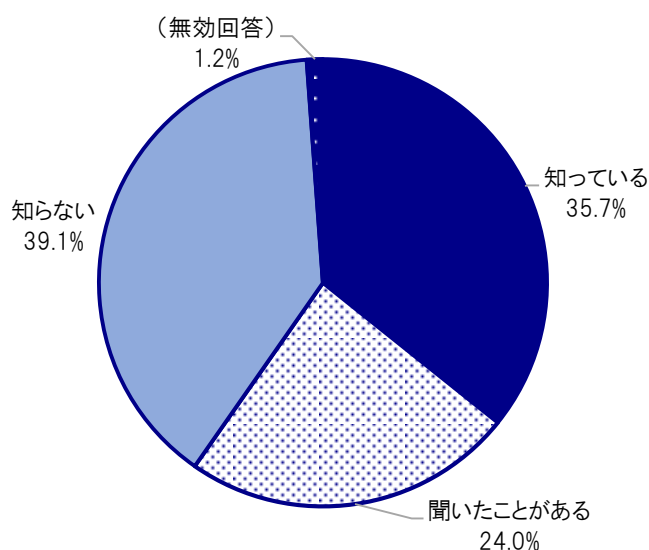
※ヘルプカード…障害のある方が、災害時や日常生活の中で困った時に、周囲に自己の障害への理解や支援を求めるためのものです。緊急連絡先や必要な支援内容が記載されています。

＜ヘルプカード＞



＜全体（n=1,382）＞

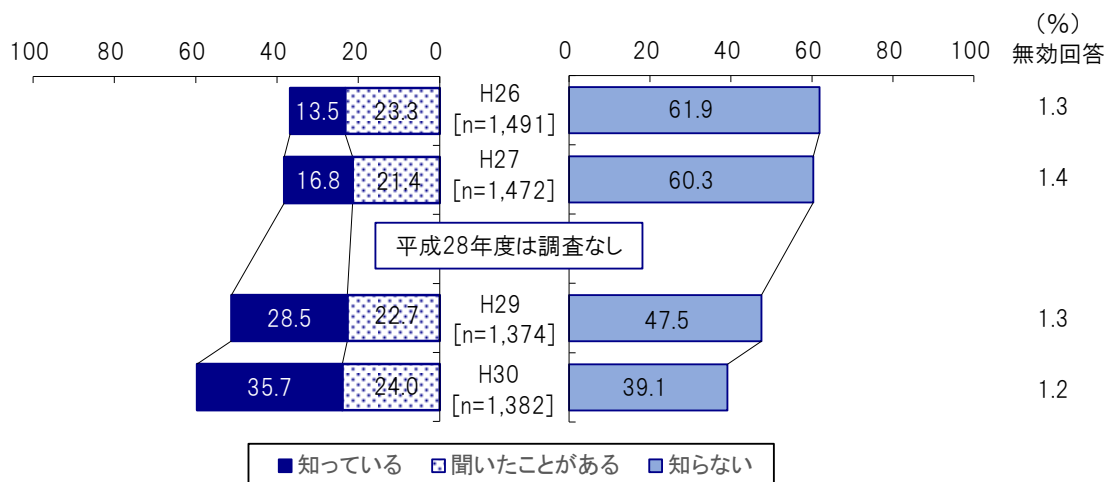
○「知っている」は35.7%、「聞いたことがある」は24.0%であり、合計で6割程度（59.7%）となっています。



＜経年比較＞

○「知っている」と「聞いたことがある」の合計（59.7%）は、平成29年度（51.2%）に比べ8.5ポイント増加しています。

○「知らない」(39.1%)は、平成29年度（47.5%）に比べ8.4ポイント減少しています。



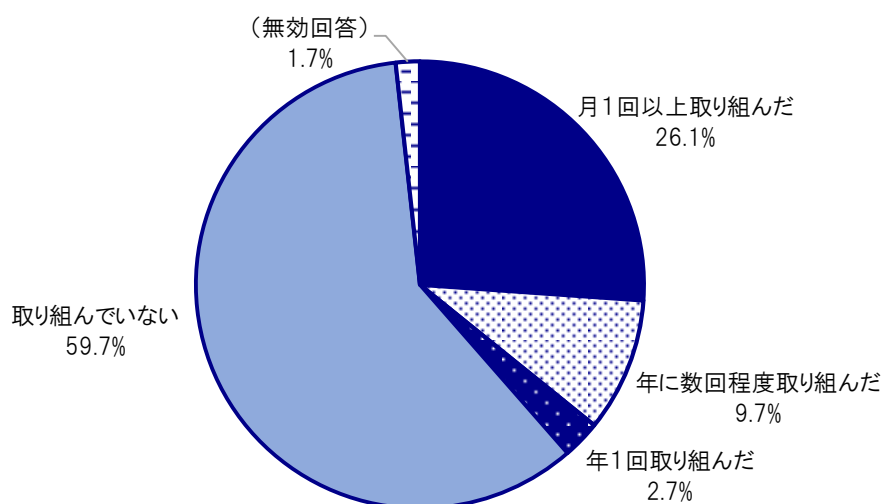
【生涯学習について】

問12) あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習に取り組んだことがありますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「月1回以上取り組んだ」が26.1%、「年に数回程度取り組んだ」が9.7%、「年1回取り組んだ」が2.7%であり、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は合計で4割程度（38.5%）となっています。

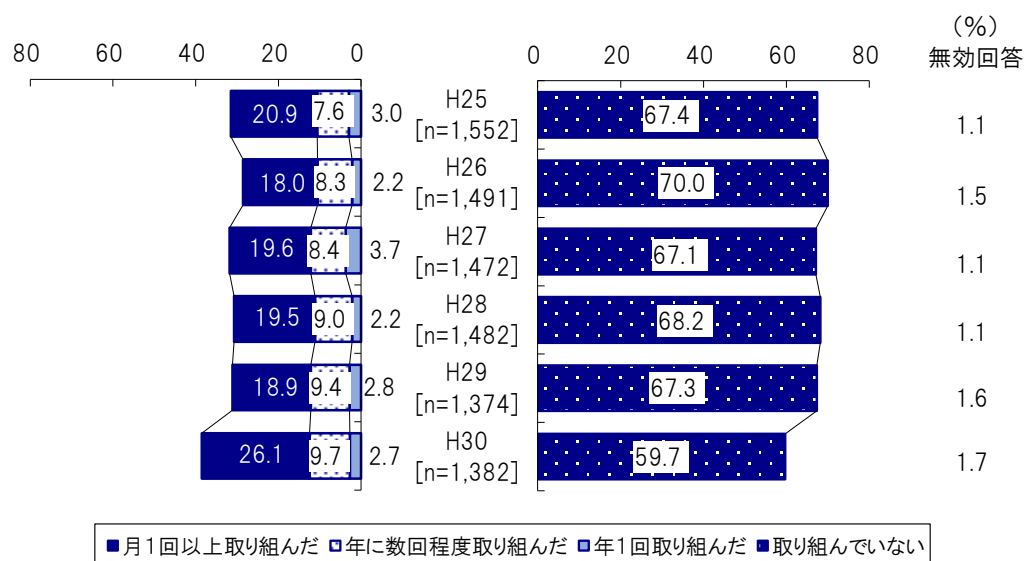
○一方、「取り組んでいない」は59.7%となっています。



＜経年比較＞

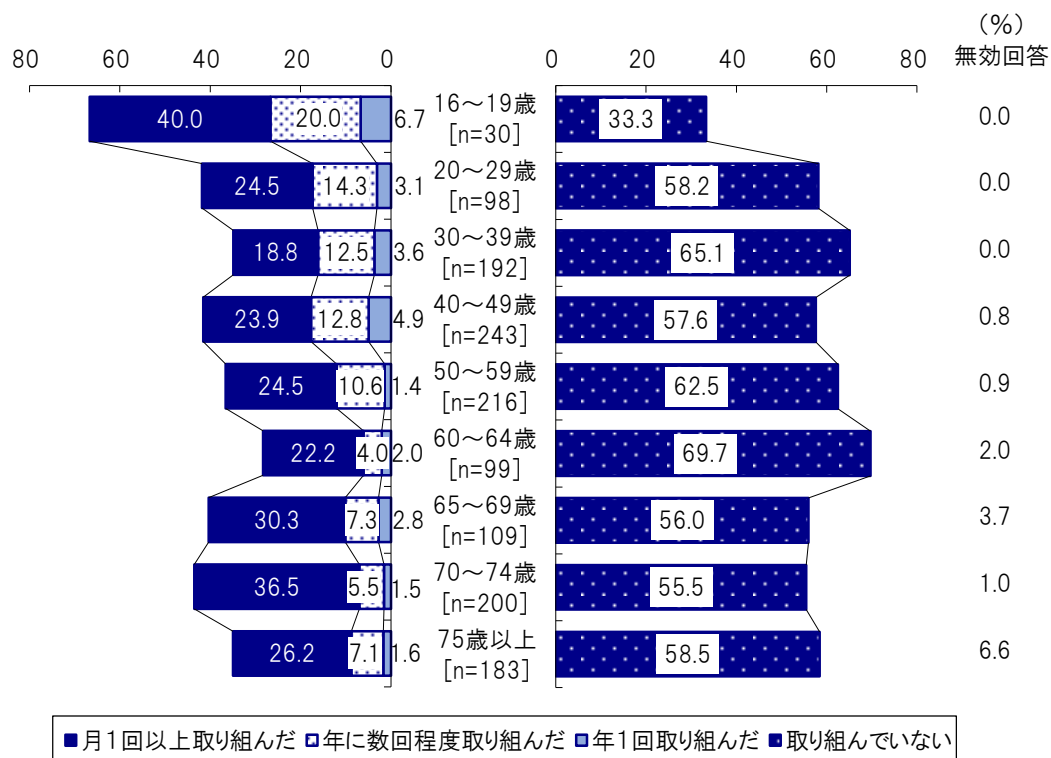
○「取り組んだ」の合計（38.5%）は、平成26年度に最も低い値（28.5%）となりましたが、それ以降概ね増加傾向にあり、平成29年度（31.1%）に比べ7.4ポイント増加しています。

○一方、「取り組んでいない」（59.7%）は、平成26年度以降概ね減少傾向にあり、平成29年度（67.3%）に比べ7.6ポイント減少しています。



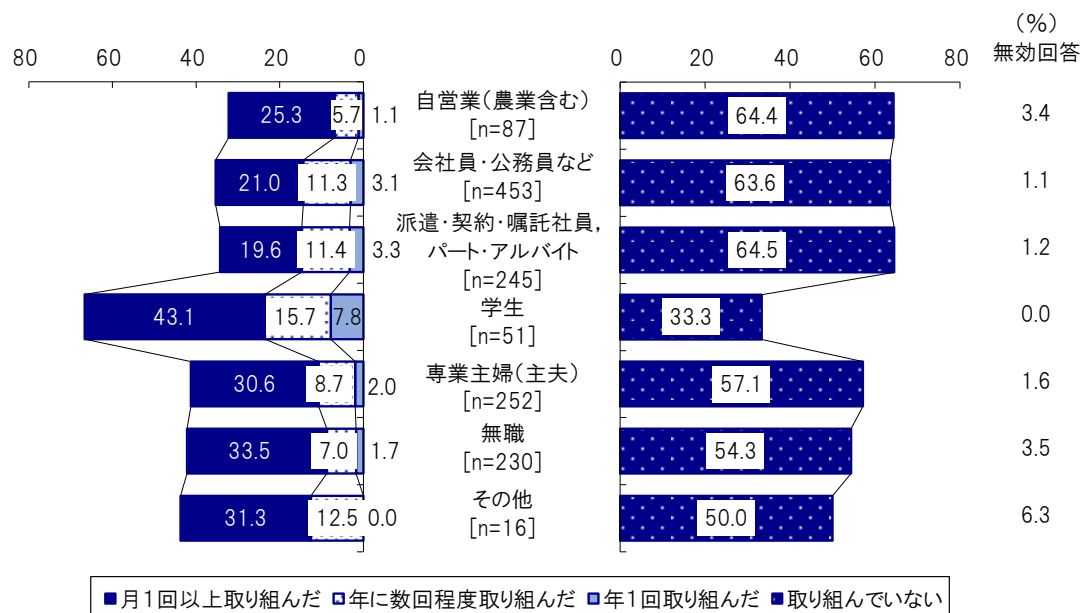
＜年齢層別＞

○16～19歳を除き、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は5割を下回っています。



＜職業別＞

○学生を除き、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は半数を下回っています。

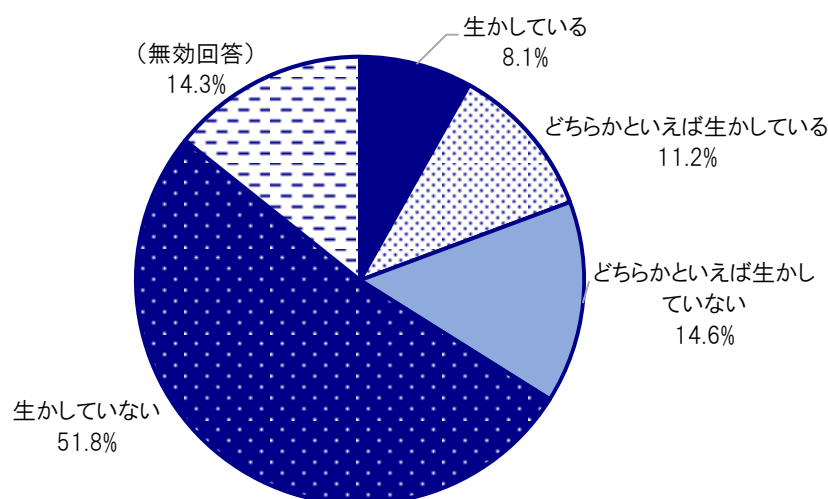


問 13) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくりなど自分以外のために生かしていますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「生かしている」は 8.1%、「どちらかといえば生かしている」は 11.2%であり、合計で 2 割以下（19.3%）となっています。

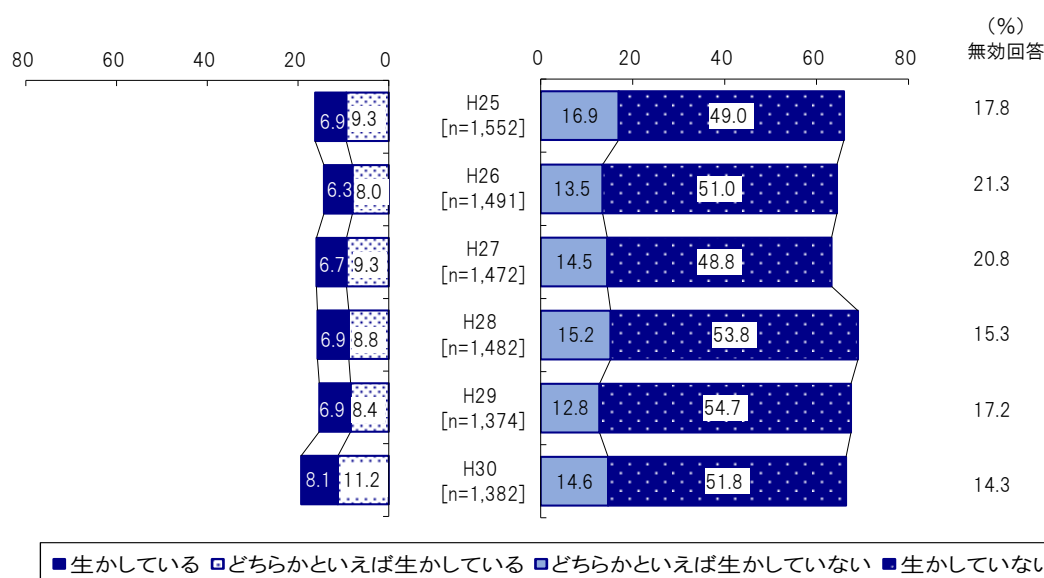
○一方、「生かしていない」は 51.8%、「どちらかといえば生かしていない」は 14.6%であり、合計で 6 割以上（66.4%）を占めています。



＜経年比較＞

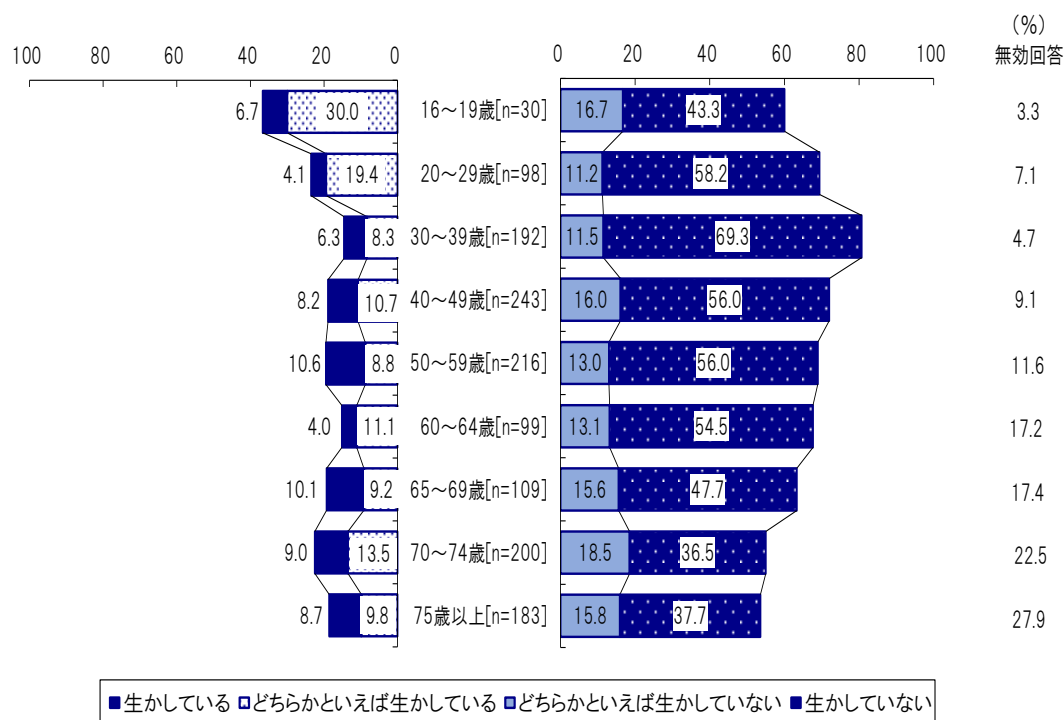
○「生かしている」「どちらかといえば生かしている」の合計（19.3%）は、平成 25 年度以降平成 29 年度までほぼ横ばいで推移していましたが、平成 30 年度は平成 29 年度（15.3%）に比べ 4.0 ポイント増加しています。

○一方、「生かしていない」「どちらかといえば生かしていない」の合計（66.4%）は、平成 29 年度（67.5%）に比べ 1.1 ポイント減少しています。



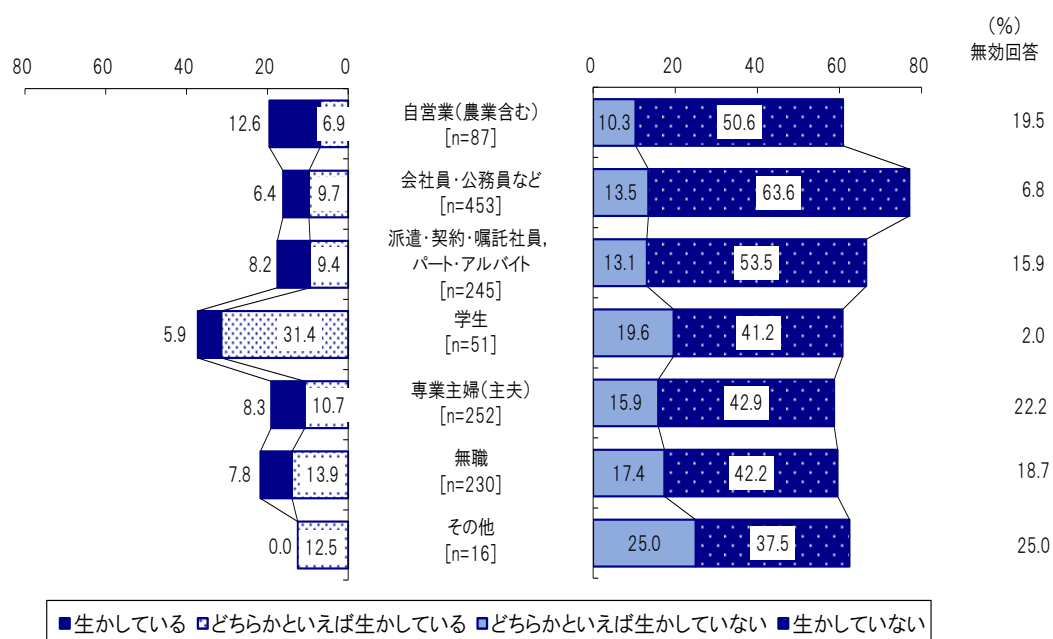
＜年齢層別＞

○「生かしている」「どちらかといえば生かしている」の合計は、16～19歳で3割以上、20～29歳と70～74歳以上では2割以上となっていますが、それ以外の年齢層では2割以下となっています。



＜職業別＞

○学生と無職では「生かしている」「どちらかといえば生かしている」の合計が2割を上回っています。



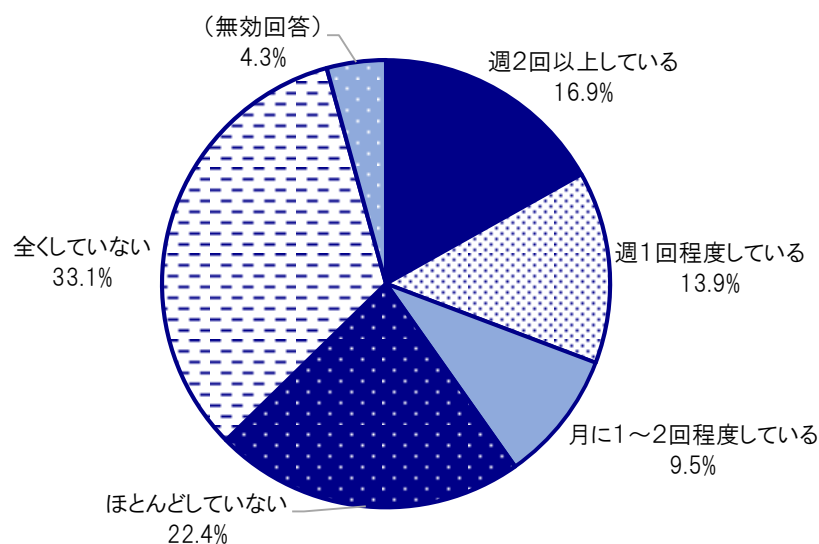
【スポーツ振興について】

問 14) あなたは、健康の維持や体力の増進のために意識的に体を動かしていますか。

＜全体（n=1,382）＞

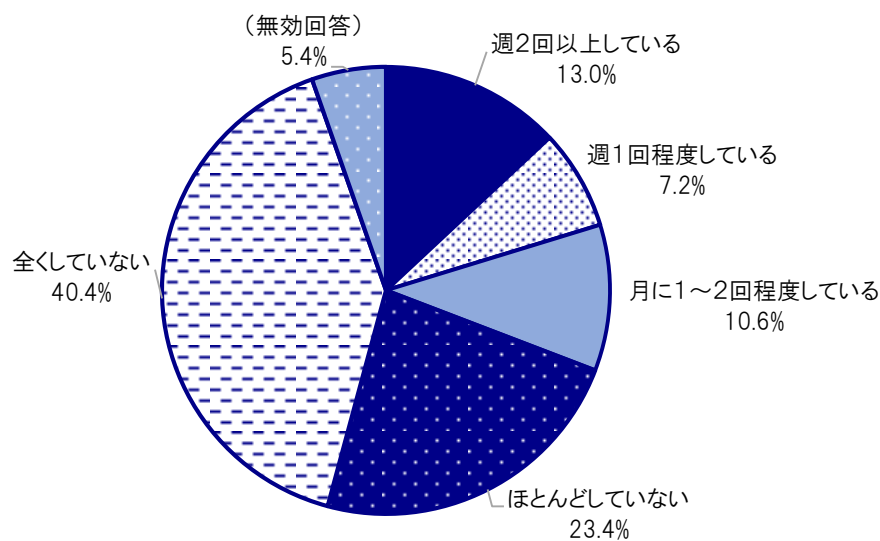
① スポーツをしている（スポーツジムやプールに通う、ランニングをする、仲間とスポーツするなど）

- 「週2回以上している」は16.9%、「週1回程度している」は13.9%、「月に1～2回程度している」は9.5%であり、合計で40.3%となっています。
- 「全くしていない」は33.1%となっています。



② 電車やバス等の最寄りの駅で降車するのではなく1駅分多く歩いている

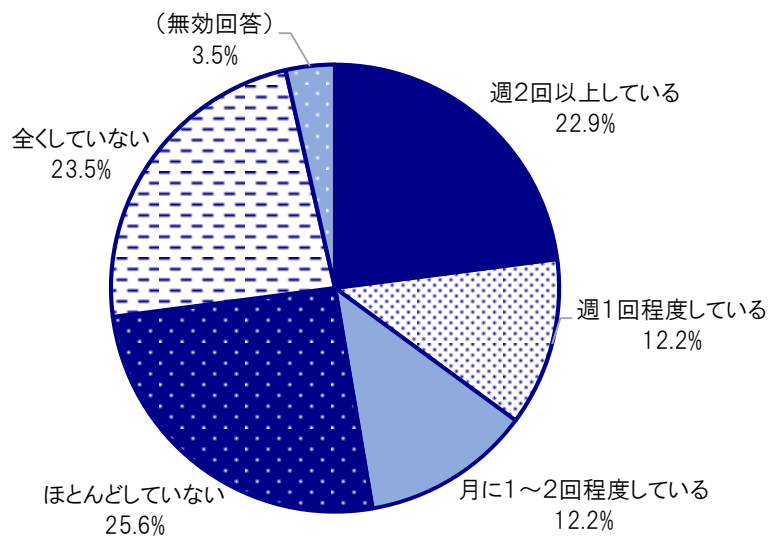
- 「週2回以上している」は13.0%、「週1回程度している」は7.2%、「月に1～2回程度している」は10.6%であり、合計で30.8%となっています。
- 「全くしていない」は40.4%となっています。



③ 家事やテレビを見ながらストレッチするなど、ながら体操をしている

○「週2回以上している」は22.9%、「週1回程度している」は12.2%、「月に1～2回程度している」は12.2%であり、合計で47.3%となっています。

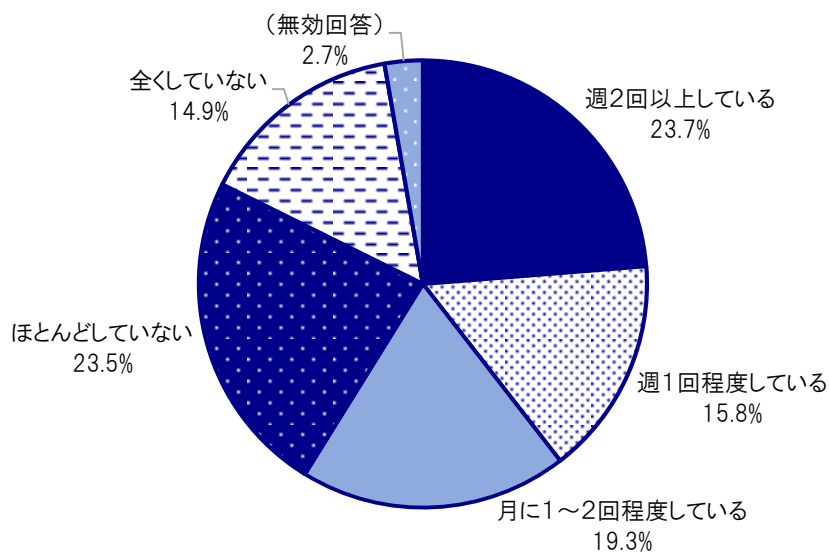
○「全くしていない」は23.5%となっています。



④ その他余暇を見つけて身体を動かしている

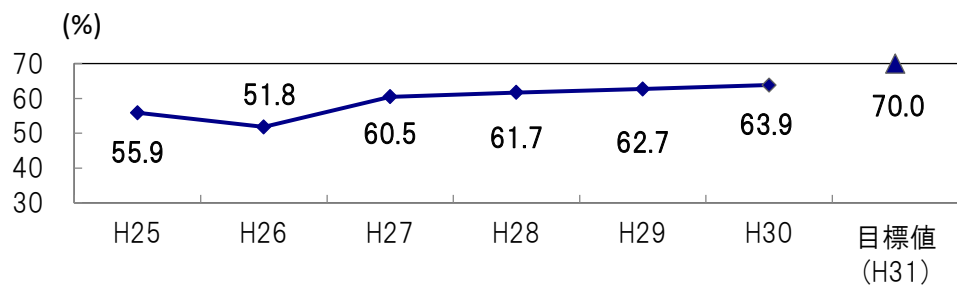
○「週2回以上している」が23.7%、「週1回程度している」が15.8%、「月に1～2回程度している」が19.3%であり、合計で58.8%となっています。

○「全くしていない」は14.9%となっています。



＜まちづくり指標＞ 「施策 14 市民スポーツの振興 運動を週に1回以上行っている市民の割合」

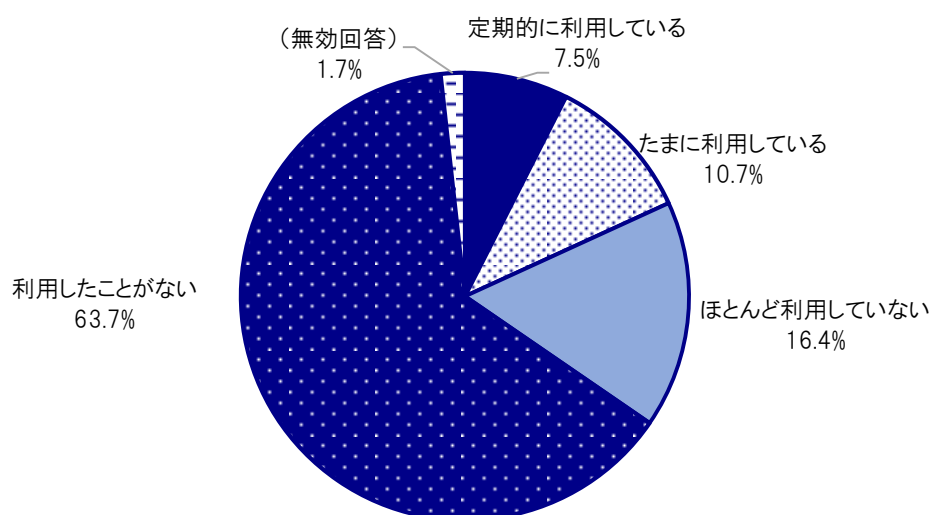
○平成30年度の運動を週に1回以上行っている市民の割合は63.9%となっており、平成29年度（62.7%）と比べて1.2ポイント増加しています。



問 15-1) あなたは、この1年間に公共スポーツ施設を利用したことがありますか。(公共スポーツ施設：総合体育館、市民プール、テニスコート、大町スポーツ施設など)

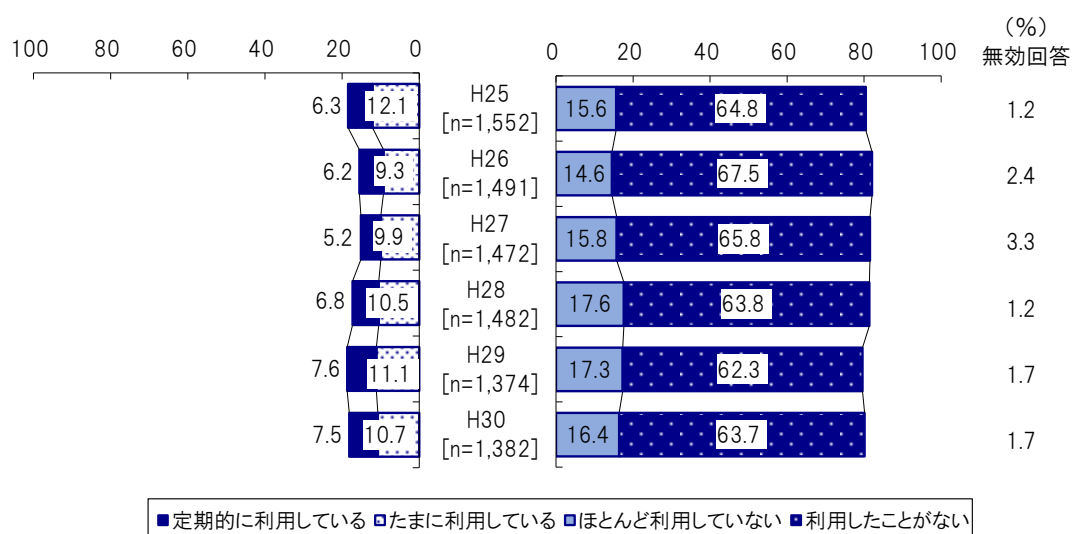
＜全体 (n=1,382)＞

- 「定期的に利用している」は7.5%、「たまに利用している」は10.7%であり、合計で2割程度(18.2%)となっています。
- 一方、「ほとんど利用していない」は16.4%、「利用したことがない」は63.7%であり、合計で8割(80.1%)を占めています。



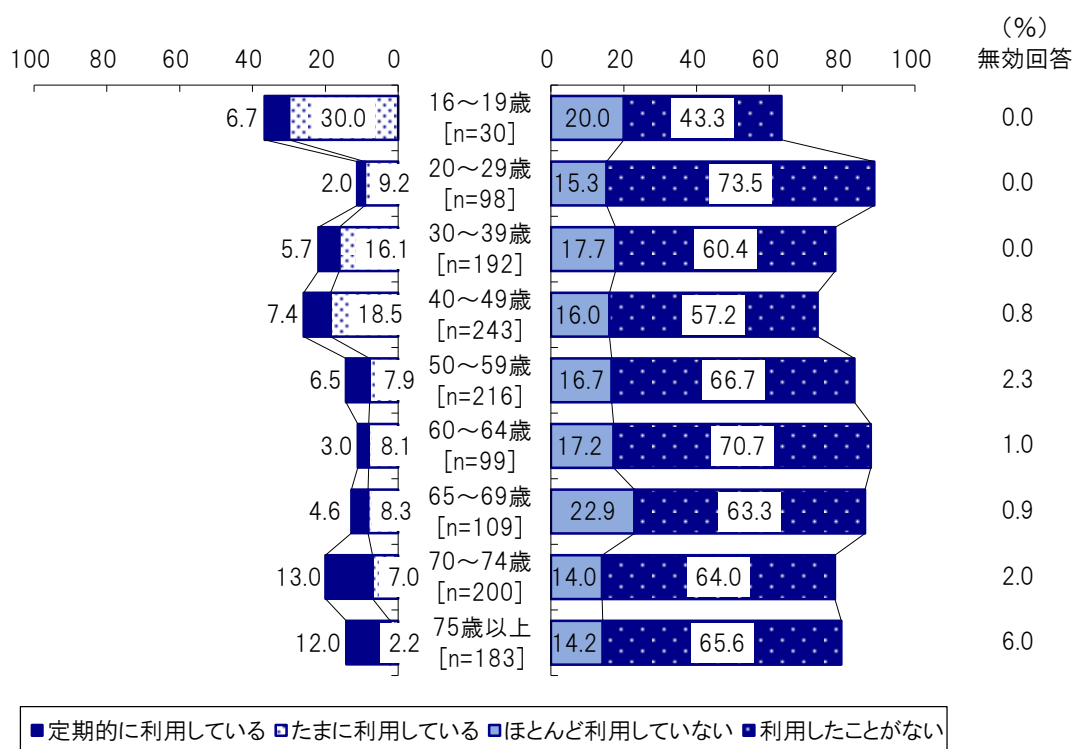
＜経年比較＞

- 「定期的に利用している」と「たまに利用している」の合計(18.2%)は、平成25年度以降ほぼ横ばいで推移しています。
- 「利用したことがない」「ほとんど利用していない」の合計(80.1%)は、平成25年度以降ほぼ横ばいで推移しています。



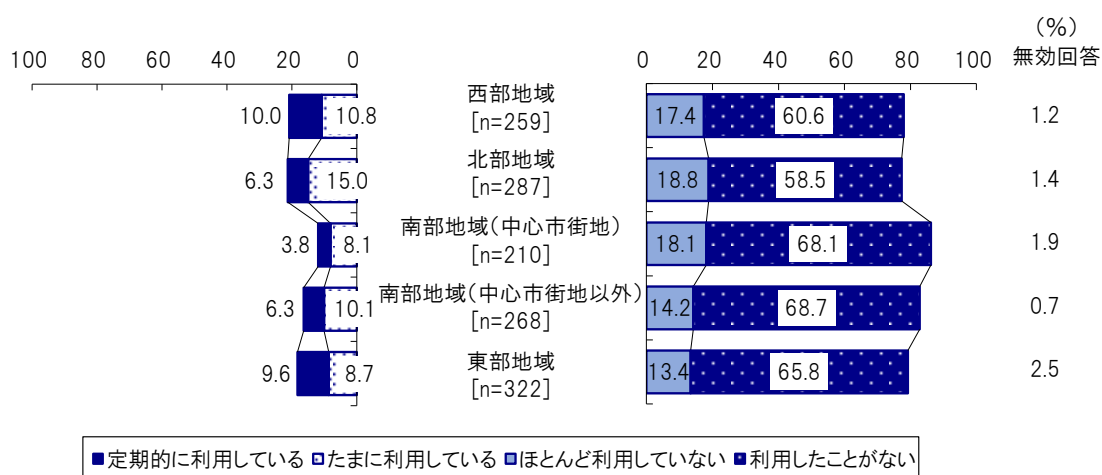
＜年齢層別＞

○16～19歳では、「定期的に利用している」と「たまに利用している」の合計が3割以上となっています。
 ○一方、20歳以上では「利用したことがない」が7割以上を占めています。



＜地域別＞

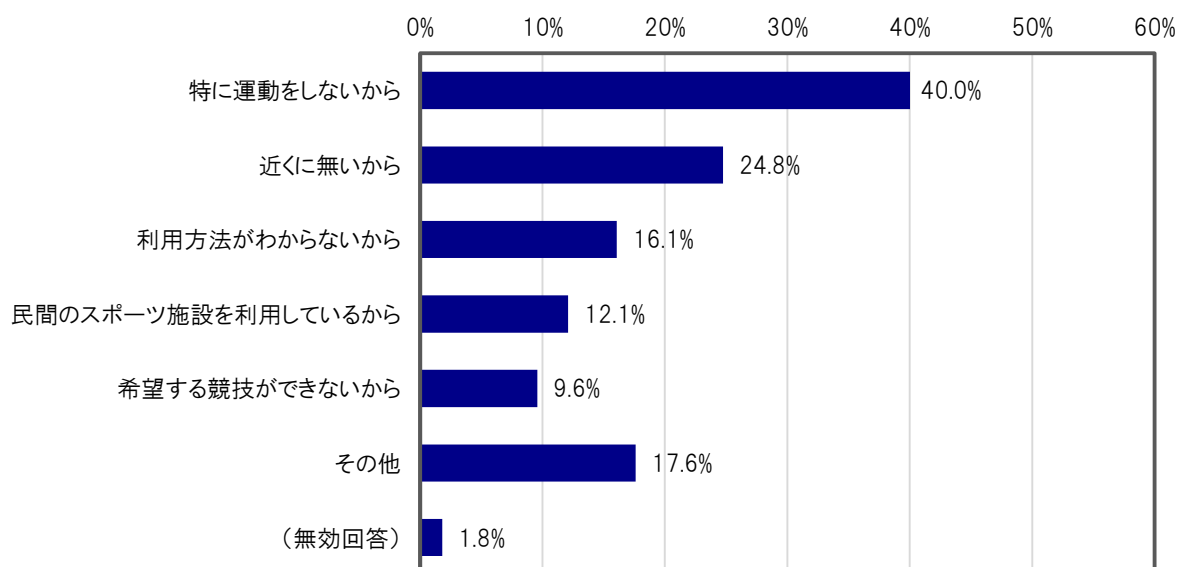
○いずれの地域も「定期的に利用している」と「たまに利用している」の合計が1～2割程度となっており、北部地域以外では「利用したことがない」が6割以上を占めています。



問 15-2) 問 15-1 で「3～4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。利用しない理由はなぜですか。(※複数回答可)

＜全体 (n=1,107)＞

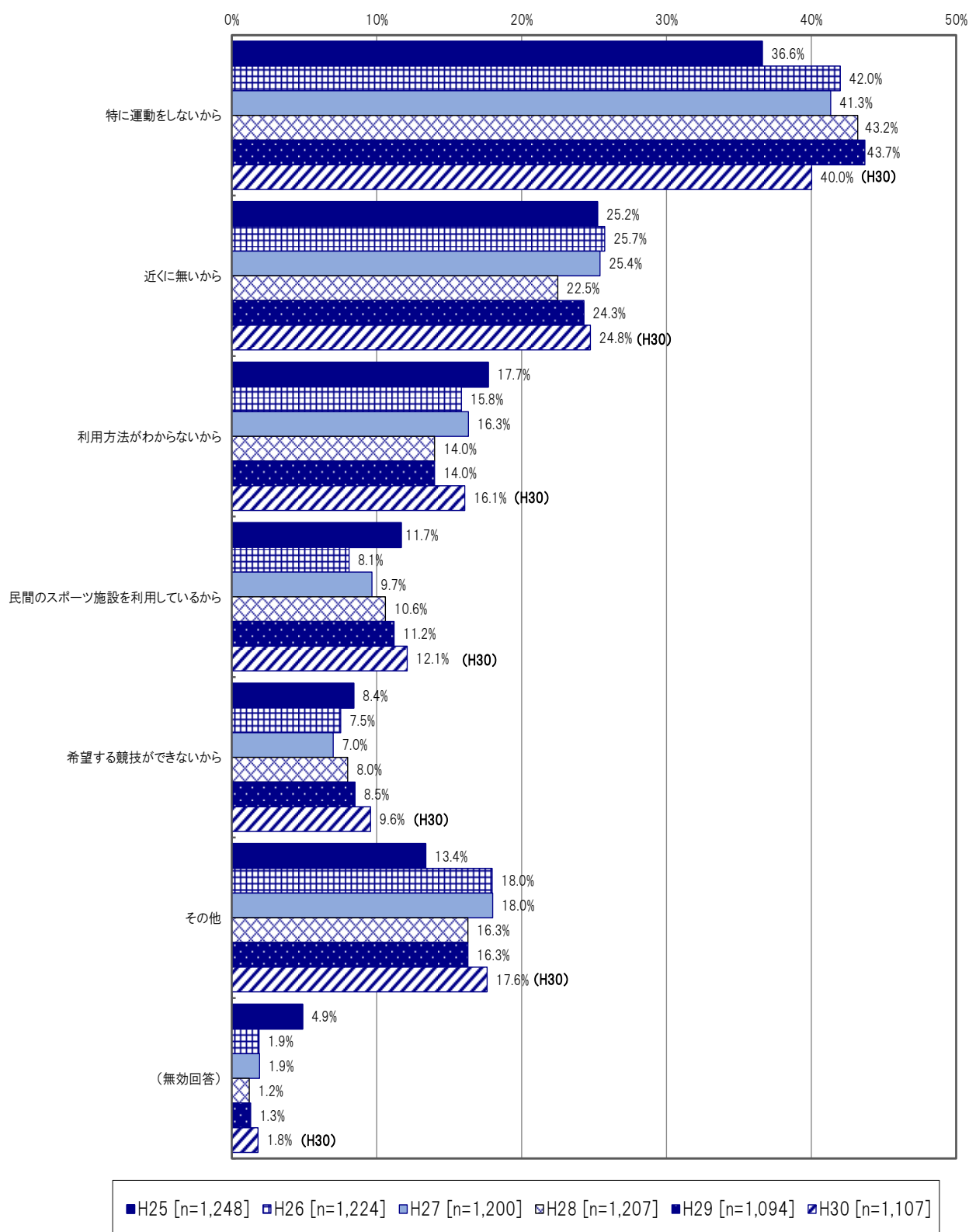
○「特に運動をしないから」が40.0%で最も多く、次いで「近くに無いから」の24.8%、「利用方法がわからないから」の16.1%の順となっています。



＜経年比較＞

○「特に運動をしないから」は、平成29年度に比べ平成30年度は減少しています。

○一方、「近くに無いから」と「利用方法がわからないから」、「民間のスポーツ施設を利用しているから」、「希望する競技ができないから」は、平成29年度に比べ増加しています。



＜地域別＞

○いずれの地域も、「特に運動をしないから」が最も多くなっています。

○北部地域以外では、「近くに無いから」が2番目に多くなっています。

選択肢	全体	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
特に運動をしないから	443 40.0%	84 41.6%	85 38.3%	78 43.1%	92 41.4%	97 38.0%
近くに無いから	274 24.8%	42 20.8%	31 14.0%	59 32.6%	59 26.6%	74 29.0%
利用方法がわからないから	178 16.1%	32 15.8%	29 13.1%	29 16.0%	38 17.1%	44 17.3%
民間のスポーツ施設を利用しているから	134 12.1%	16 7.9%	32 14.4%	21 11.6%	27 12.2%	35 13.7%
希望する競技ができないから	106 9.6%	25 12.4%	18 8.1%	15 8.3%	23 10.4%	23 9.0%
その他	195 17.6%	40 19.8%	58 26.1%	21 11.6%	30 13.5%	43 16.9%
(無効回答)	20 1.8%	3 1.5%	4 1.8%	2 1.1%	3 1.4%	6 2.4%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

0.0%

回答割合が2番目に高い:

0.0%

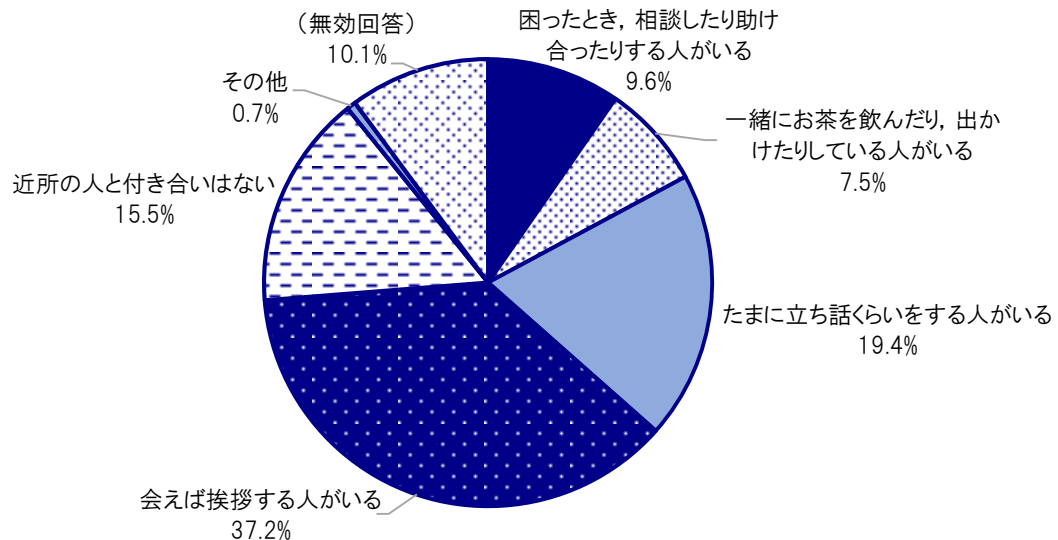
【地域コミュニティについて】

問 16) あなたは、近所の方と普段どのような付き合い方をしていますか。

＜全体（n=1,382）＞

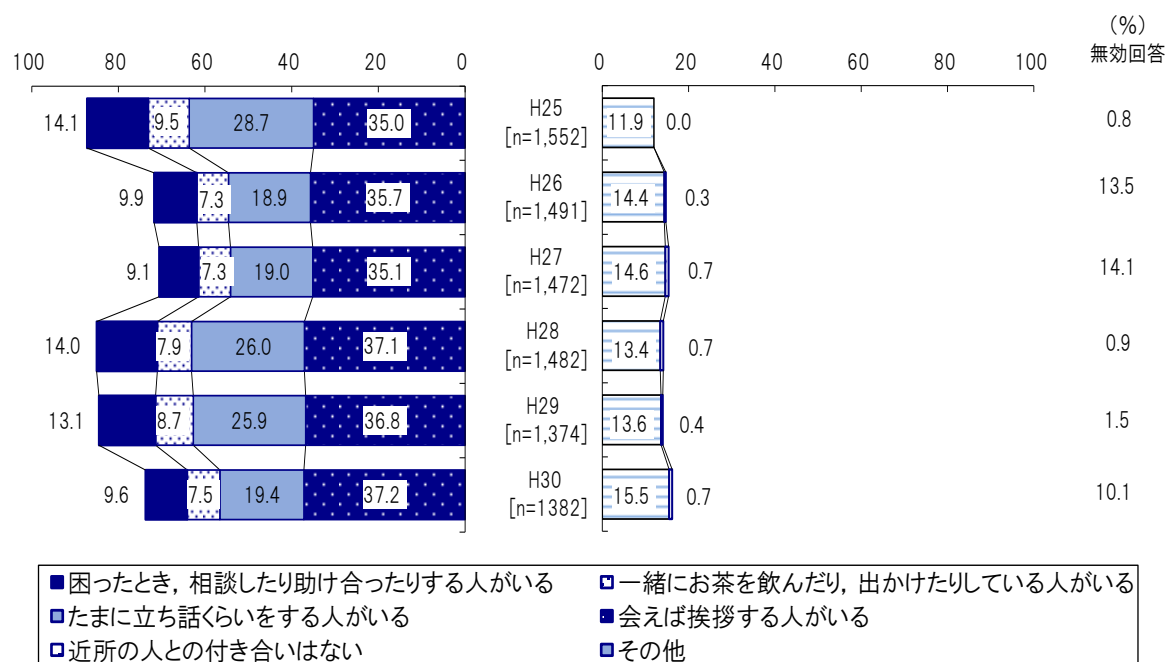
○何らかの形で近所の人と付き合いがある人（「困ったとき、相談したり助け合ったりする人がいる」「一緒にお茶を飲んだり、出かけたりしている人がいる」「たまに立ち話くらいをする人がいる」「会えば挨拶する人がいる」の合計）が7割程度（73.7%）となっています。そのうち、「会えば挨拶する人がいる」が37.2%で最も多くなっています。

○「近所の人と付き合いはない」は15.5%となっています。



＜経年比較＞

○何らかの形で近所の人と付き合いがある人（「困ったとき、相談したり助け合ったりする人がいる」「一緒にお茶を飲んだり、出かけたりしている人がいる」「たまに立ち話くらいをする人がいる」「会えば挨拶する人がいる」）は、平成25年度から平成26年度にかけて減少し、その後平成28年度で増加しましたが、平成30年度（73.7%）は平成29年度（84.5%）と比べて、10.8ポイントと減少しています。

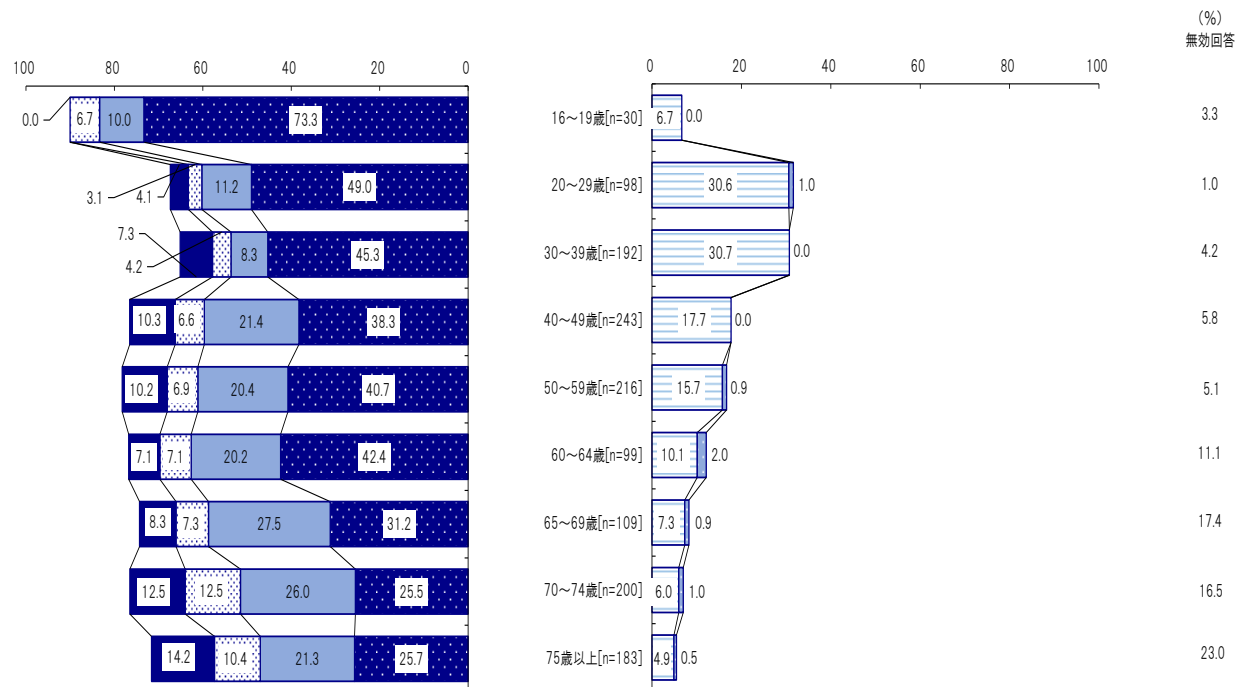


＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも、何らかの形で近所の人と付き合いがある人が6割以上を占めています。

○16～19歳では、「会えば挨拶する人がある」が7割以上を占めています。

○20歳代～30歳代では、「近所の人と付き合いはない」が3割以上となっています。

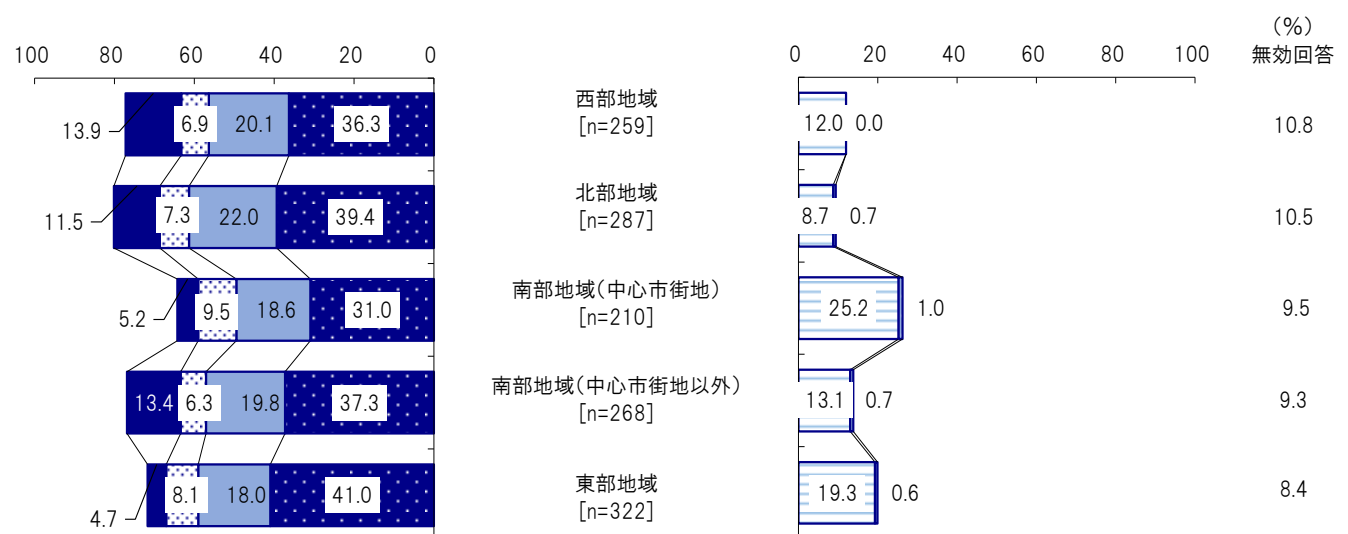


■ 困ったとき、相談したり助け合ったりする人がある
 ■ たまに立ち話くらいをする人がある
 ■ 近所の人との付き合いはない
 ■ 一緒にお茶を飲んだり、出かけたりしている人がある
 ■ 会えば挨拶する人がある
 ■ その他

＜地域別＞

○いずれの地域においても、何らかの形で近所の人と付き合いがある人が6割以上を占めています。

○南部地域（中心市街地）は、「近所の人との付き合いはない」が他の地域と比べて多くなっています。



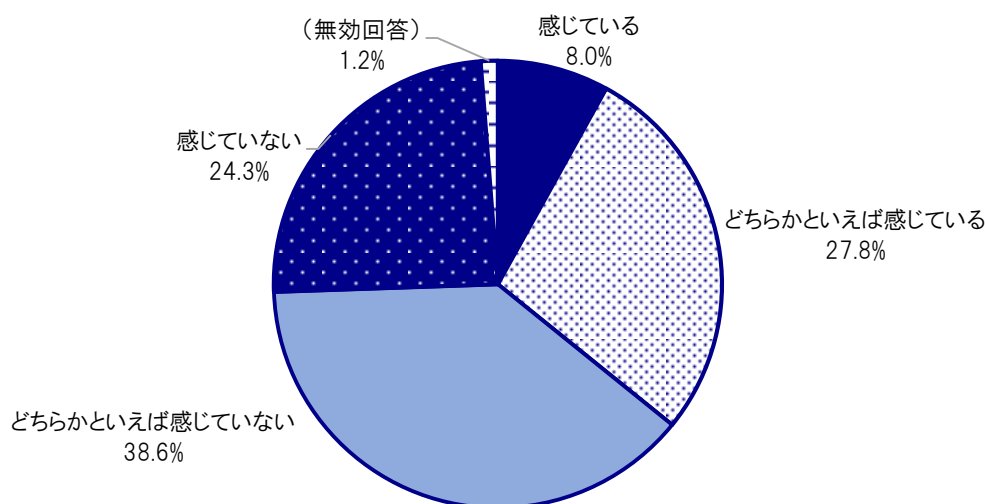
■ 困ったとき、相談したり助け合ったりする人がある
 ■ たまに立ち話くらいをする人がある
 ■ 近所の人との付き合いはない
 ■ 一緒にお茶を飲んだり、出かけたりしている人がある
 ■ 会えば挨拶する人がある
 ■ その他

問 17) あなたは、地域の一員としての意識や地域の連帯感を感じていますか。

＜全体（n=1,382）＞

○地域の一員としての意識や地域の連帯感を「感じている」は8.0%、「どちらかといえば感じている」は27.8%であり、合計で4割以下（35.8%）となっています。

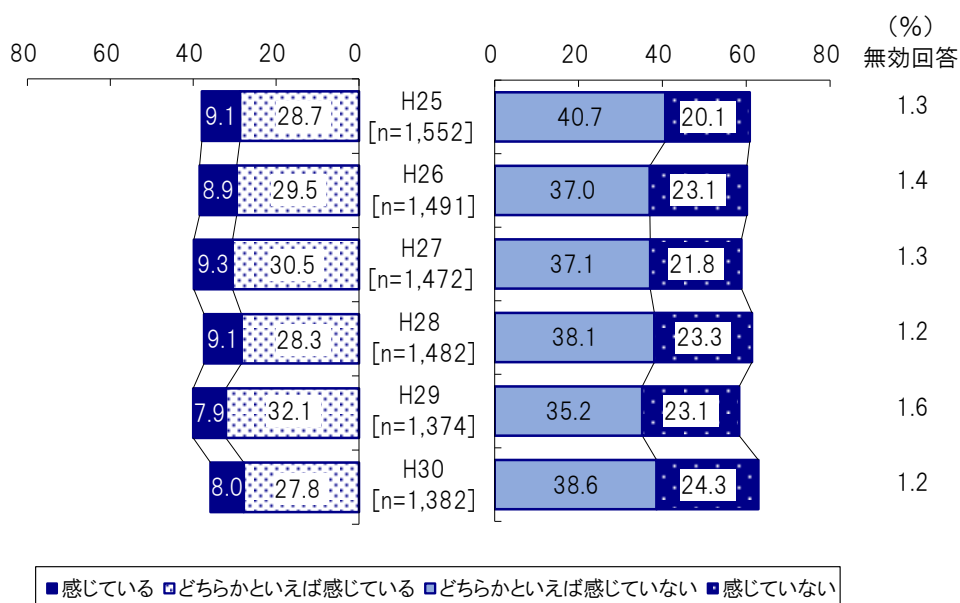
○一方、「どちらかといえば感じていない」は38.6%、「感じていない」は24.3%であり、合計で6割以上（62.9%）となっています。



＜経年比較＞

○地域の一員としての意識や地域の連帯感を「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計(35.8%)は平成29年度(40.0%)と比べると4.2ポイント減少しています。

○「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」の合計(62.9%)は平成29年度(58.3%)と比べると4.6ポイント増加しています。

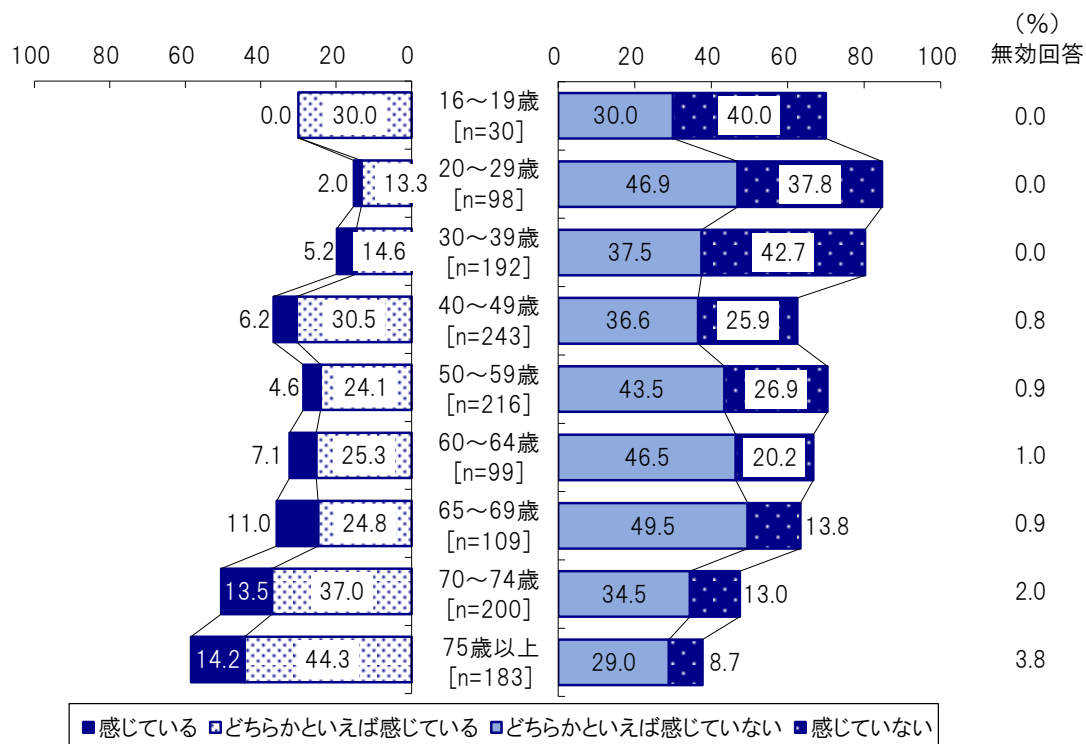


＜年齢層別＞

○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、概ね年齢が上がるにつれ多くなる傾向にあります。

○特に 70 歳以上では、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計が半数以上となっています。

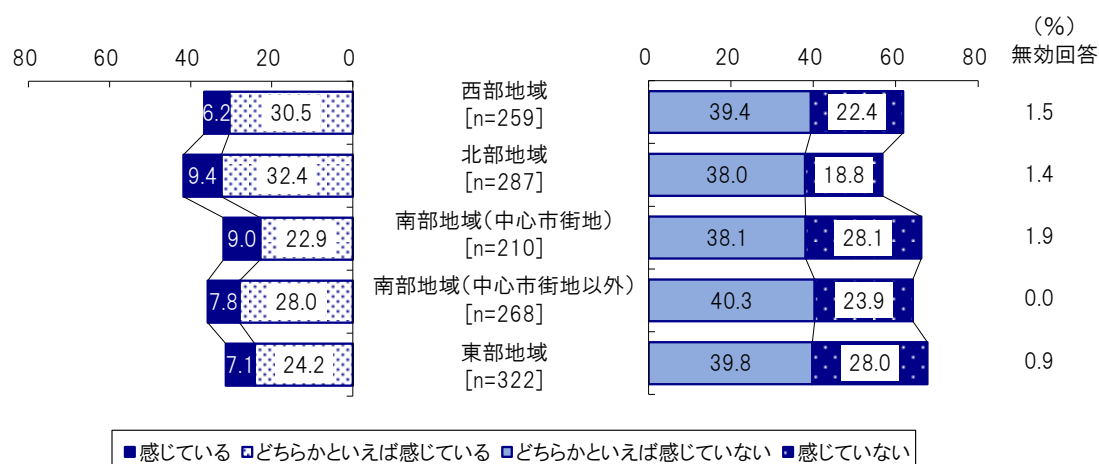
○一方、69 歳以下では、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計が半数以上となっており、特に 20～30 歳代では 8 割以上を占めています。



＜地域別＞

○いずれの地域でも「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計が半数以上となっています。

○南部地域（中心市街地）と東部地域は、「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計が他の地域と比べ少なくなっています。

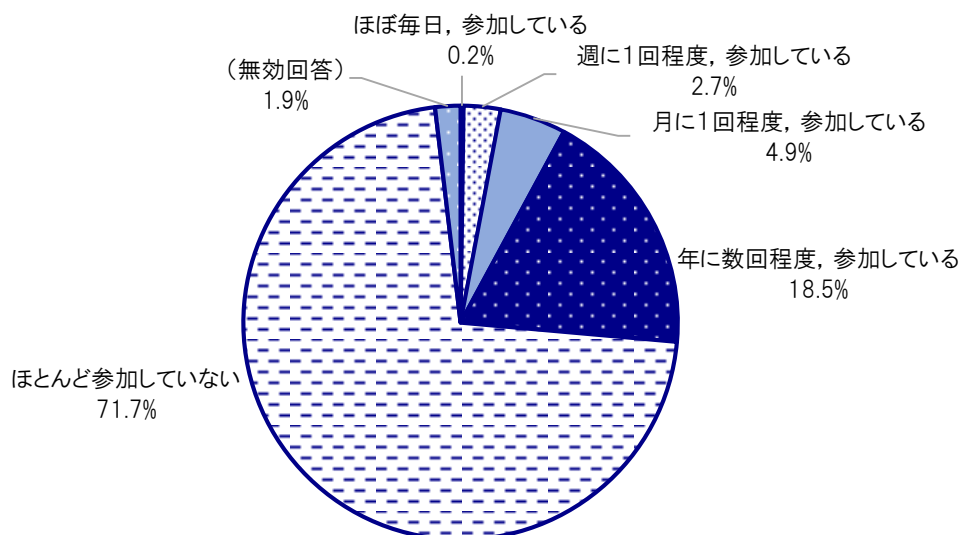


問 18-1) あなたは、この1年間に地域の活動やイベントに参加したことがありますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「ほぼ毎日参加している」が0.2%、「週に1回程度参加している」が2.7%、「月に1回程度参加している」が4.9%、「年に数回程度参加している」が18.5%で、「参加している」の合計は26.3%となっています。

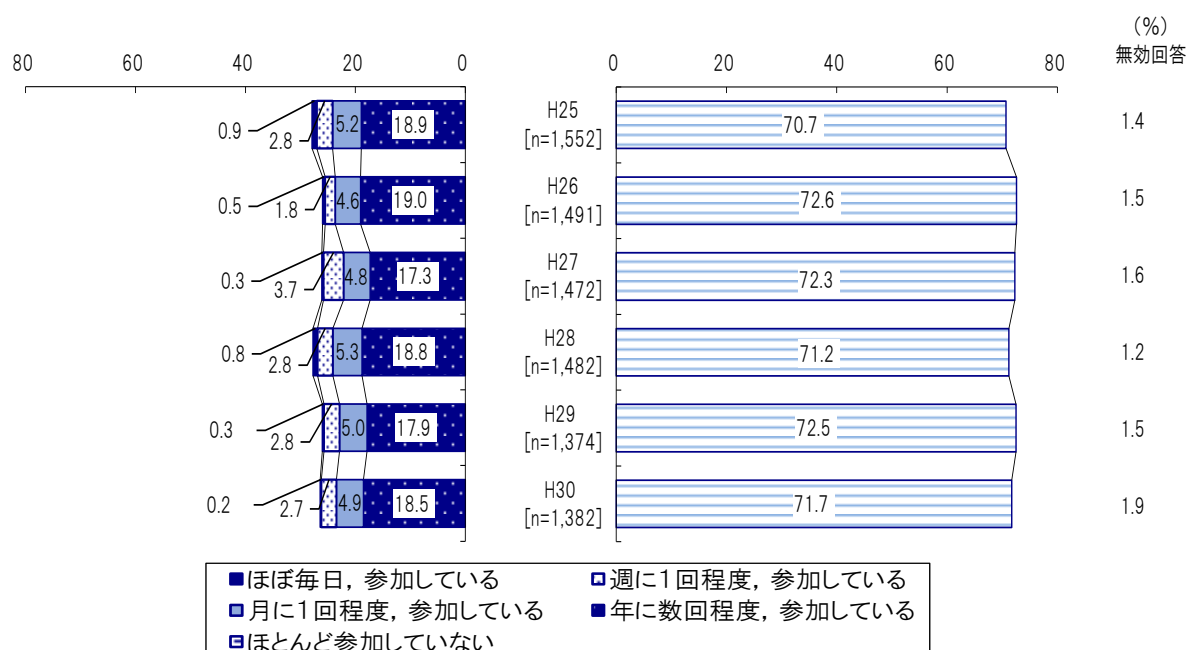
○「ほとんど参加していない」は71.7%であり、「参加している」の合計の2倍以上を占めています。



＜経年比較＞

○「参加している」の合計（26.3%）は、平成25年度以降ほぼ横ばいで推移しています。

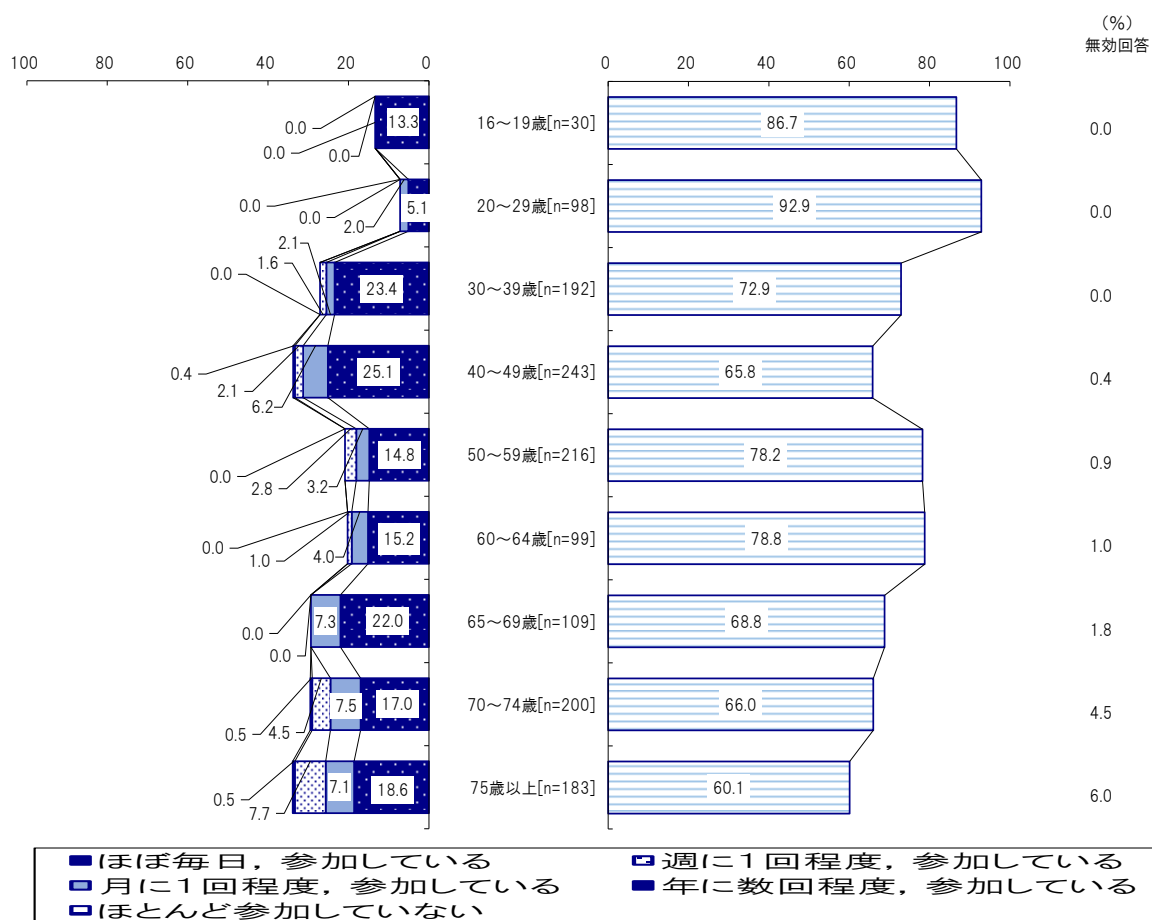
○「ほとんど参加していない」（71.7%）も、平成25年度以降ほぼ横ばいで推移しています。



＜年齢層別＞

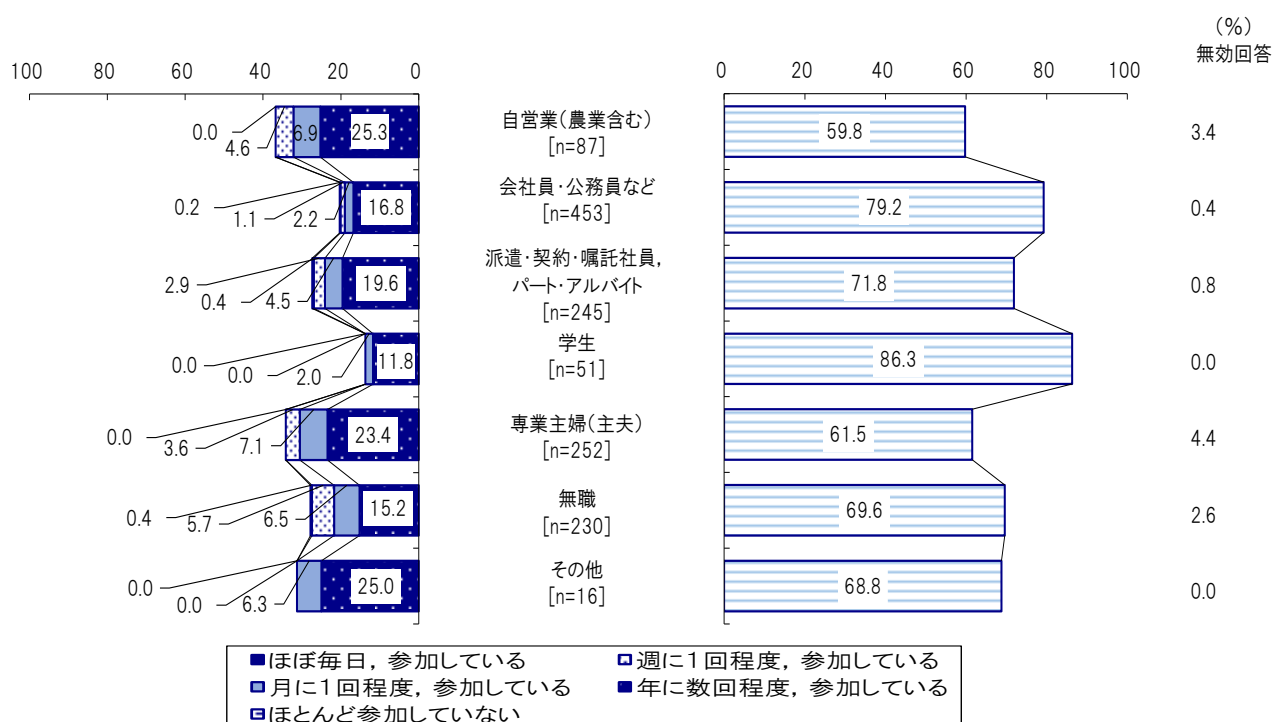
○40～49 歳と 75 歳以上では、「参加している」の合計が 3 割を上回っています。

○20～29 歳では「ほとんど参加していない」が 9 割以上を占めています。



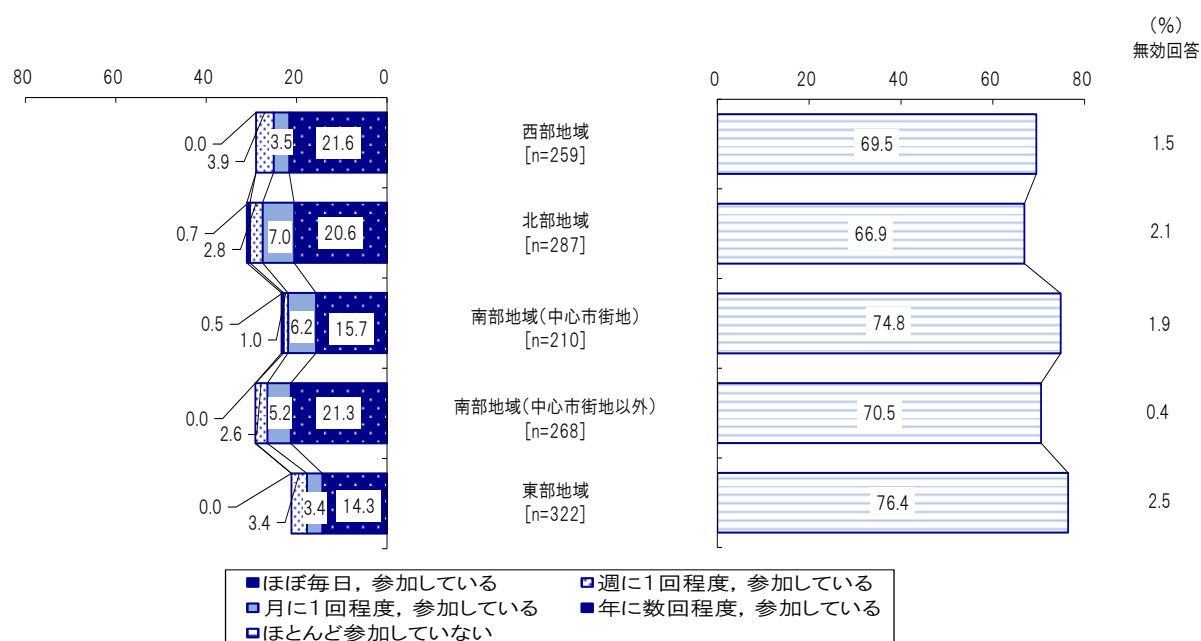
＜職業別＞

- 自営業（農業含む），専業主婦（主夫），その他では，「参加している」の合計が3割以上となっています。
- 学生は，「ほとんど参加していない」が8割以上を占めています。



＜地域別＞

- 北部地域では「参加している」の合計が3割を超えていますが，その他の地域では「参加している」の合計が3割以下となっています。
- 西部地域，北部地域以外では，「ほとんど参加していない」が7割以上を占めています。

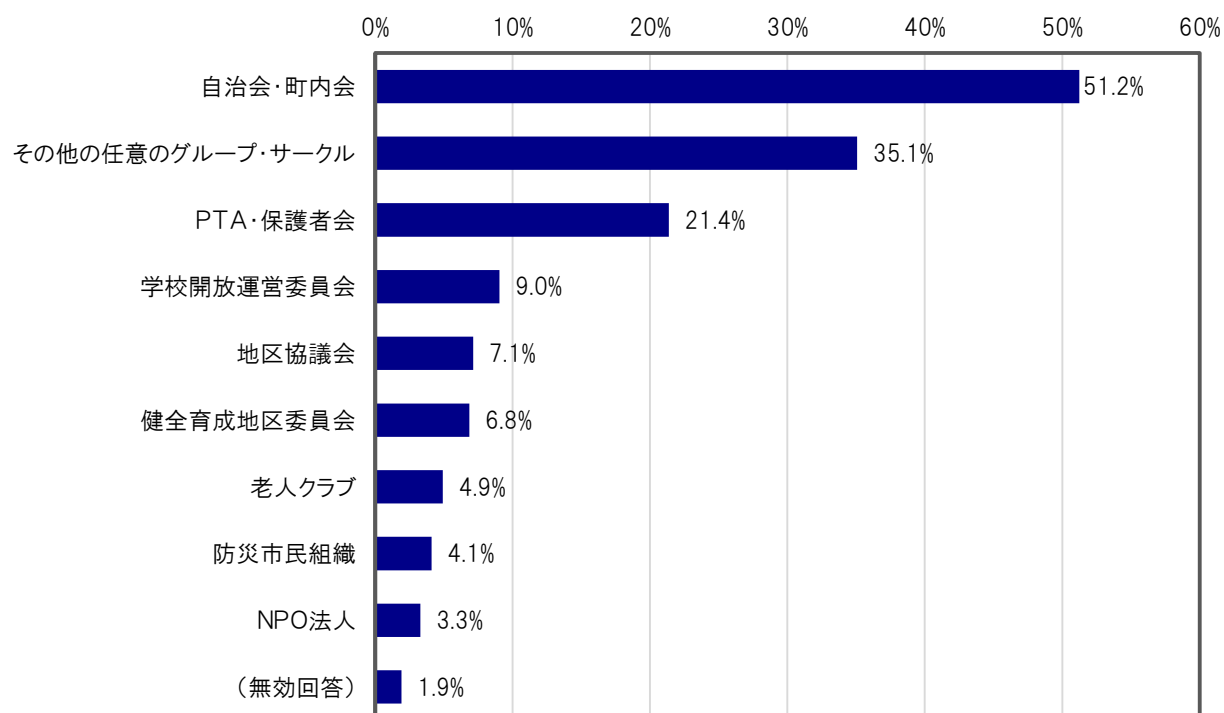


問 18-2) 問 18 で「1～4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。それはどのような団体のどのような活動ですか。(※複数回答可)

団体

＜全体（n=365）＞

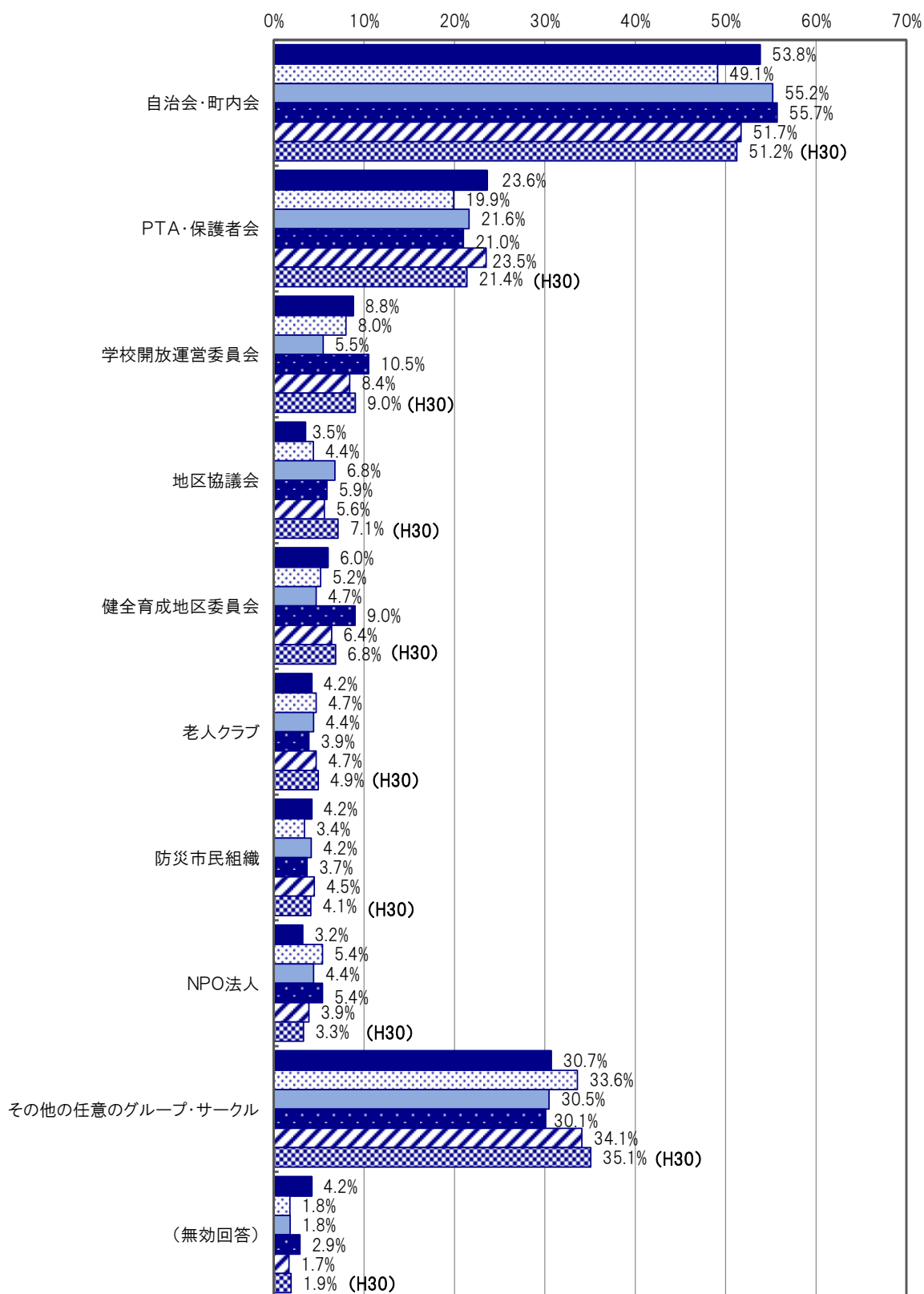
○「自治会・町内会」が51.2%で最も多く、次いで「その他の任意のグループ・サークル」の35.1%、「PTA・保護者会」の21.4%の順となっています。



＜経年比較＞

○「自治会・町内会」51.2%は、平成28年度以降減少傾向にあります。

○「その他の任意のグループ・サークル」(35.1%)は、平成28年度以降増加傾向にあります。

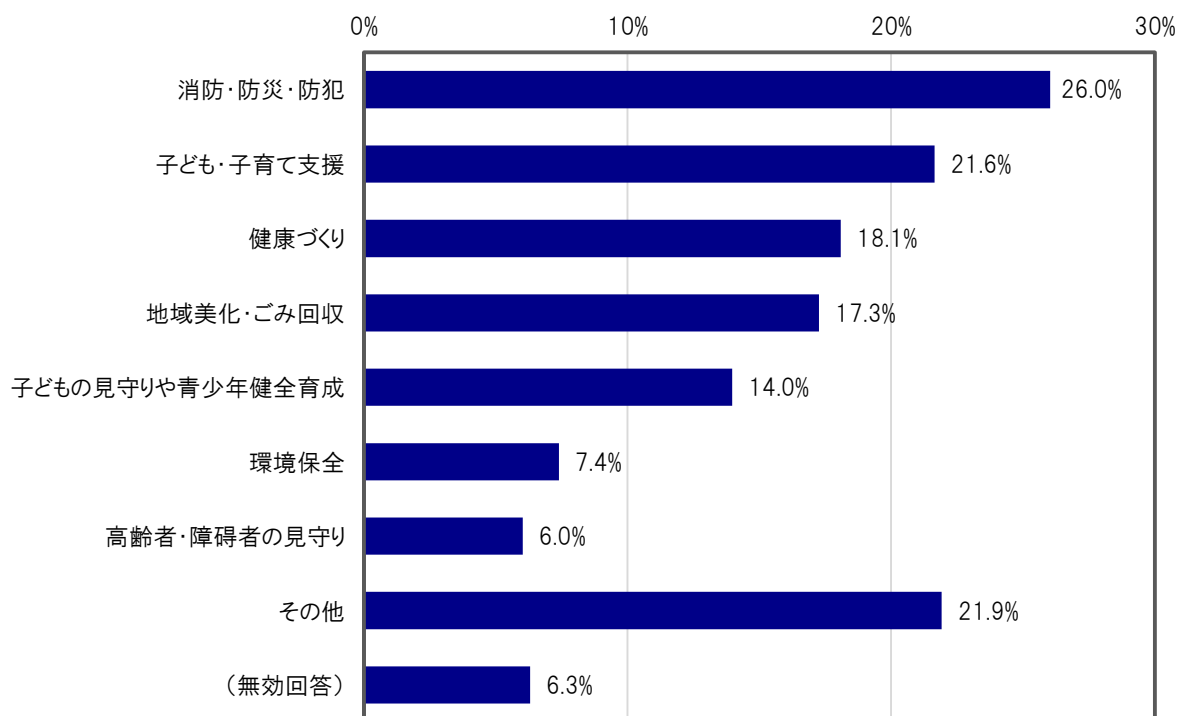


■ H25 [n=433] ■ H26 [n=387] ■ H27 [n=384] ■ H28 [n=409] ■ H29 [n=358] ■ H30 [n=365]

内容

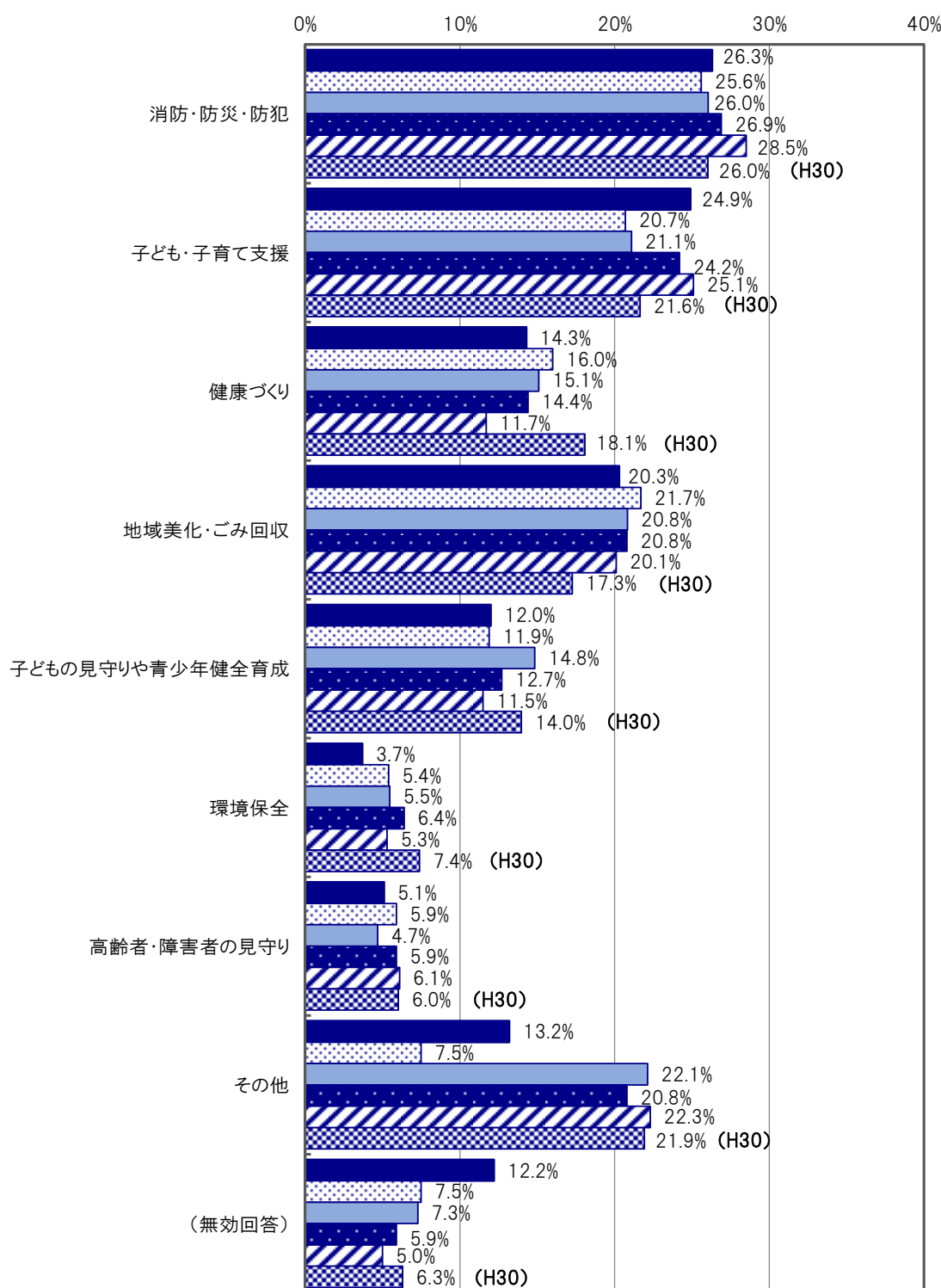
＜全体（n=365）＞

○「消防・防災・防犯」が26.0%で最も多く、次いで「子ども・子育て支援」の21.6%、「健康づくり」の18.1%の順となっています。



＜経年比較＞

- 「消防・防災・防犯」26.0%は、平成26年度以降増加していましたが、平成29年度（28.5%）に比べて2.5ポイント減少しています。
- 「子ども・子育て支援」21.6%は、平成26年度以降増加していましたが、平成29年度（25.1%）に比べて3.5ポイント減少しています。
- 「健康づくり」18.1%は、平成26年度以降減少していましたが、平成29年度（11.7%）に比べて6.4ポイント増加しています。

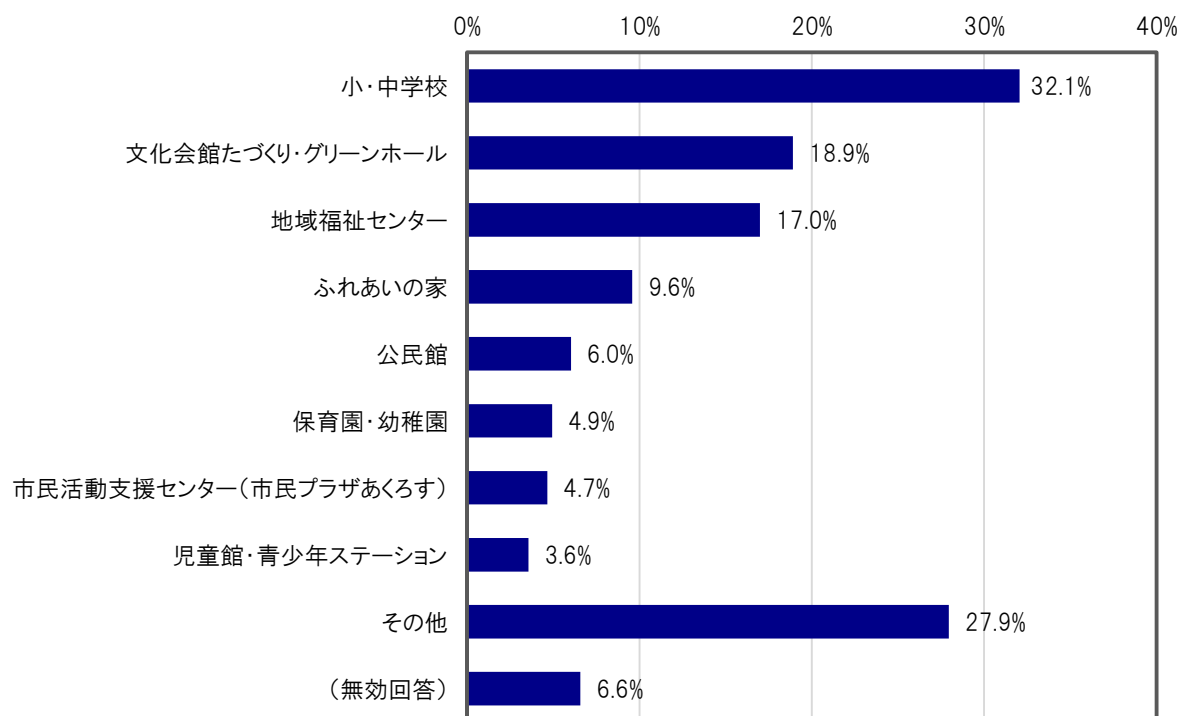


■H25 [n=433] ■H26 [n=387] ■H27 [n=384] ■H28 [n=409] ■H29 [n=358] ■H30 [n=365]

活動場所

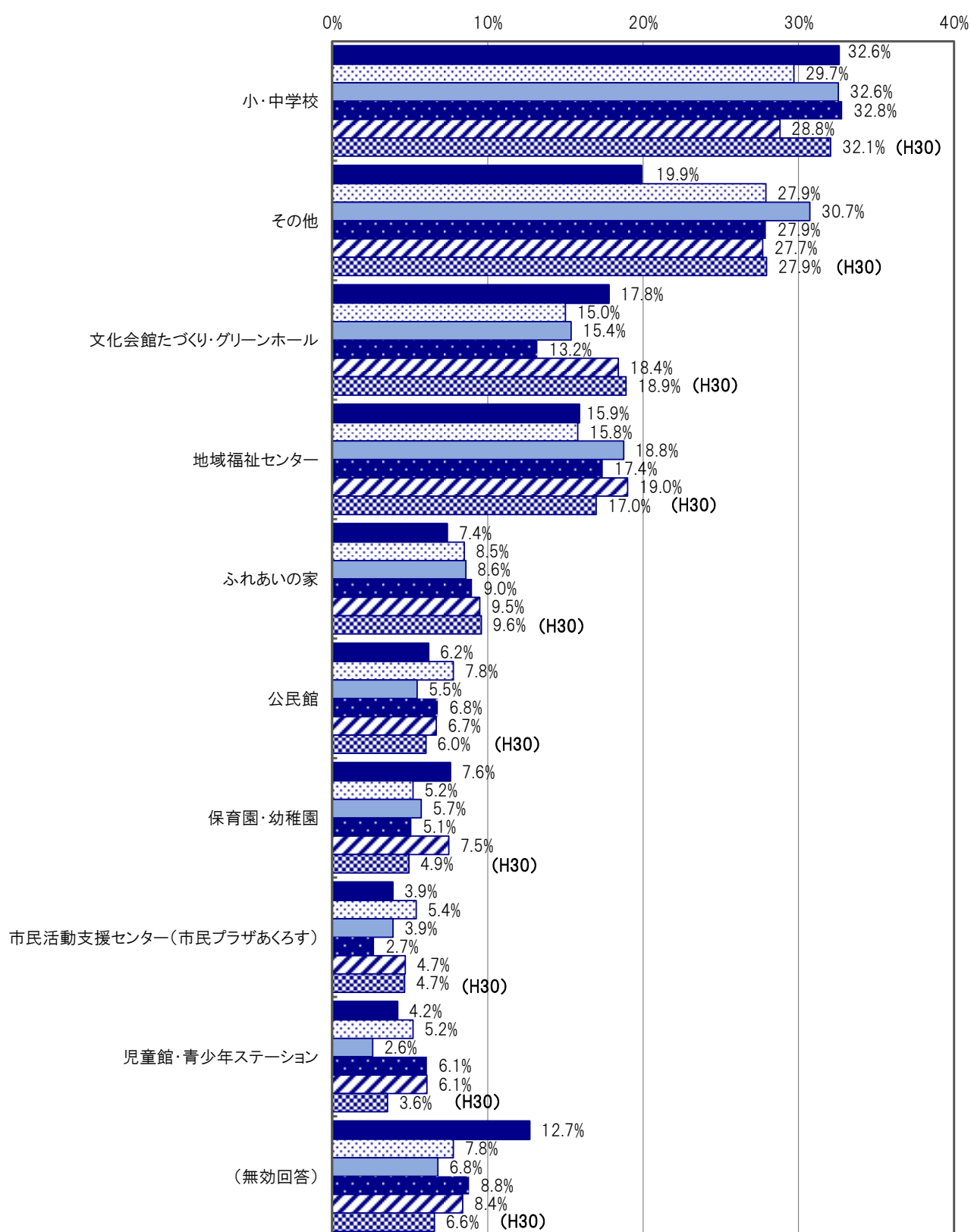
＜全体（n=365）＞

○「小・中学校」が32.1%で最も多く、次いで「文化会館たづくり・グリーンホール」の18.9%、「地域福祉センター」の17.0%の順となっています。



＜経年比較＞

- 「小・中学校」32.1%は、平成29年度（28.8%）に比べて3.3ポイント増加しています。
- 「地域福祉センター」17.0%は、平成29年度（19.0%）に比べて2.0ポイント減少しています。



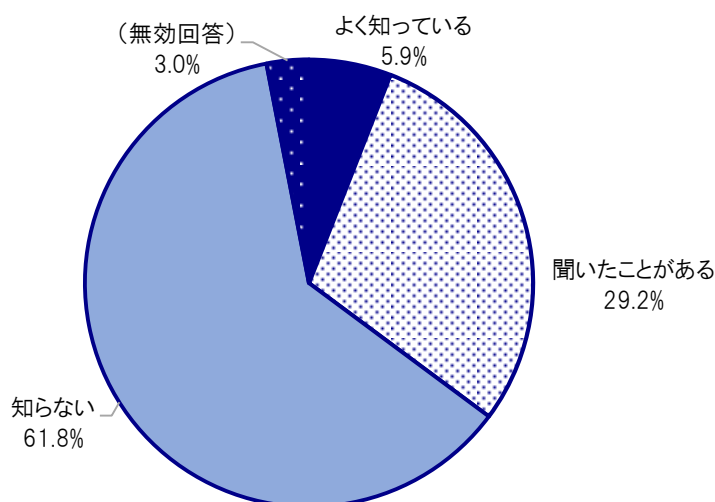
■H25 [n=433] ■H26 [n=387] ■H27 [n=384] ■H28 [n=409] ■H29 [n=358] ■H30 [n=365]

問 19) あなたは、「地区協議会」を知っていますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「よく知っている」が5.9%、「聞いたことがある」が29.2%で、合計で3分の1程度（35.1%）となっています。

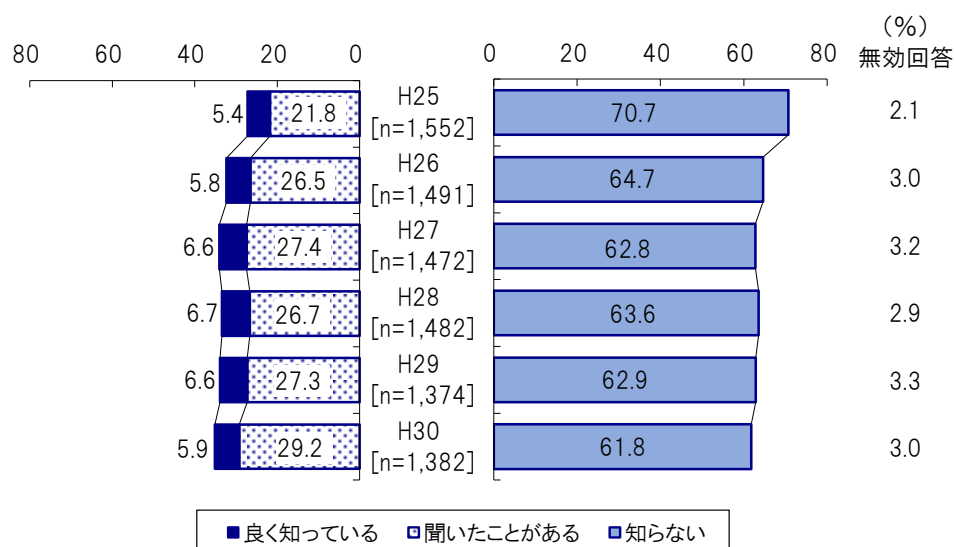
○一方、「知らない」が61.8%で、3分の2程度となっています。



＜経年比較＞

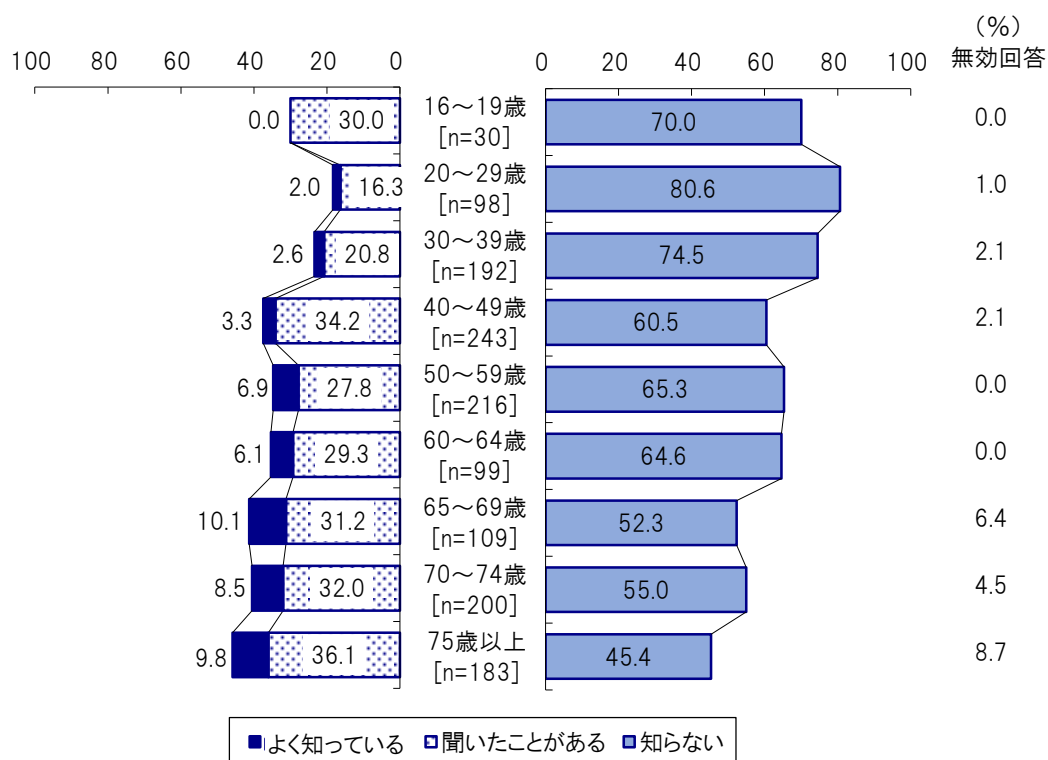
○「良く知っている」「聞いたことがある」の合計（35.1%）は、平成25年度以降概ね増加傾向にあります。平成30年度は平成29年度（33.9%）と比べて1.2ポイント増加しています。

○一方、「知らない」は、平成25年度以降概ね減少傾向にあります。平成30年度は平成29年度（62.9%）と比べて1.1ポイント減少しています。



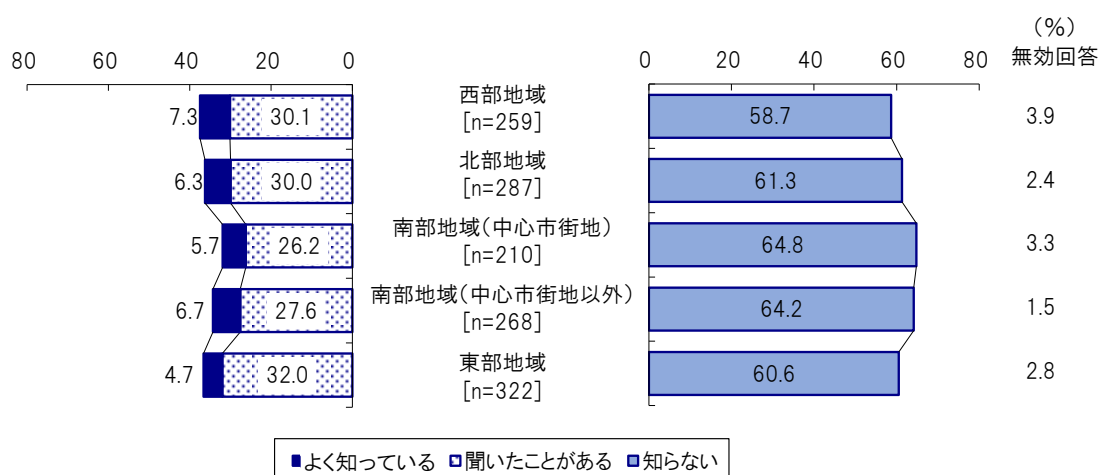
＜年齢層別＞

- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、年代があがるにつれて概ね増加傾向にあります。
- 16～19歳と40歳以上では、「良く知っている」と「聞いたことがある」の合計が3割を上回っています。
- 74歳以下のいずれの年齢層でも、「知らない」が半数を上回っており、特に20～29歳では8割を上回っています。



＜地域別＞

- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、西部地域が（37.4%）と最も多くなっています。
- いずれの地域でも、「知らない」が半数を上回っています。

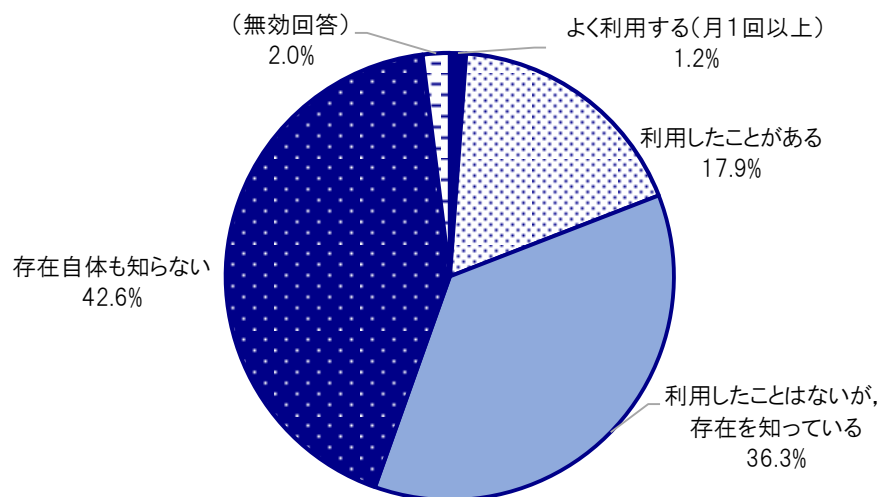


問 20-1) あなたは、調布市市民活動支援センター（市民プラザあくろす2階（国領駅北側コクティ内））を利用したことがありますか。

＜全体（n=1,382）＞

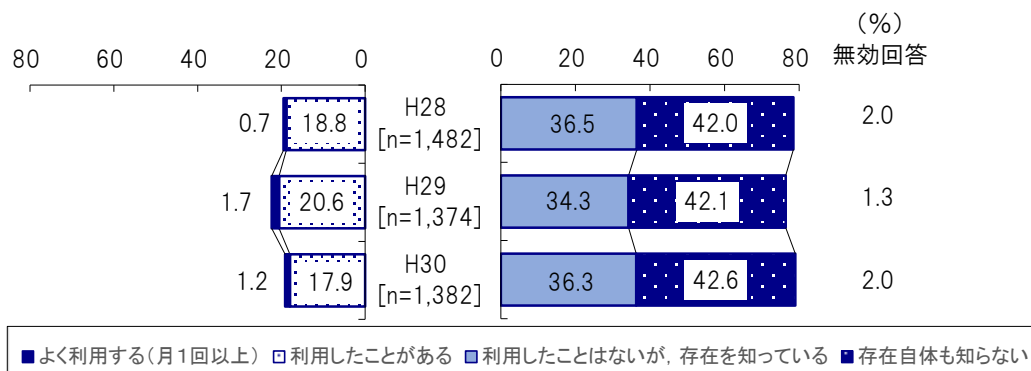
○「よく利用する（月1回以上）」が1.2%，「利用したことがある」が17.9%で、合計で19.1%となっています。

○一方、「利用したことはないが、存在を知っている」は36.3%，「存在自体も知らない」は42.6%となっており、合計で7割以上（78.9%）を占めています。



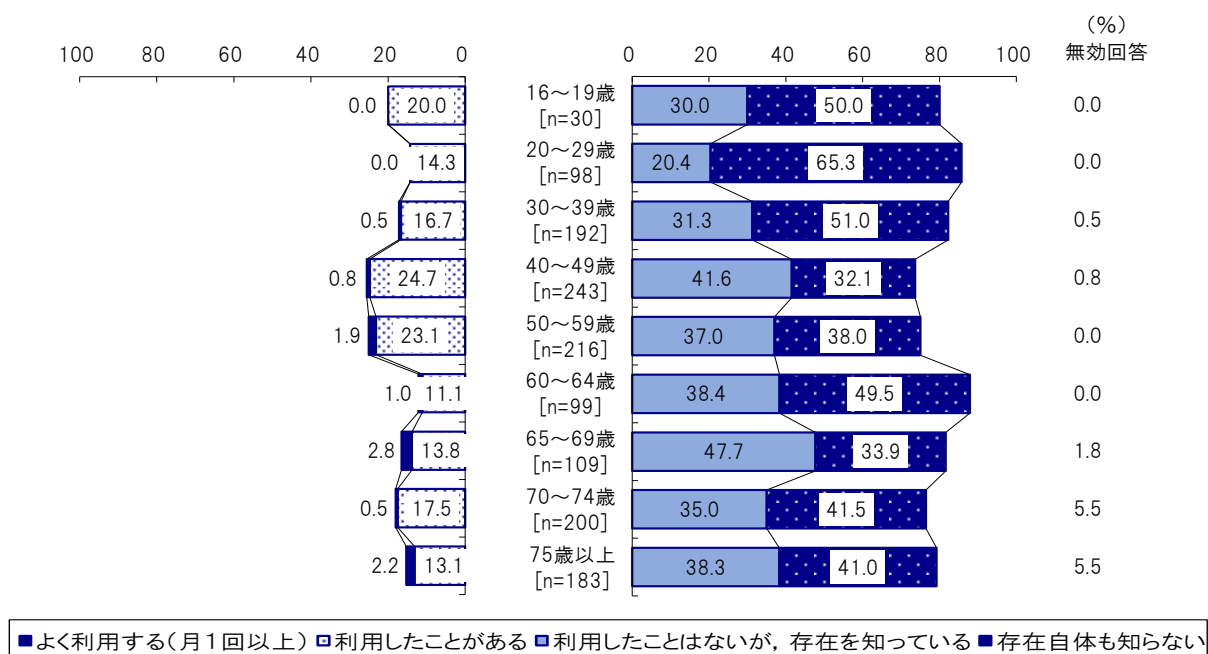
＜経年比較＞

○「よく利用する（月1回以上）」と「利用したことがある」の合計19.1%は、平成29年度（22.3%）と比べ3.2ポイント減少しています。



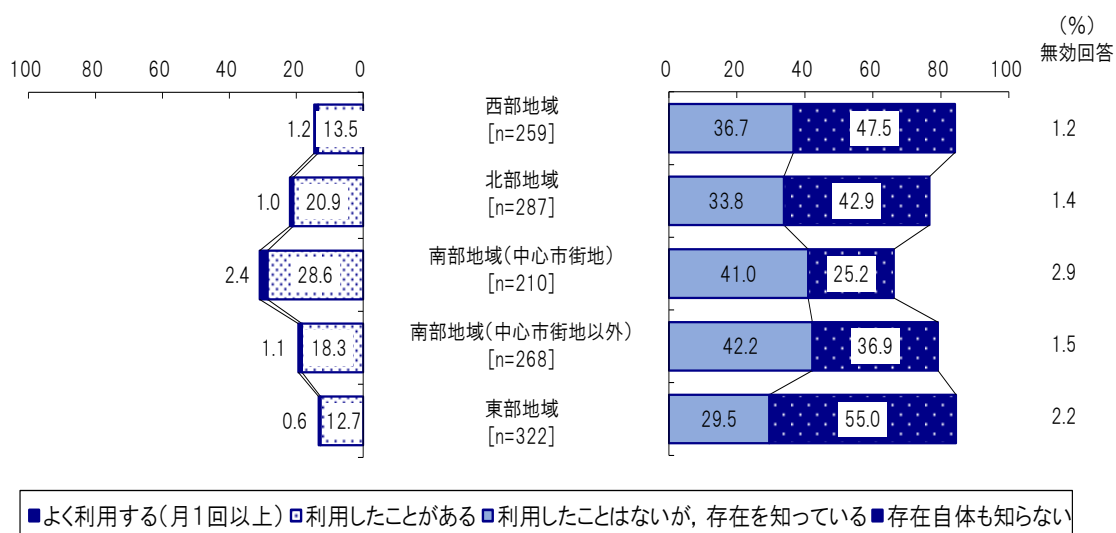
＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも、「よく利用する（月1回以上）」「利用したことがある」の合計は3割を下回っています。特に、20～39歳、60歳以上では2割を下回っています。



＜地域別＞

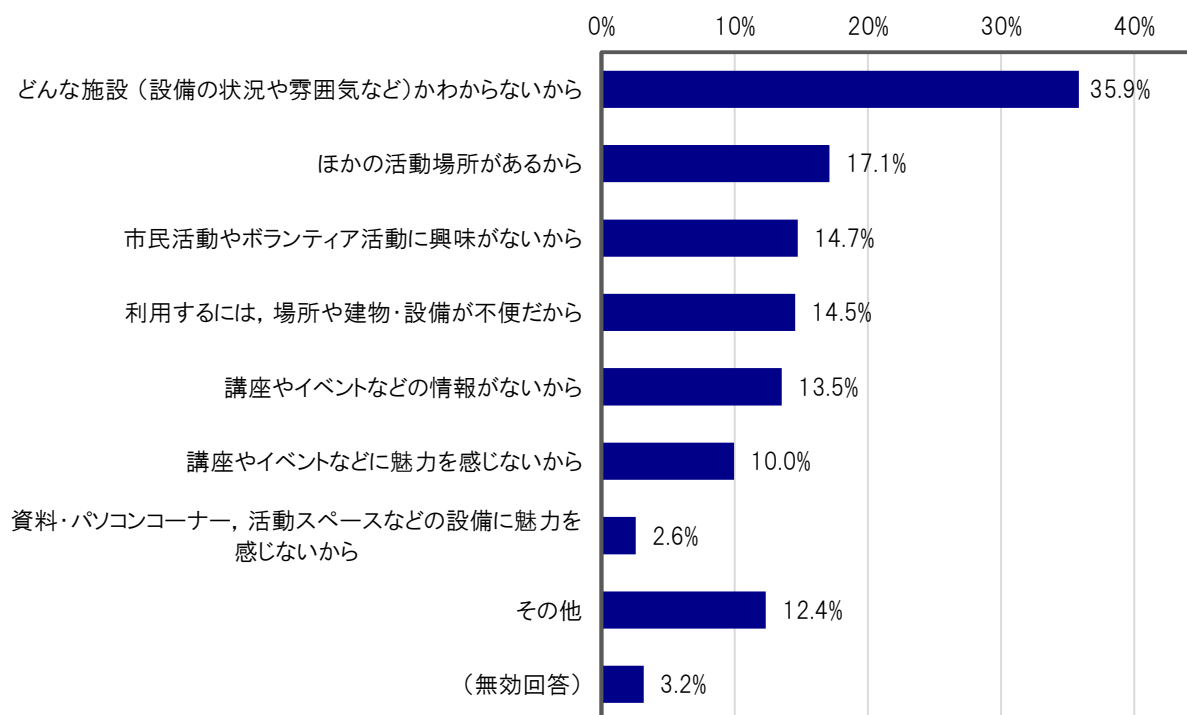
○南部地域（中心市街地）では、「よく利用する（月1回以上）」「利用したことがある」の合計が比較的多く3割程度になっています。



問 20-2) 問 20 で「3 利用したことはないが、存在を知っている」を選んだ方にうかがいます。存在は知っていても、利用しない理由はなぜですか。

＜全体（n=502）＞

○「どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから」が 35.9%で最も多く、次いで「ほかの活動場所があるから」の 17.1%、「市民活動やボランティア活動に興味がないから」の 14.7%の順となっています。



＜年齢層別＞

○70～74 歳では「ほかの活動場所があるから」が最も多くなっています。それ以外の年齢では「どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから」が最も多くなっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
どんな施設（設備の状況や雰囲気など）かわからないから	180 35.9%	4 44.4%	10 50.0%	24 40.0%	36 35.6%	37 46.3%	14 36.8%	17 32.7%	15 21.4%	23 32.9%
ほかの活動場所があるから	86 17.1%	2 22.2%	1 5.0%	6 10.0%	12 11.9%	10 12.5%	6 15.8%	13 25.0%	16 22.9%	20 28.6%
市民活動やボランティア活動に興味がないから	74 14.7%	2 22.2%	7 35.0%	14 23.3%	15 14.9%	10 12.5%	5 13.2%	7 13.5%	7 10.0%	6 8.6%
利用するには、場所や建物・設備が不便だから	73 14.5%	1 11.1%	1 5.0%	7 11.7%	14 13.9%	12 15.0%	5 13.2%	11 21.2%	12 17.1%	9 12.9%
講座やイベントなどの情報がないから	68 13.5%	0 0.0%	0 0.0%	8 13.3%	16 15.8%	17 21.3%	7 18.4%	9 17.3%	6 8.6%	5 7.1%
講座やイベントなどに魅力を感じないから	50 10.0%	2 22.2%	2 10.0%	6 10.0%	11 10.9%	7 8.8%	5 13.2%	6 11.5%	8 11.4%	3 4.3%
資料・パソコンコーナー、活動スペースなどの設備に魅力を感じないから	13 2.6%	0 0.0%	1 5.0%	1 1.7%	3 3.0%	5 6.3%	0 0.0%	2 3.8%	1 1.4%	0 0.0%
その他	62 12.4%	2 22.2%	1 5.0%	6 10.0%	15 14.9%	8 10.0%	5 13.2%	8 15.4%	6 8.6%	11 15.7%
(無効回答)	16 3.2%	0 0.0%	1 5.0%	1 1.7%	1 1.0%	2 2.5%	1 2.6%	0 0.0%	7 10.0%	3 4.3%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

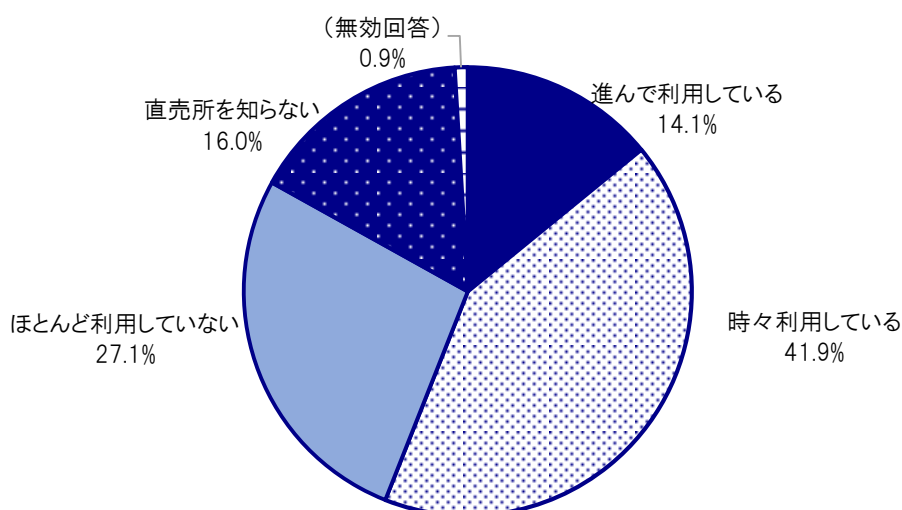
回答割合が2番目に高い: 0.0%

【都市農業について】

問 21) あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。

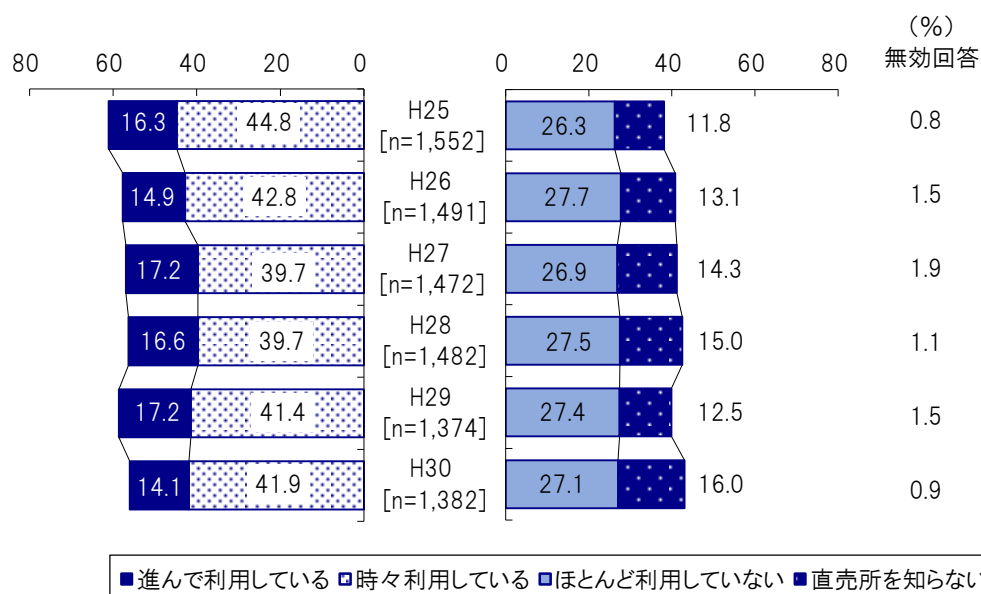
＜全体（n=1,382）＞

- 「進んで利用している」は 14.1%、「時々利用している」は 41.9%となっており、合計で半数以上（56.0%）を占めています。
- 「ほとんど利用していない」が 27.1%、「直売所を知らない」が 16.0%で、合計すると約 4 割（43.1%）となっています。



＜経年比較＞

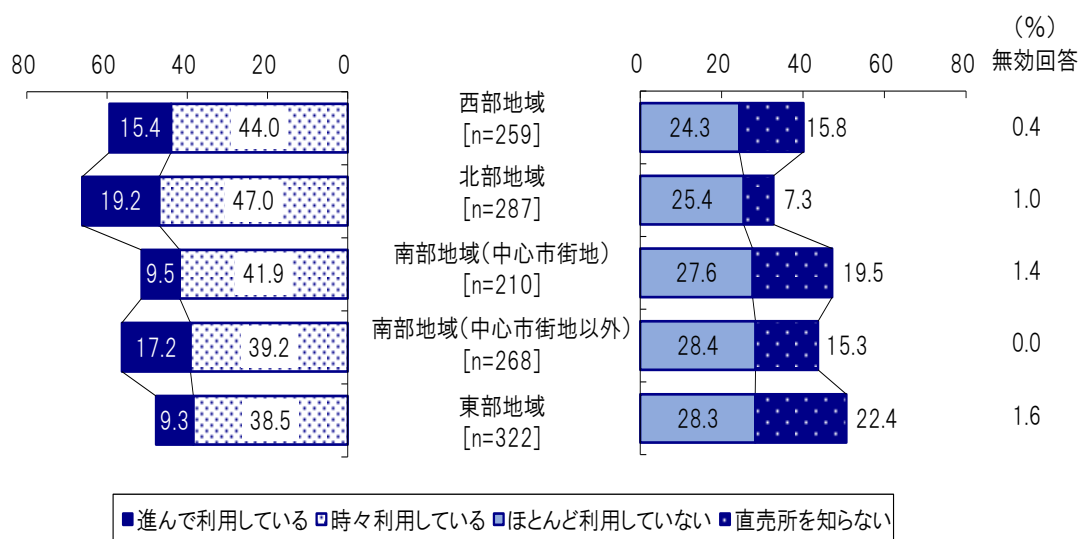
- 「進んで利用している」と「時々利用している」の合計は、平成 25 年度以降減少傾向にありましたが、平成 29 年度に増加した後減少しています。平成 30 年度は平成 29 年度より、2.6 ポイント減少しています。
- 「直売所を知らない」は、平成 29 年度に一旦減少しましたが、その後増加しています。平成 30 年度は平成 29 年度より、3.2 ポイント増加しています。



＜地域別＞

○「進んで利用している」と「時々利用している」の合計が北部地域では6割を上回っています。

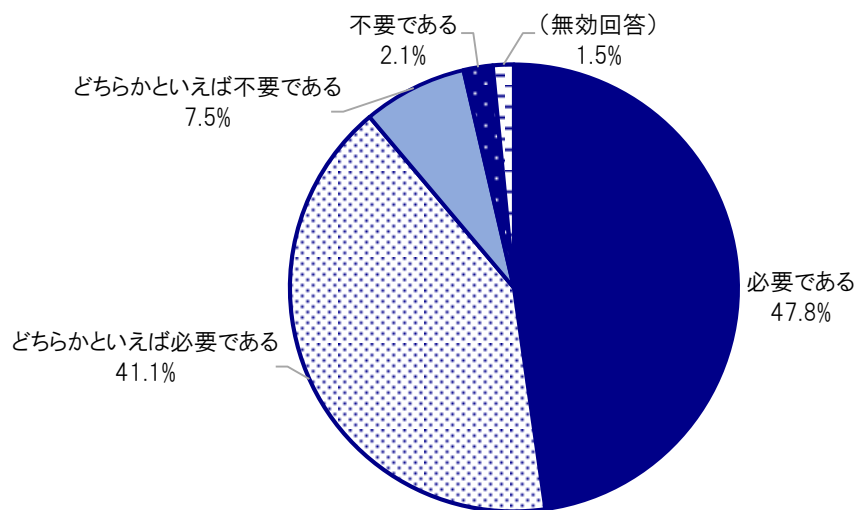
○「ほとんど利用していない」と「直売所を知らない」の合計が東部地域では半数を超えています。



問 22) あなたは、市内に農地が必要だと思いますか。

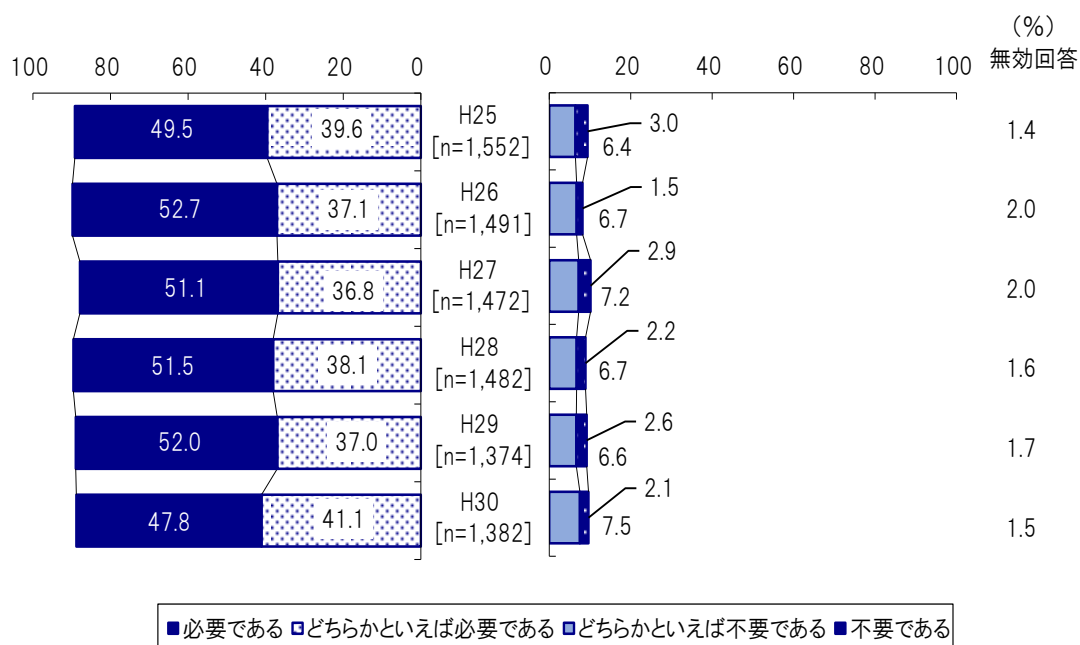
＜全体（n=1,382）＞

○市内に農地が「必要である」は47.8%,「どちらかといえば必要である」は41.1%であり、合計で8割以上（88.9%）を占めています。



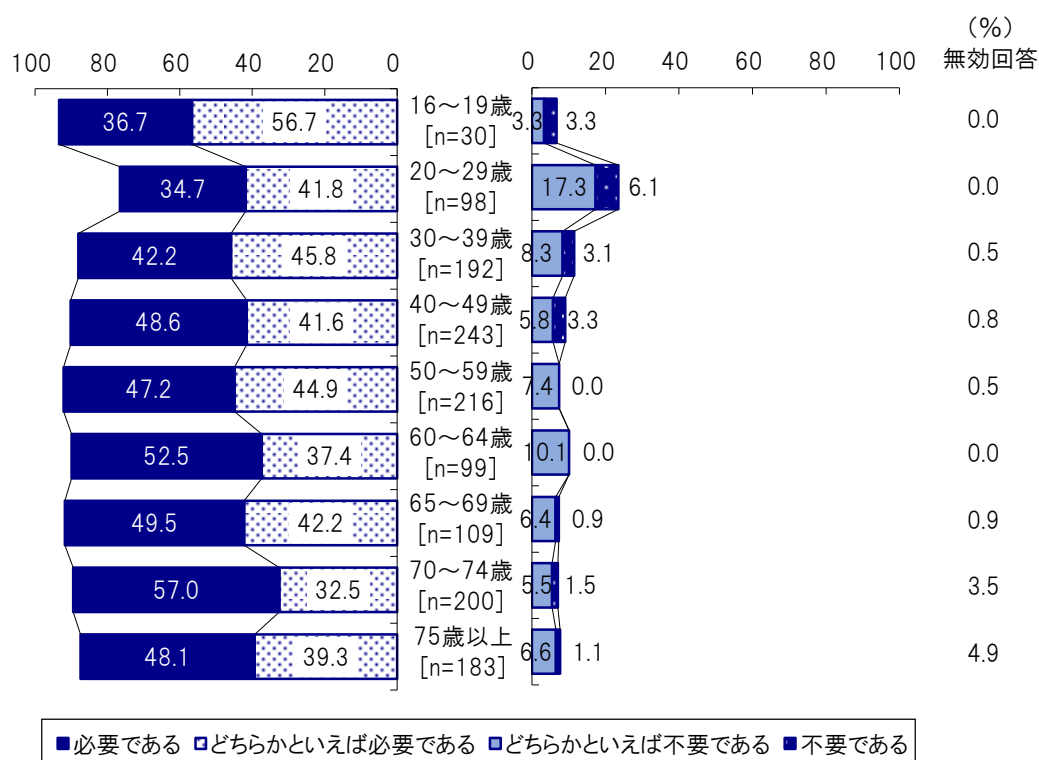
＜経年比較＞

○平成 25 年度以降、「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計及び「不要である」と「どちらかといえば不要である」の合計は概ね横ばいで推移しています。



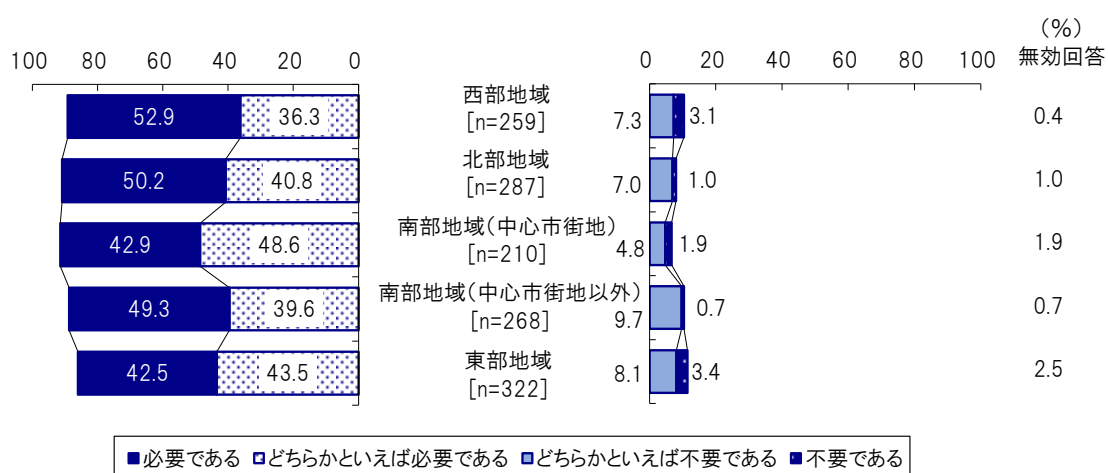
＜年齢層別＞

○20歳代を除いていずれの年齢層でも「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計が8割以上を占めています。



＜地域別＞

○いずれの地域でも「必要である」と「どちらかといえば必要である」の合計が8割以上を占めています。
特に、北部地域と南部地域（中心市街地）では9割を超えています。

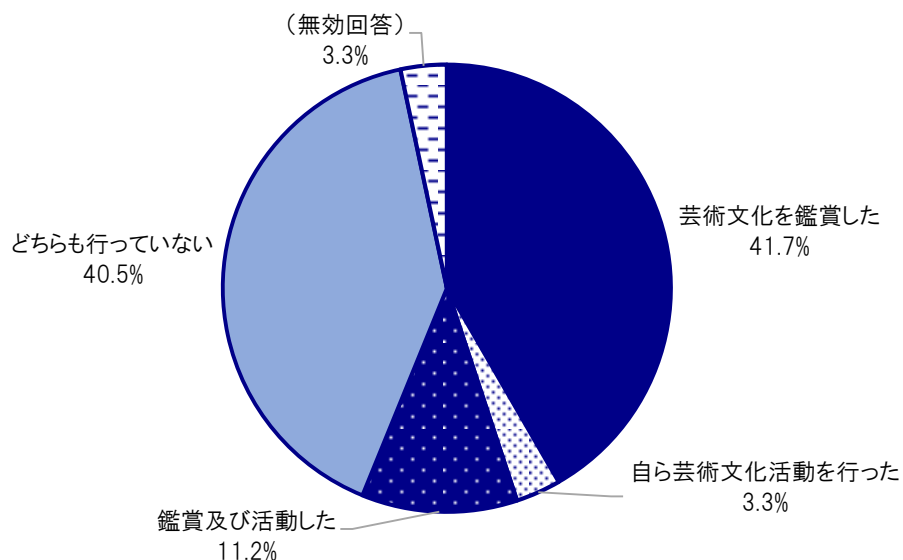


【芸術・歴史文化について】

問 23-1) あなたは、この1年間に市内外を問わず、文化施設等で芸術文化（音楽、演劇、美術、舞踊等
伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら芸術文化活動を行いましたか。

＜全体（n=1,382）＞

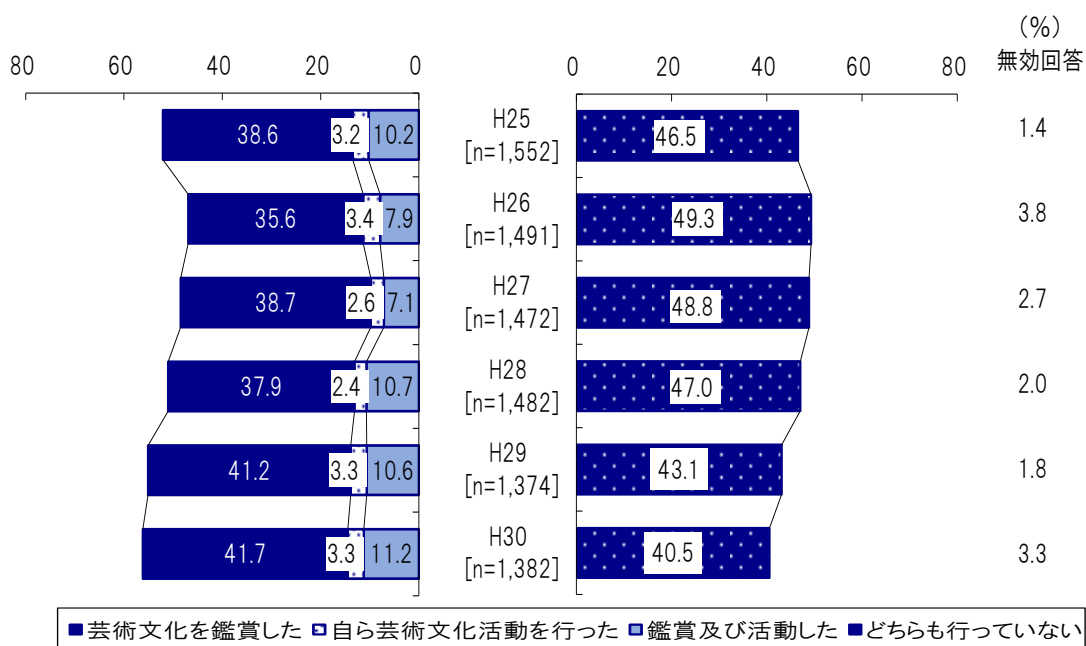
○「芸術文化を鑑賞した」が41.7%、「自ら芸術文化活動を行った」が3.3%、「鑑賞及び活動した」が11.2%
で、合計すると半数以上（56.2%）になっています。



＜経年比較＞

○「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」の合計（56.2%）は、平成
26年度以降増加傾向にあり、平成29年度（55.1%）と比べて1.1ポイント増加しています。

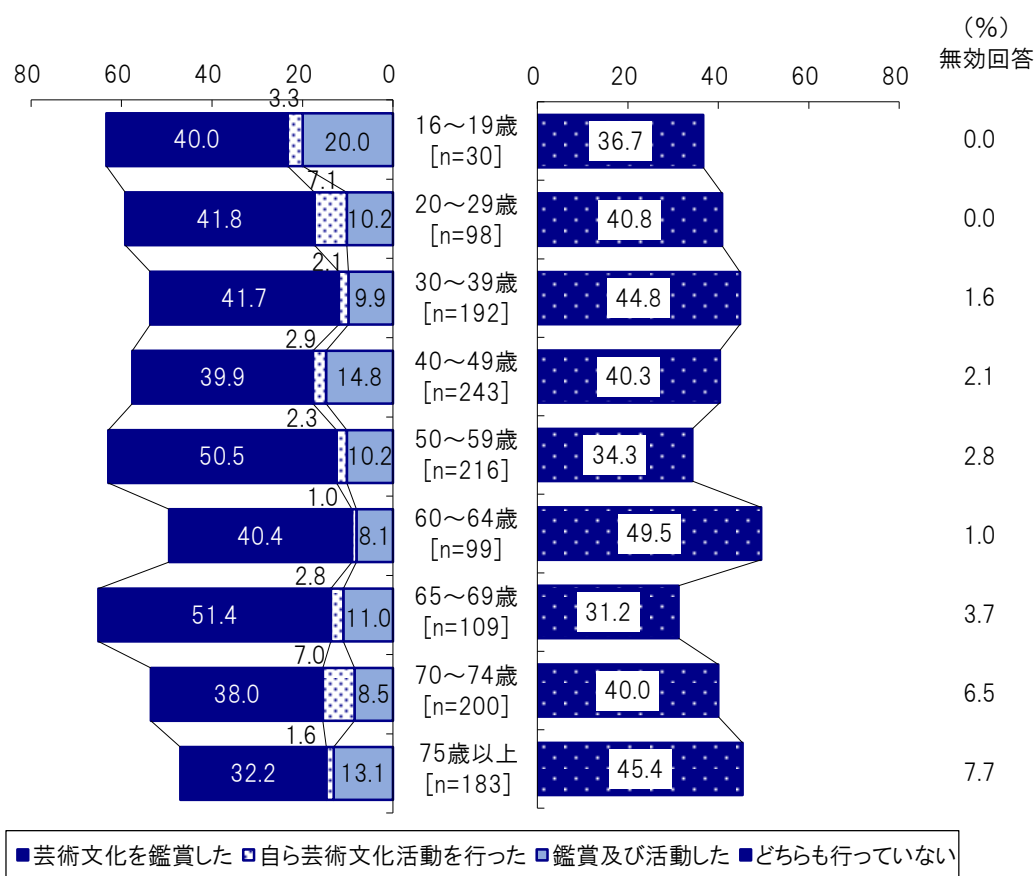
○一方、「どちらも行っていない」（40.5%）は、平成26年度以降減少しており、平成30年度は平成29年度
（43.1%）と比べて2.6ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」の合計が4割以上を占めています。

○16～59歳と65～74歳では「芸術文化を鑑賞した」「自ら芸術文化活動を行った」「鑑賞及び活動した」の合計が半数を上回っています。

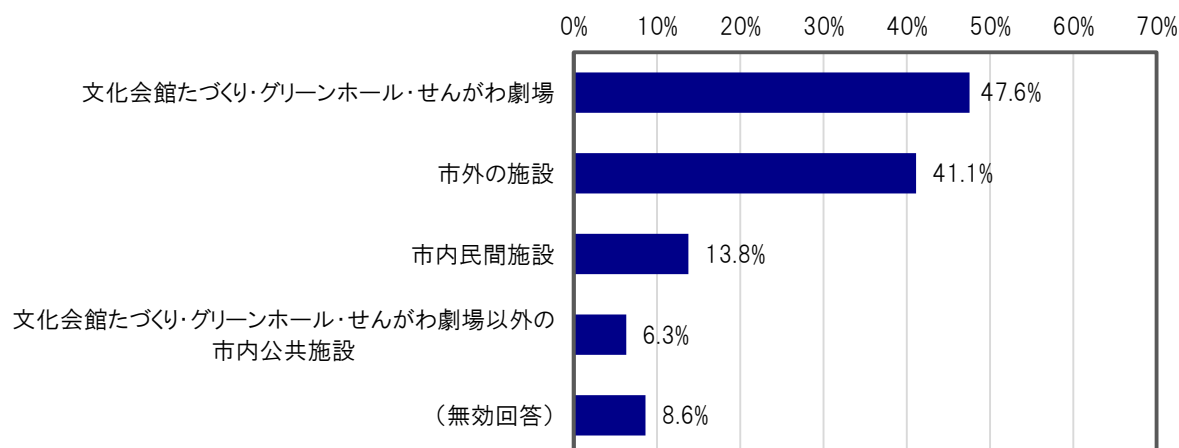


問 23-2) 問 23-1 で「1～3」のいずれかを選んだ方にうかがいます。どこで芸術文化を鑑賞または芸術文化活動を行いましたか。(※複数回答可)

＜全体 (n=776)＞

○「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」が 47.6%で最も多く、次いで「市外の施設」の 41.1%の順となっています。

○市内の公共施設を利用した人は、合計 (53.9%) となっています。



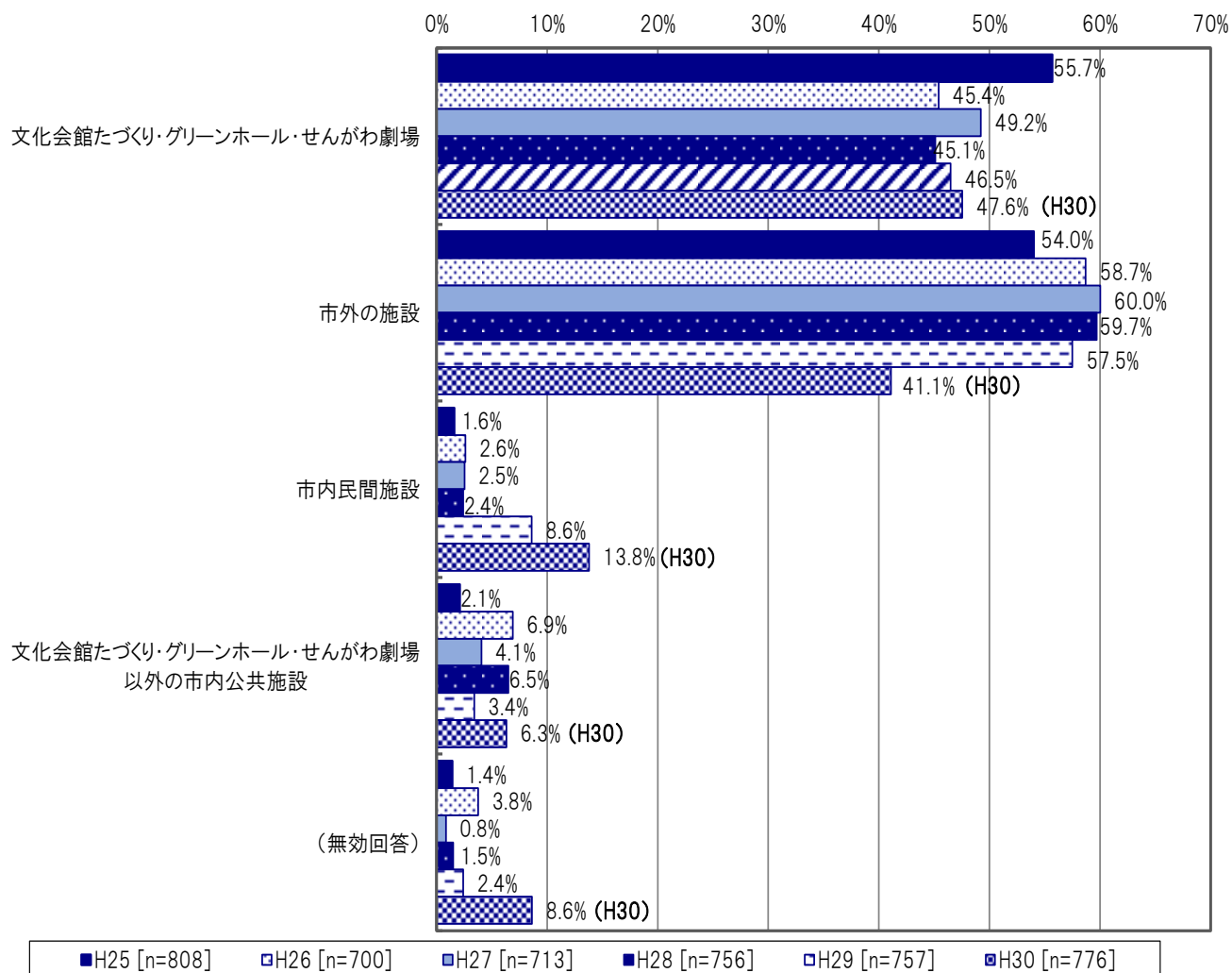
＜市外の施設（主な回答）＞

- ・ 東京国立博物館
- ・ 国立新美術館
- ・ オペラシティ
- ・ T0H0 シネマズ府中
- ・ オーチャードホール
- ・ サントリーホール

＜経年比較＞

○平成 29 年度に比べて「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」は 1.1 ポイント増加し、「市外の施設」は 16.4 ポイント減少しています。

○「市内民間施設」は平成 28 年度から増加傾向にあり、平成 29 年度に比べて 5.2 ポイント増加しています。

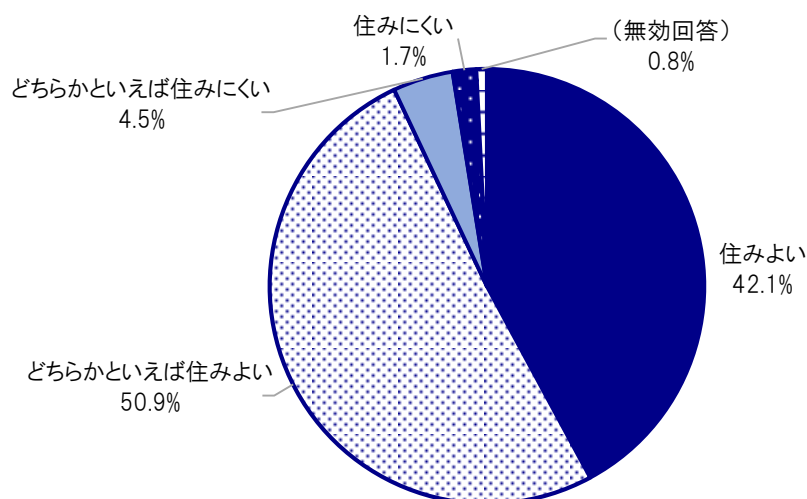


【良好な市街地について】

問 24) あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。

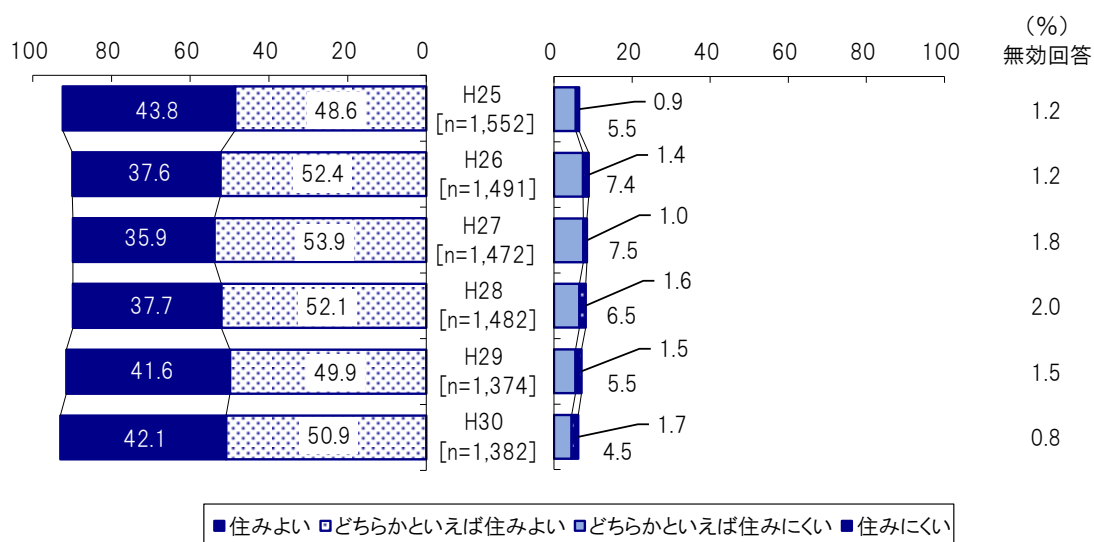
＜全体（n=1,382）＞

○「住みよい」は 42.1%、「どちらかといえば住みよい」は 50.9%であり、合計すると 9 割以上（93.0%）を占めています。



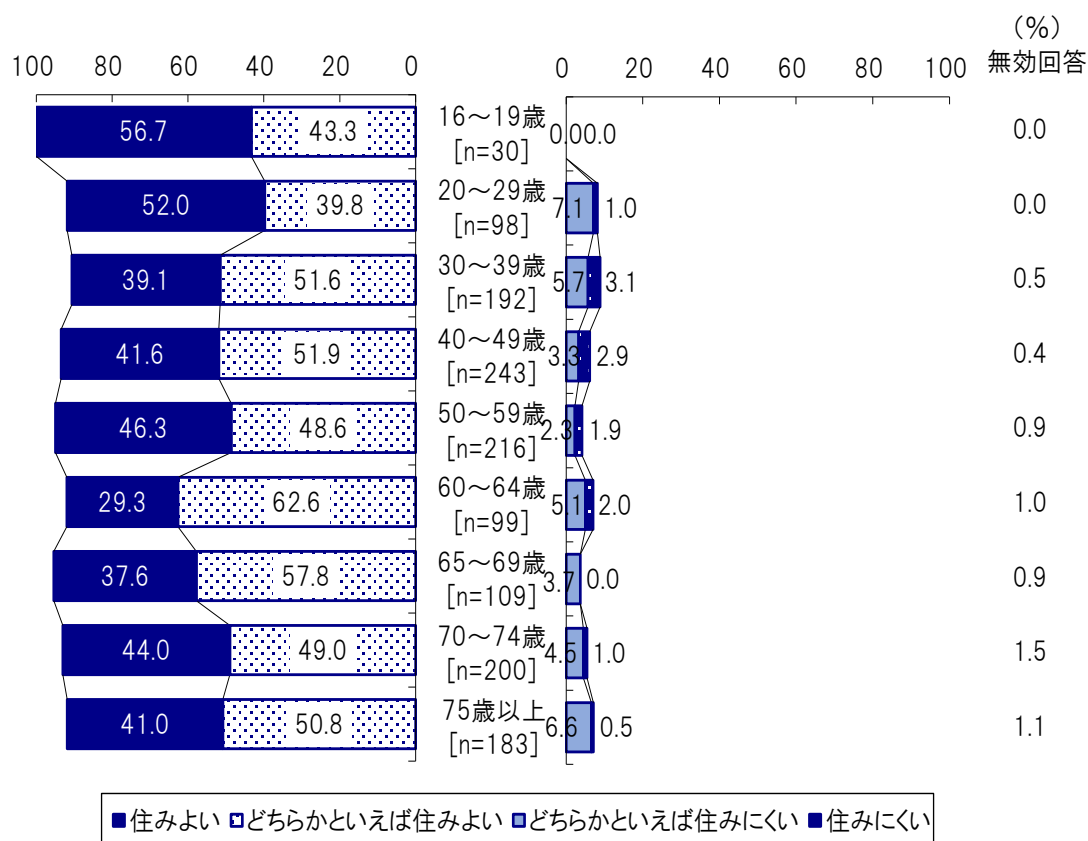
＜経年比較＞

○「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は、平成 25 年度以降 9 割程度で推移しています。



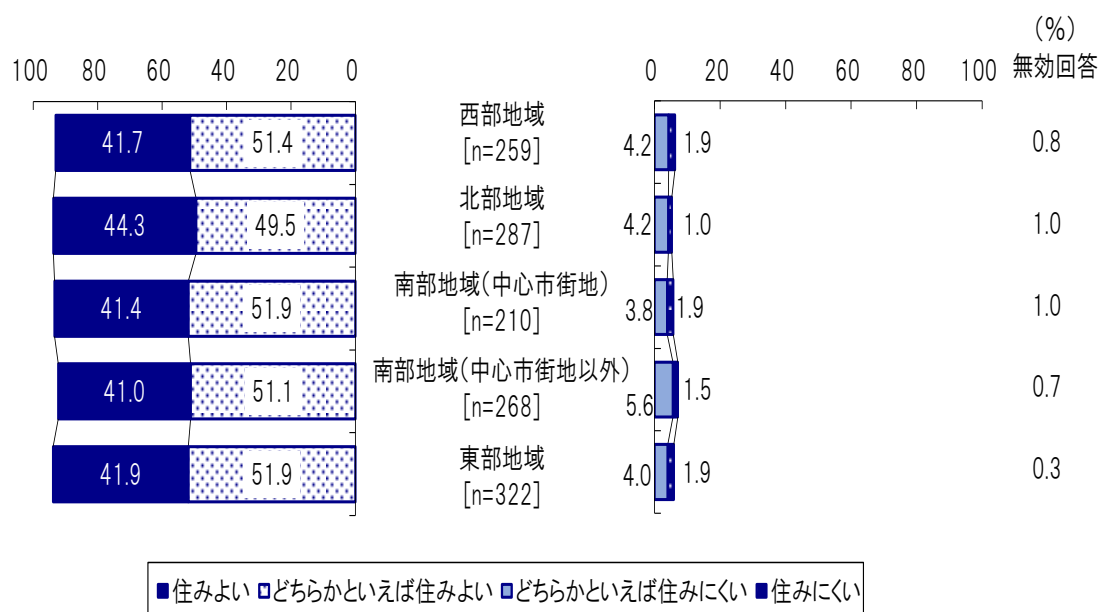
＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は9割以上を占めています。



＜地域別＞

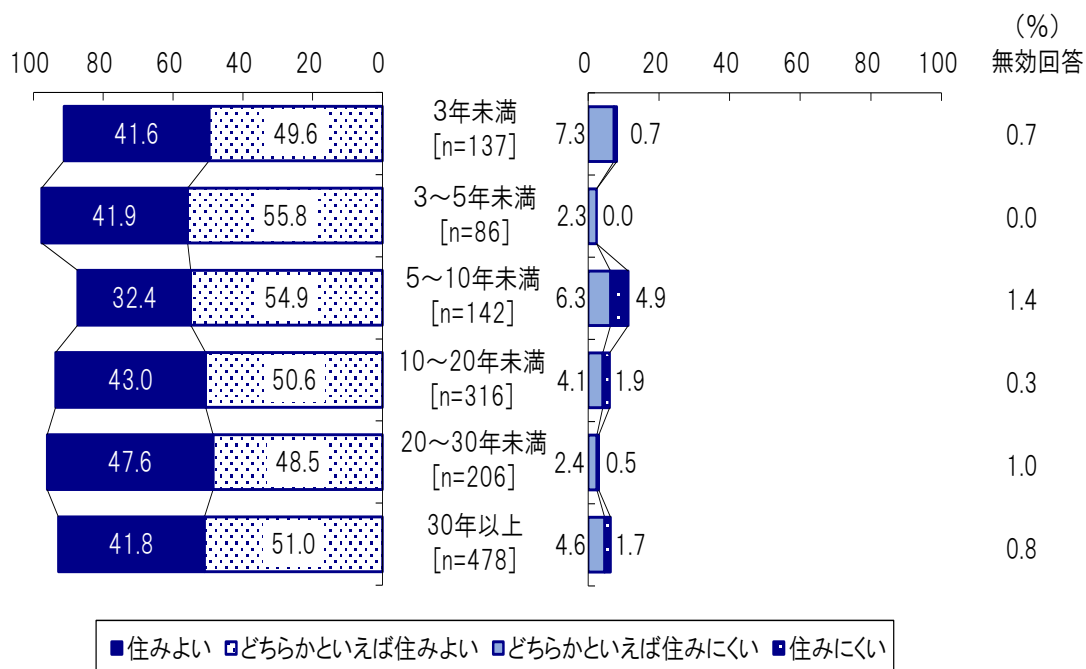
○いずれの地域でも、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が9割以上になっています。



＜居住年数別＞

○いずれの居住年数においても、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が8割以上となっています。

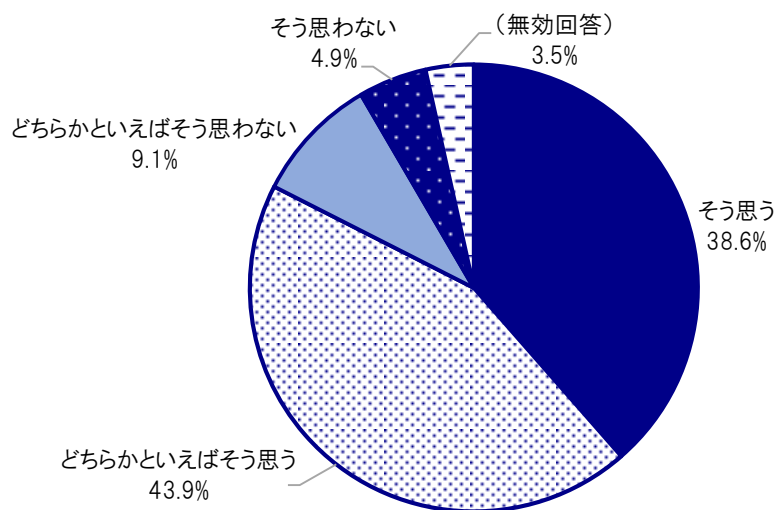
○特に、5～10年未満以外の居住年数で9割を超えています。



問 25-1) あなたは、調布市に優れた景観の場所があると思いますか。

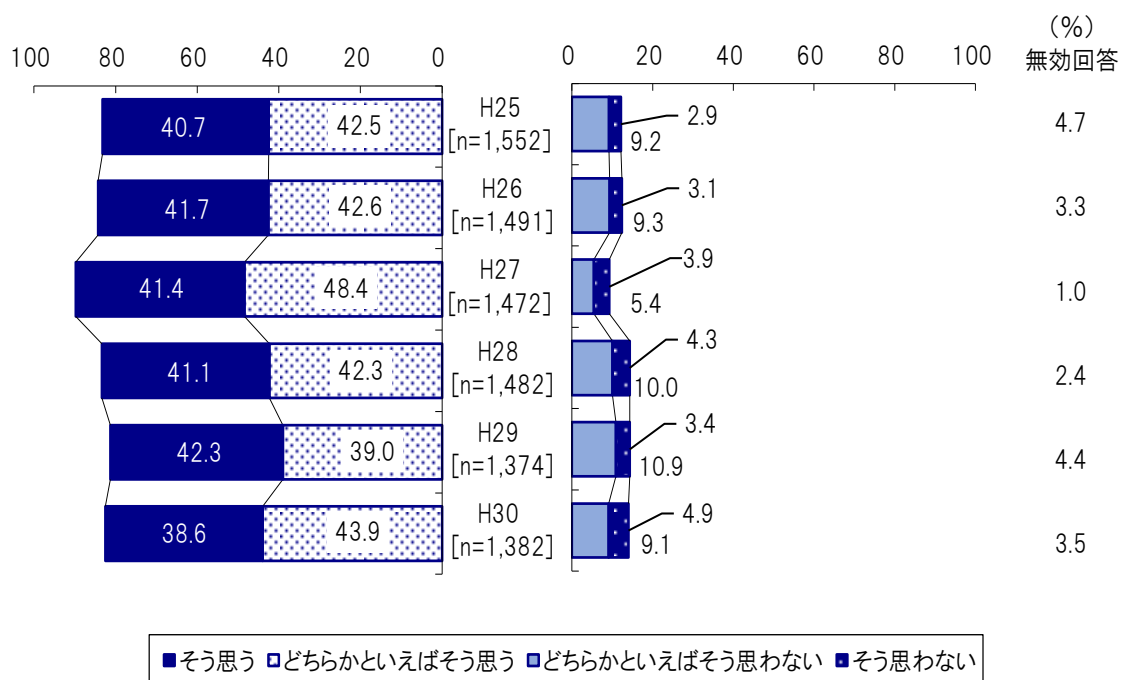
＜全体（n=1,382）＞

○「そう思う」は 38.6%、「どちらかといえばそう思う」は 43.9%であり、合計で約 8 割（82.5%）を占めています。



＜経年比較＞

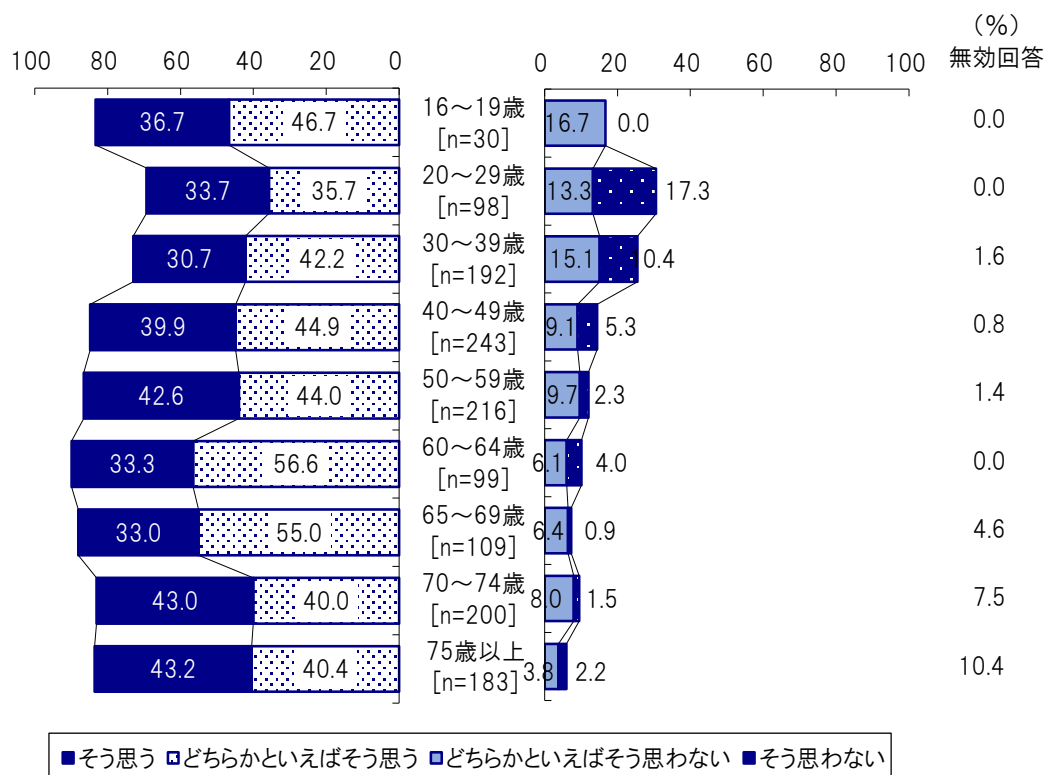
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計（82.5%）は、平成 27 年度以降減少傾向にありましたが、平成 30 年度は平成 29 年度と比べ 1.2 ポイント増加しています。



＜年齢層別＞

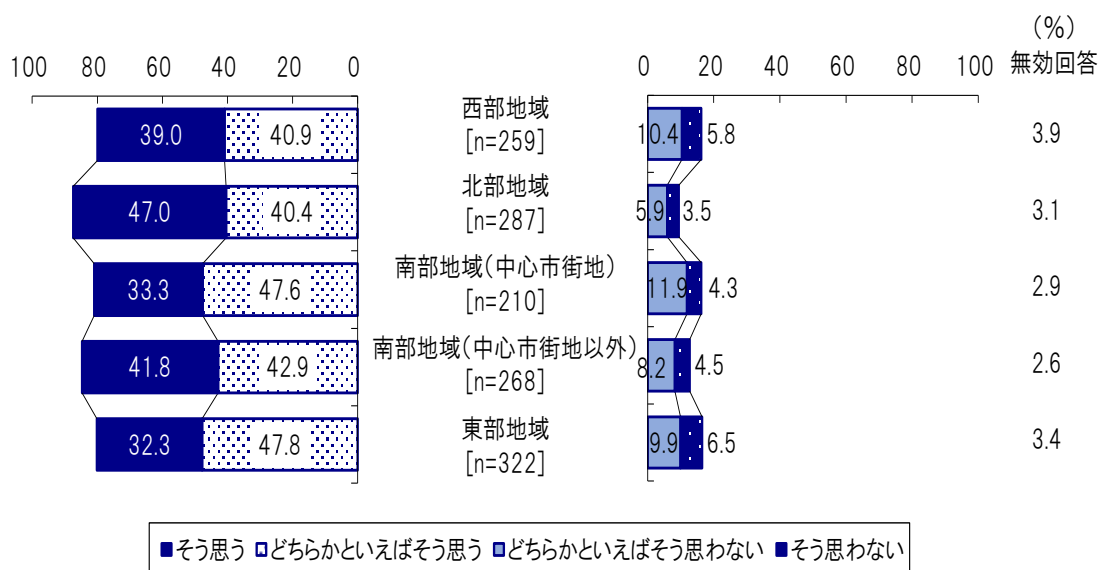
○20～39歳を除く全ての年齢層で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が8割以上を占めています。

○20～29歳では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が3割を上回っています。



＜地域別＞

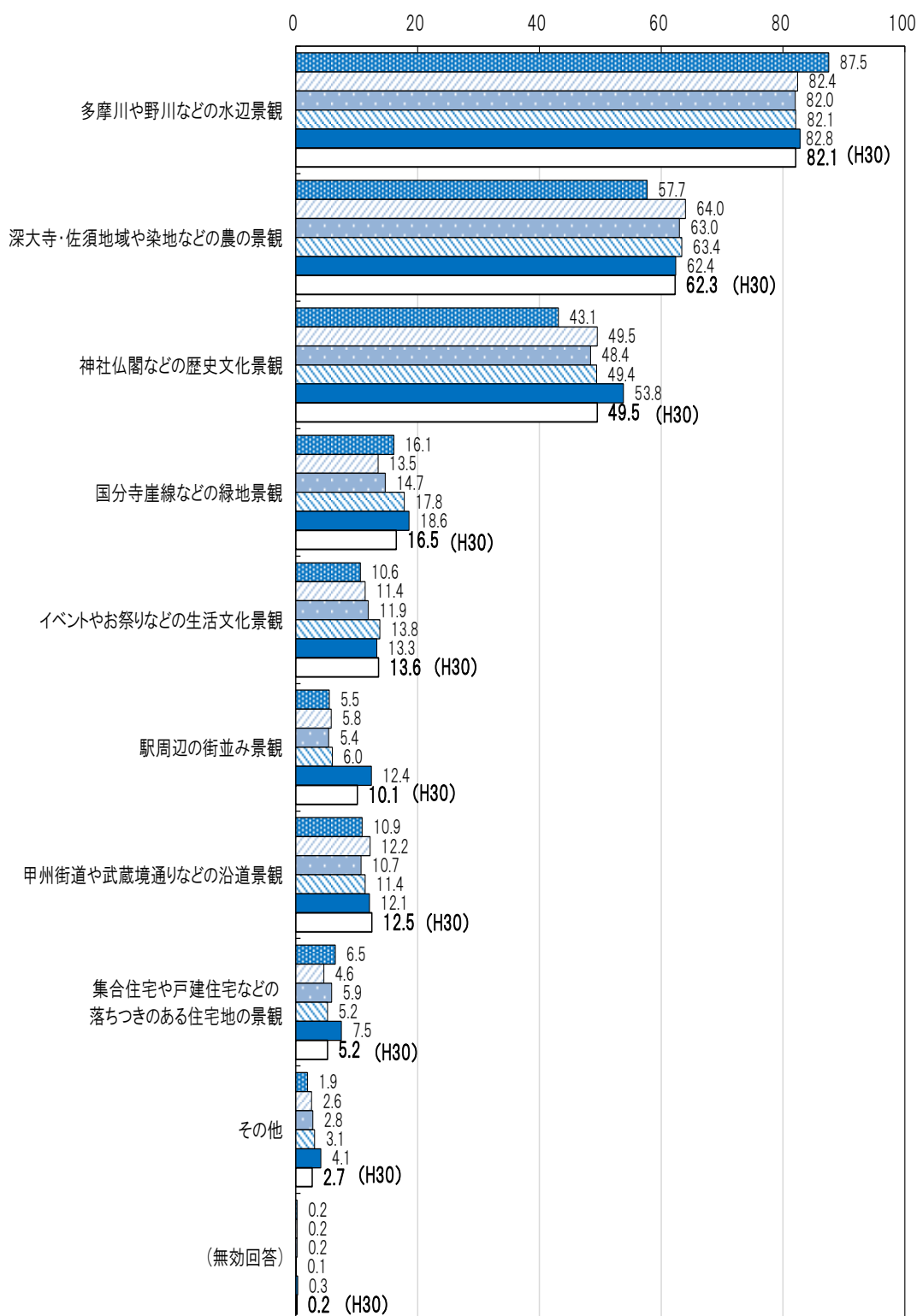
○いずれの地域でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が8割程度となっています。



問 25-2) 問 25-1 で「1 そう思う」, 「2 どちらかといえばそう思う」のいずれかを選んだ方にうかがいます。優れた景観だと思う場所はどこですか。(※複数回答可)

＜全体 (n=1,140)＞

○「多摩川や野川などの水辺景観」が82.1%で最も多く、次いで「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」の62.3%, 「神社仏閣などの歴史文化景観」の49.5%の順となっています。

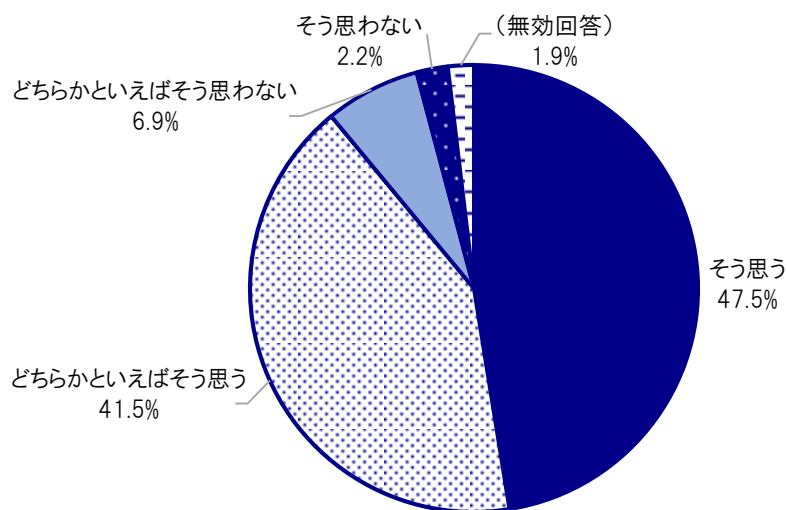


■ H25[n=1,552] □ H26[n=1,257] ■ H27[n=1,322] ■ H28[n=1,236] ■ H29[n=1,117] □ H30[n=1,140]

問 26) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

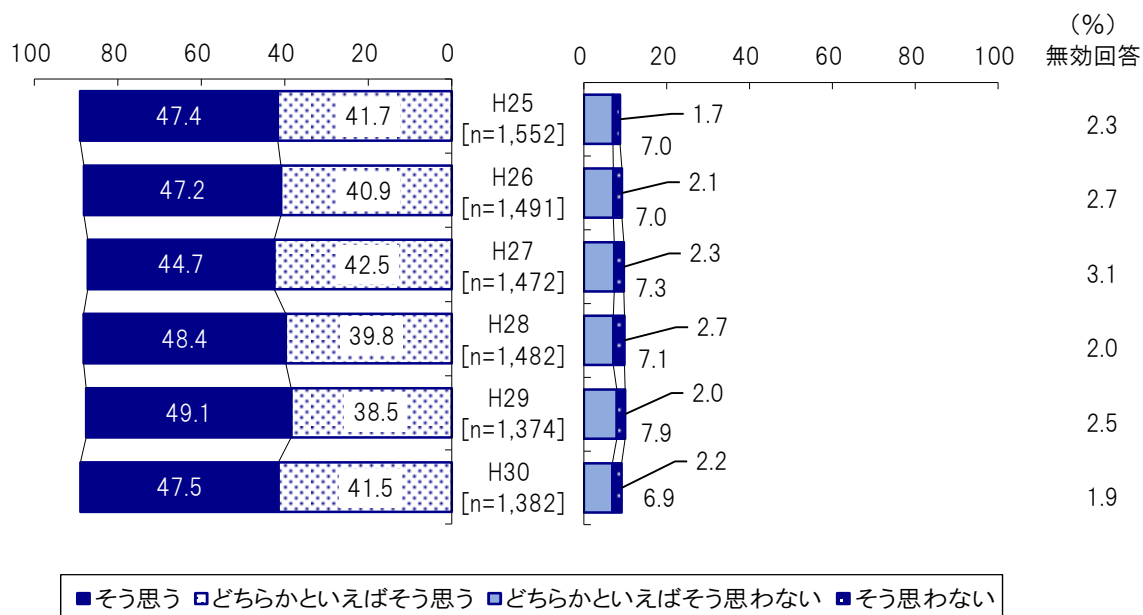
○「そう思う」は47.5%、「どちらかといえばそう思う」は41.5%であり、合計すると9割近く（89.0%）を占めています。



＜経年比較＞

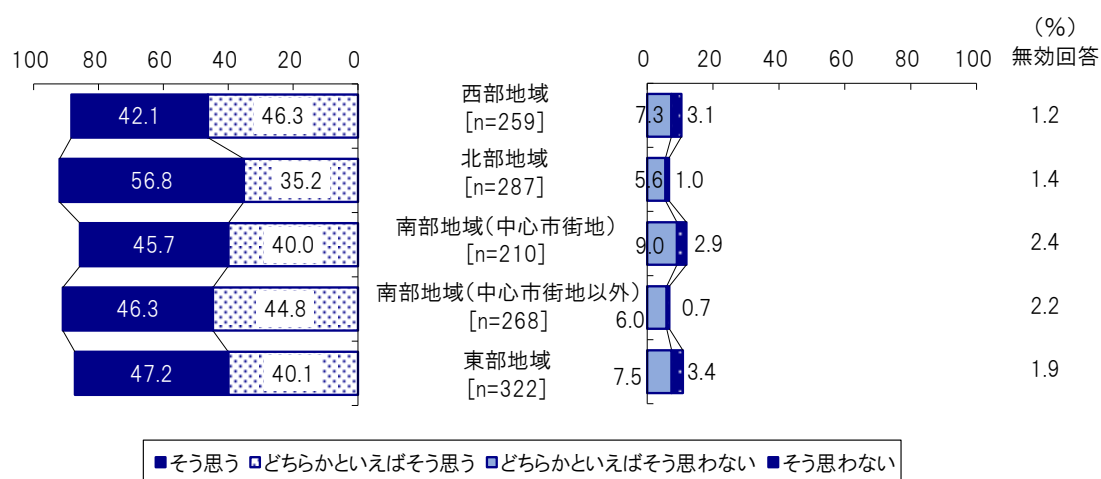
○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計（89.0%）は、平成27年度以降概ね増加傾向にあり、平成29年度（87.6%）に比べて1.4ポイント増加しています。

○一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計（9.1%）は、平成29年度（9.9%）に比べて0.8ポイント減少しています。



＜地域別＞

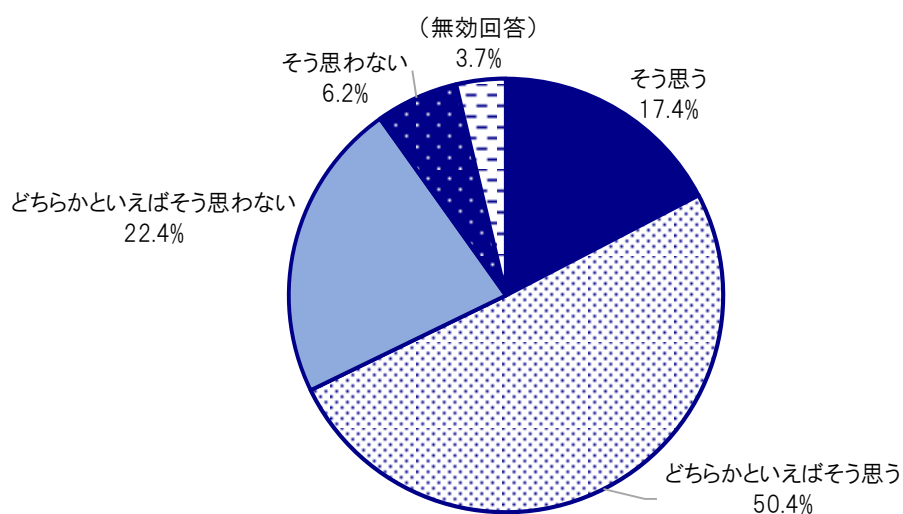
○いずれの地域でも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が8割以上になっていますが、特に北部地域と南部地域（中心市街地以外）では、9割以上を占めています。



問 27-1) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的な街であると思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

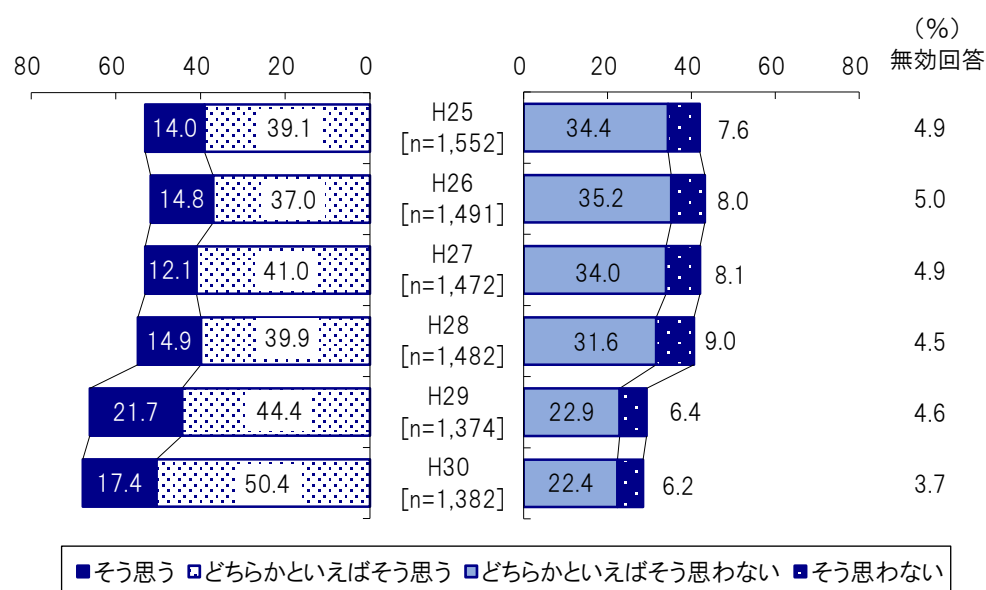
「そう思う」が17.4%、「どちらかといえばそう思う」が50.4%で、合計すると6割（67.8%）を上回っています。



＜経年比較＞

○「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計（67.8%）は、平成26年度から平成30年度にかけて増加しています。平成30年度は平成29年度（66.1%）と比べて1.7ポイント増加しています。

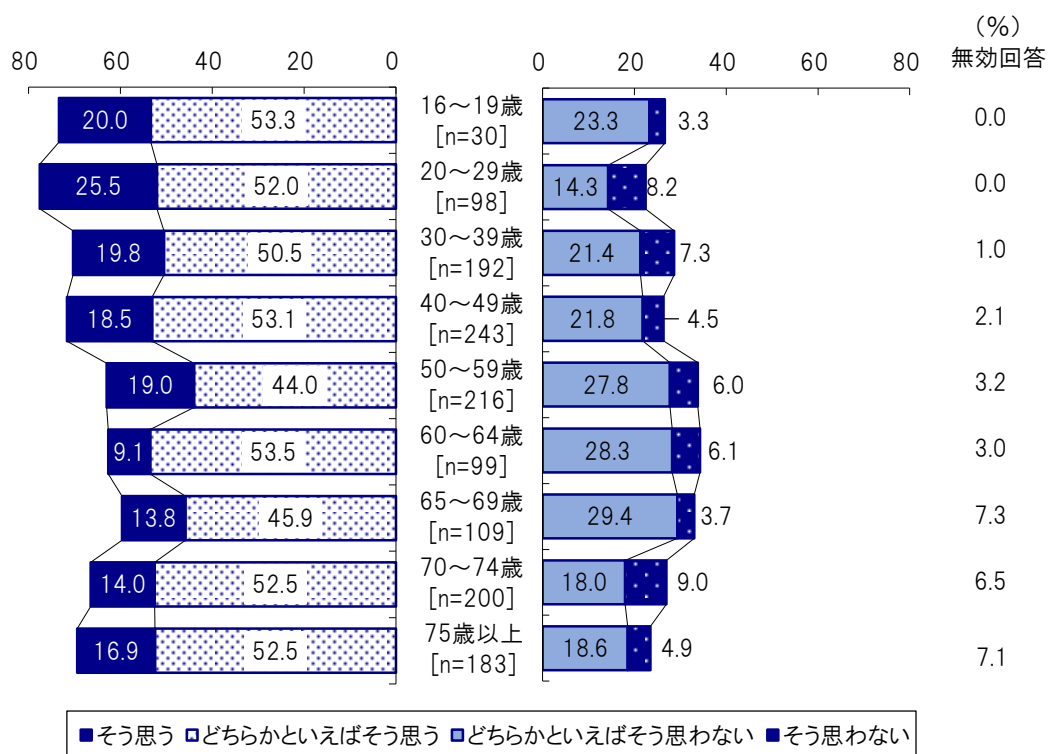
○一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計（28.6%）は、平成26年度から平成30年度にかけて減少しています。平成30年度は平成29年度（29.3%）に比べて0.7ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

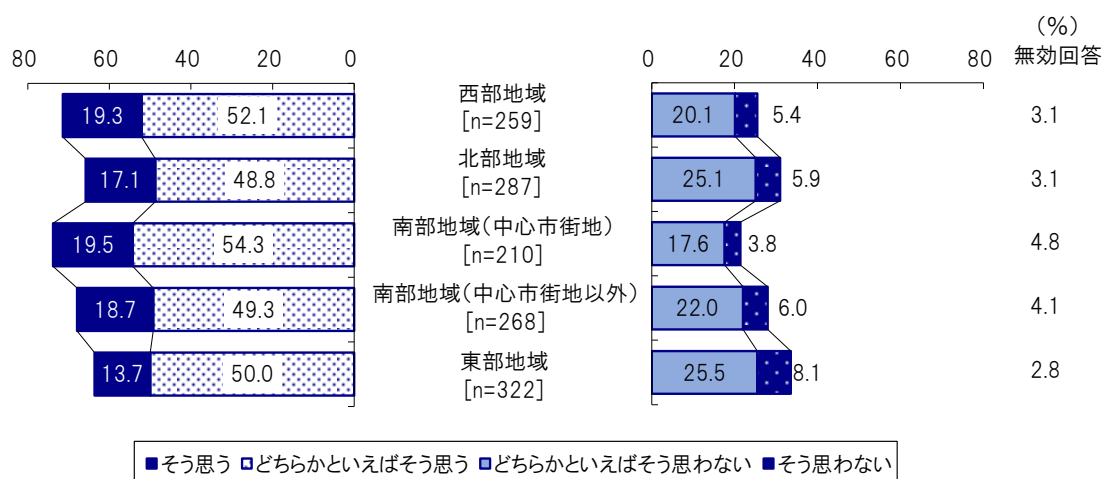
○16～49 歳では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が7 割以上を占めています。

○50～69 歳では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が3 割を上回っています。



＜地域別＞

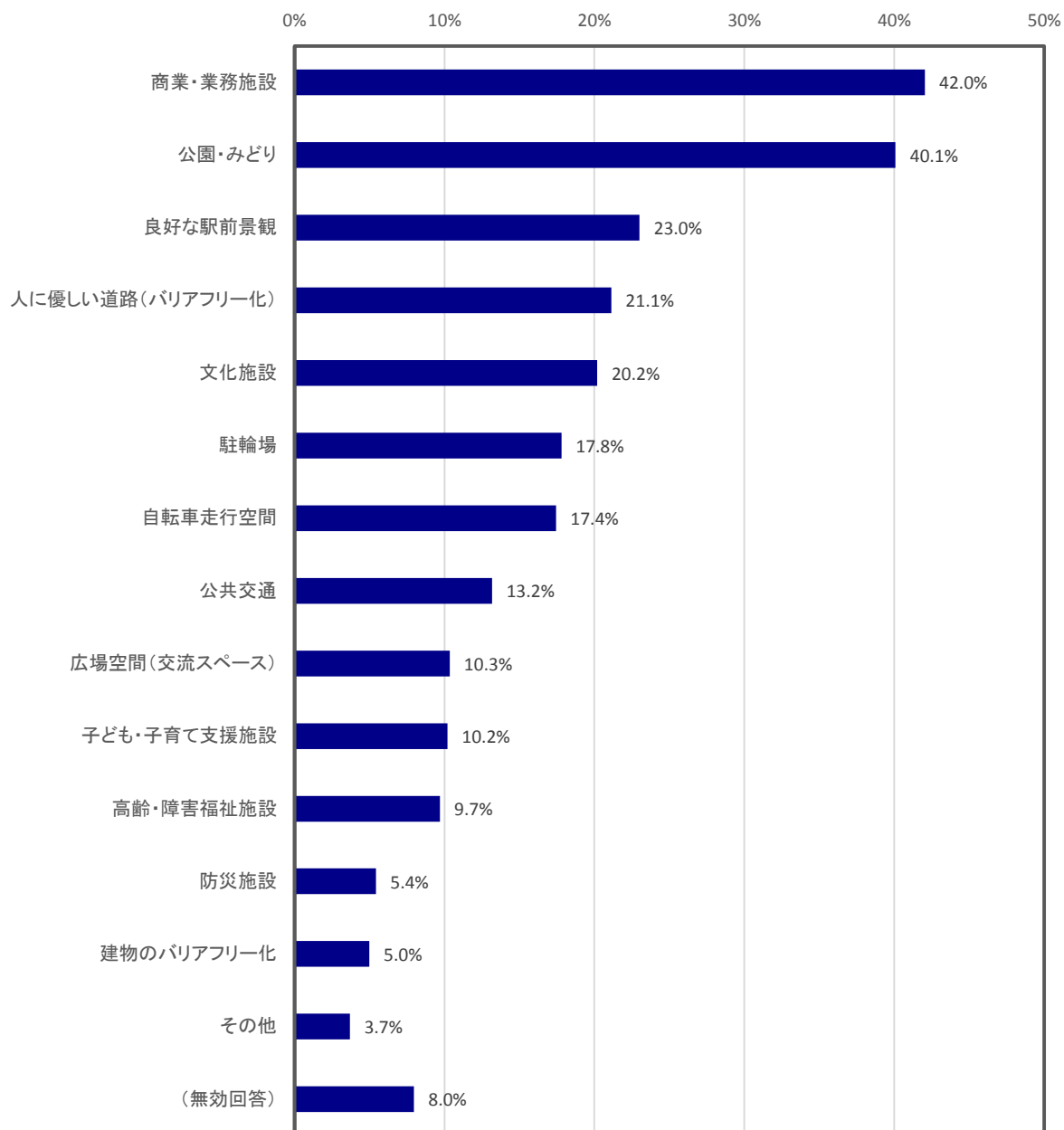
○いずれの地域でも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が6 割以上になっていますが、西部地域と南部地域（中心市街地）では、7 割以上を占めています。



問 27-2) 中心市街地の魅力を高めるために必要なものは何だと思いますか。(3つ以内)

＜全体 (n=1,382) ＞

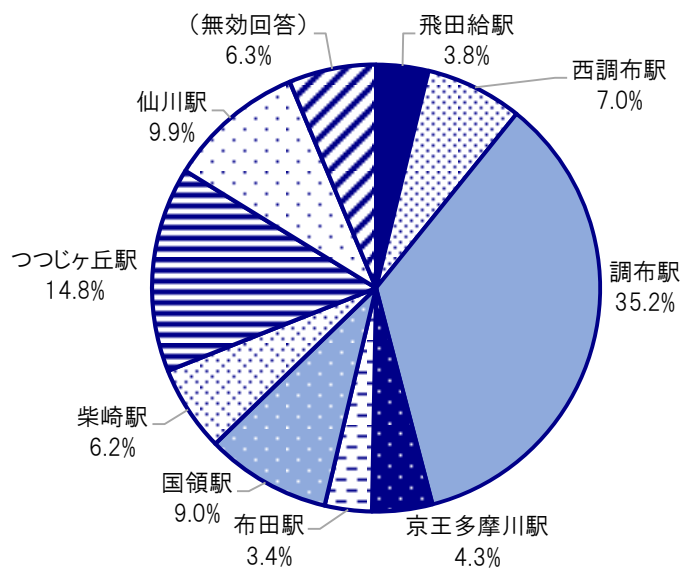
○「商業・業務施設」が 42.0%で最も多く、次いで「公園・みどり」の 40.1%,「良好な駅前景観」の 23.0%の順となっています。



問 28-1) あなたが普段利用する市内の駅は何駅ですか。

＜全体（n=1,382）＞

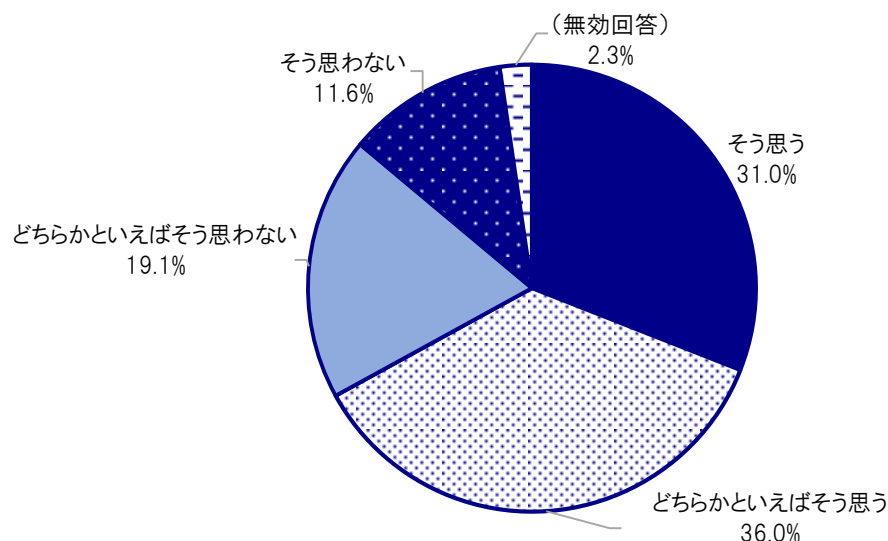
○「調布駅」が35.2%で最も多く、次いで「つつじヶ丘駅」の14.8%、「仙川駅」の9.9%、の「国領駅」9.0%の順となっています。



問 28-2) あなたはその駅の周辺は利便性が高いと思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

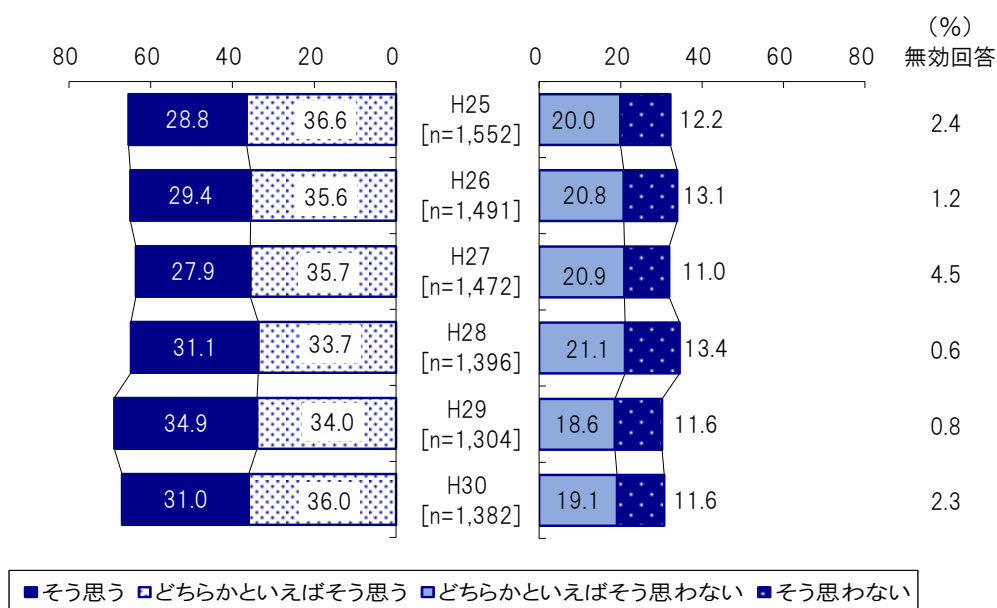
○「そう思う」が31.0%、「どちらかといえばそう思う」が36.0%で、合計をすると7割近く（67.0%）を占めています。



＜経年比較＞

○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計（67.0%）は、平成25年度から平成27年度にかけて減少し、その後平成29年度にかけて増加傾向にありましたが、また平成30年度は平成29年度（68.9%）に比べて1.9ポイント減少しています。

○一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計（30.7%）は、平成28年度に増加した後、平成29年に減少しその後も概ね横ばいで推移しています。

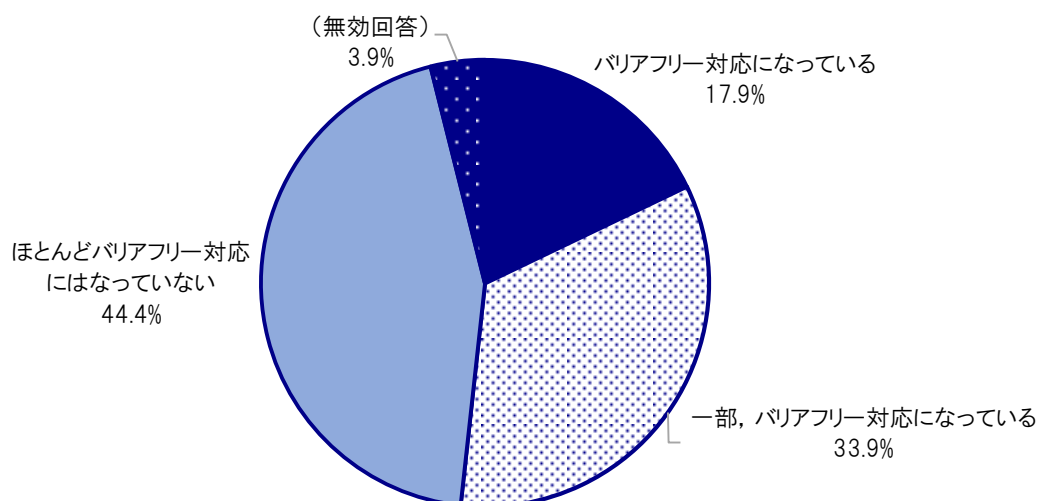


【住環境づくりについて】

問 29-1) あなたが住んでいる住居は、高齢者や障害者にやさしいバリアフリー対応（段差解消やスロープの設置など）になっていますか。

＜全体（n=1,382）＞

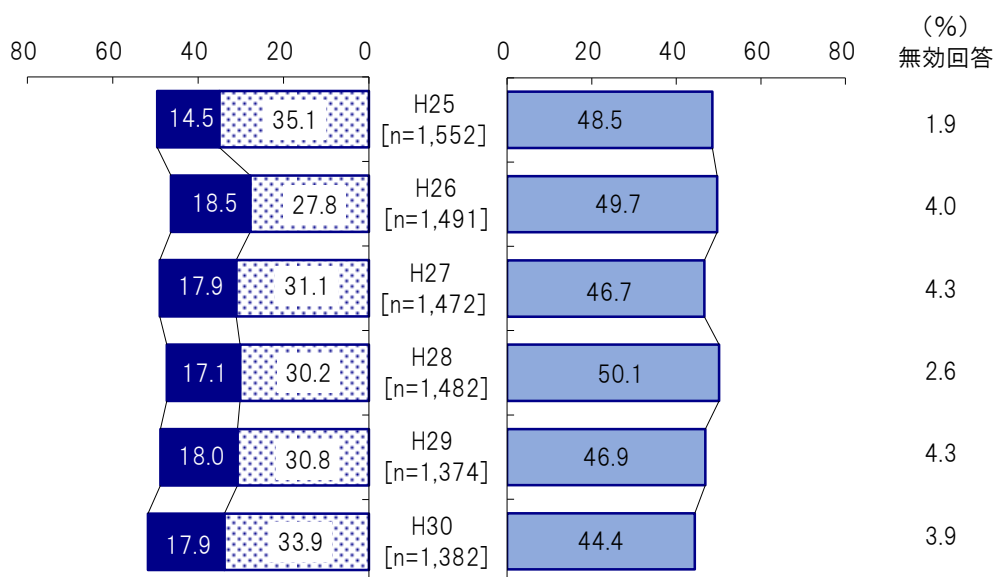
○「バリアフリー対応になっている」が17.9%、「一部、バリアフリー対応になっている」が33.9%で、合計すると半数以上（51.8%）を占めています。



＜経年比較＞

○平成28年度以降、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は増加傾向が続いており、平成30年度は平成29年度（48.8%）と比べて3.0ポイント増加しています。

○一方、「ほとんどバリアフリー対応にはなっていない」は平成28年度以降、減少傾向が続いており、平成30年度は平成29年度（46.9%）に比べて2.5ポイント減少しています。

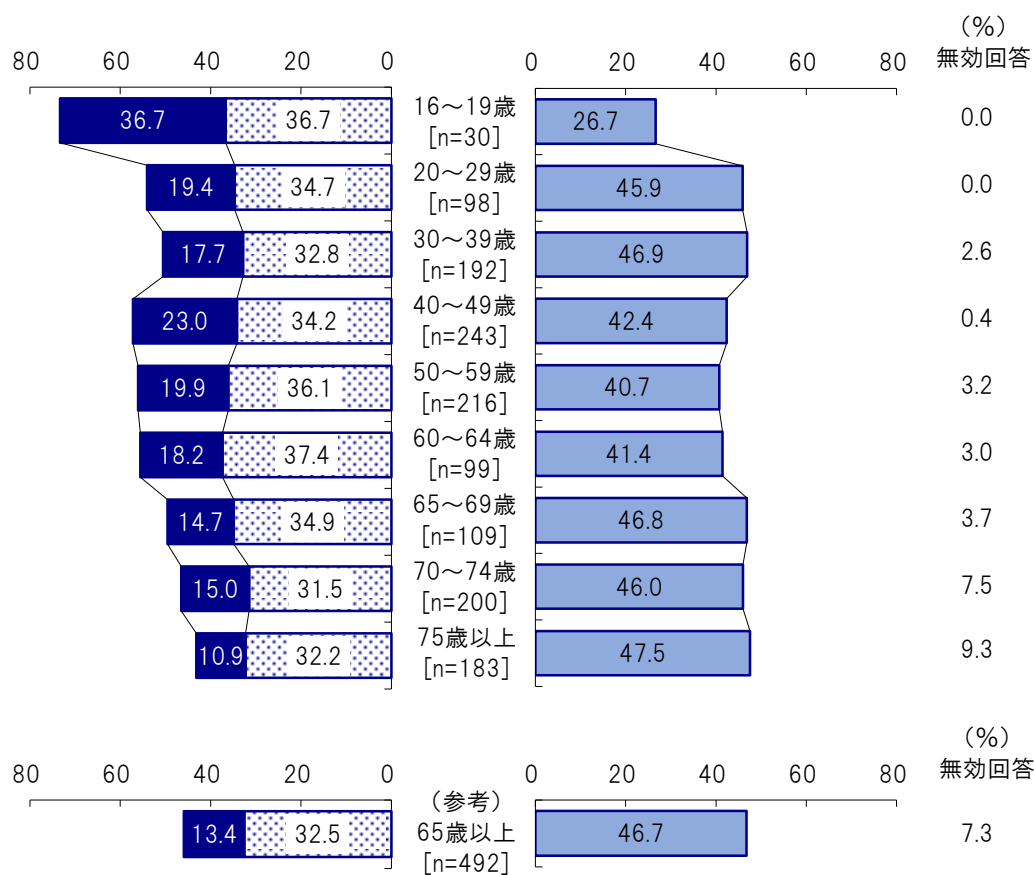


■ バリアフリー対応になっている □ 一部、バリアフリー対応になっている ■ ほとんどバリアフリー対応にはなっていない

＜年齢層別＞

○16～64 歳では、「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計が半数を上回っています。

○75 歳以上では、「ほとんどバリアフリー対応にはなっていない」が「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計を上回っています。

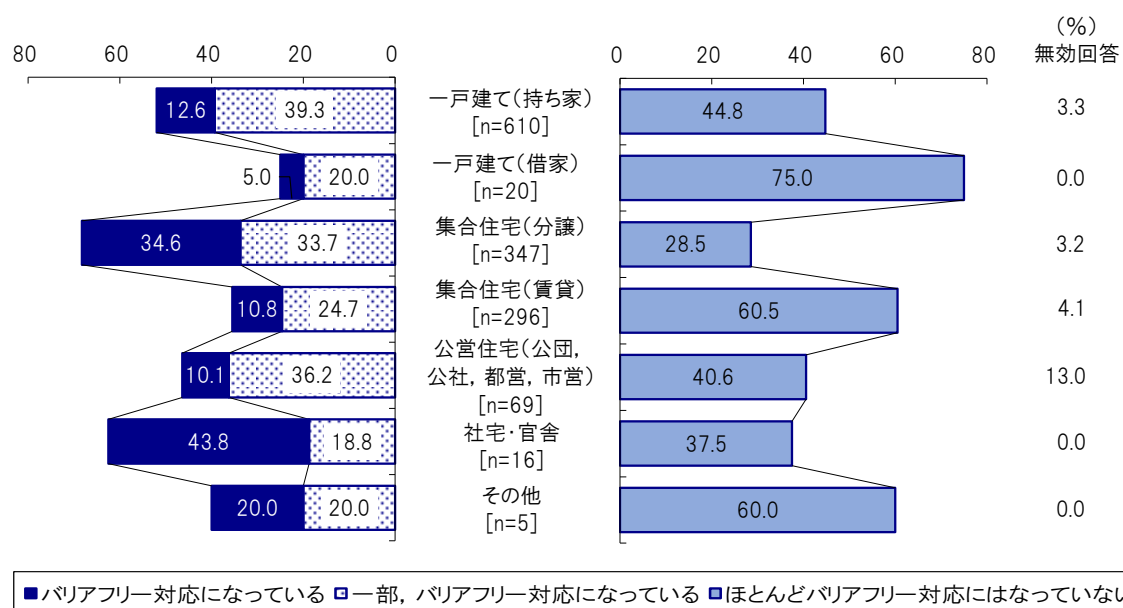


■ バリアフリー対応になっている □ 一部、バリアフリー対応になっている □ ほとんどバリアフリー対応にはなっていない

＜住居形態別＞

○一戸建て（持ち家）と集合住宅（分譲），社宅・官舎では，「バリアフリー対応になっている」と「一部，バリアフリー対応になっている」の合計が半数を上回っています。

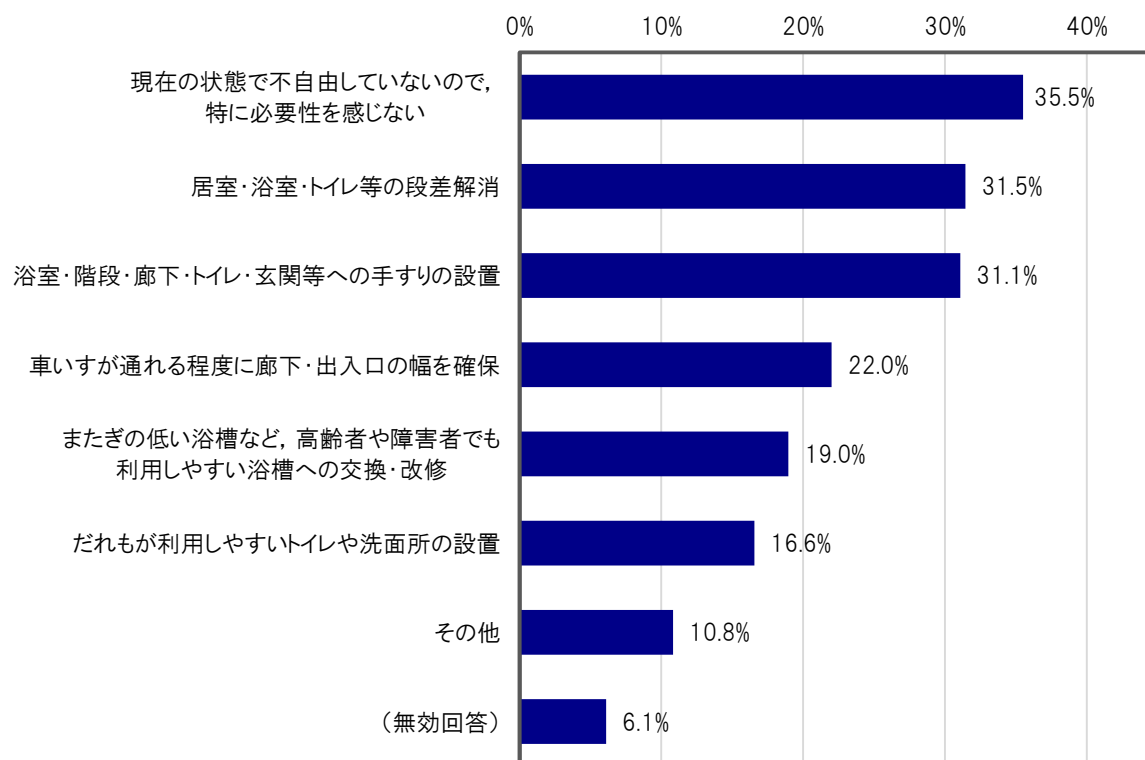
○一戸建て（借家）と集合住宅（賃貸），その他では，「ほとんどバリアフリー対応にはなっていない」が6割以上を占めています。



問 29-2) 問 29 で「2～3」のいずれかを選んだ方にうかがいます。今後、住居のバリアフリー化の必要性を感じていますか。

＜全体（n=1,081）＞

○「現在の状態で不自由していないので、特に必要性を感じない」が 35.5%で最も多く、次いで「居室・浴室・トイレ等の段差解消」の 31.5%、「浴室・階段・廊下・トイレ・玄関等への手すりの設置」の 31.1%の順となっています。

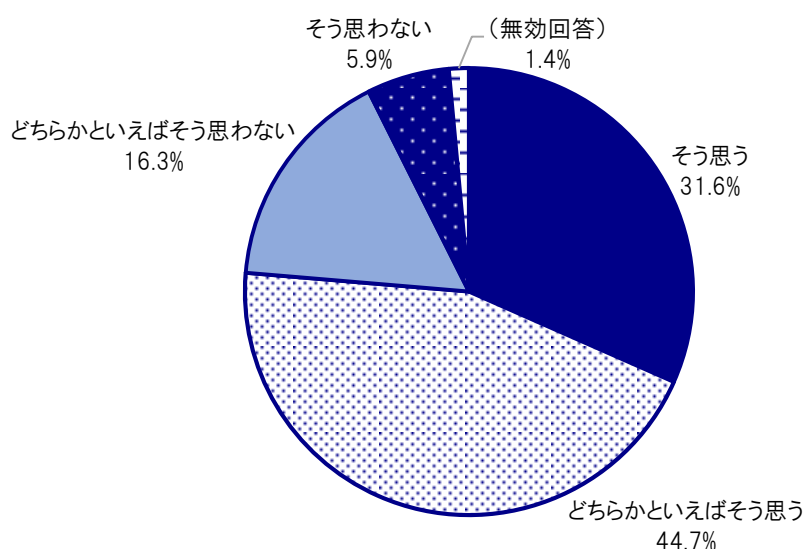


【公共交通について】

問 30) あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）は利用しやすいと思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

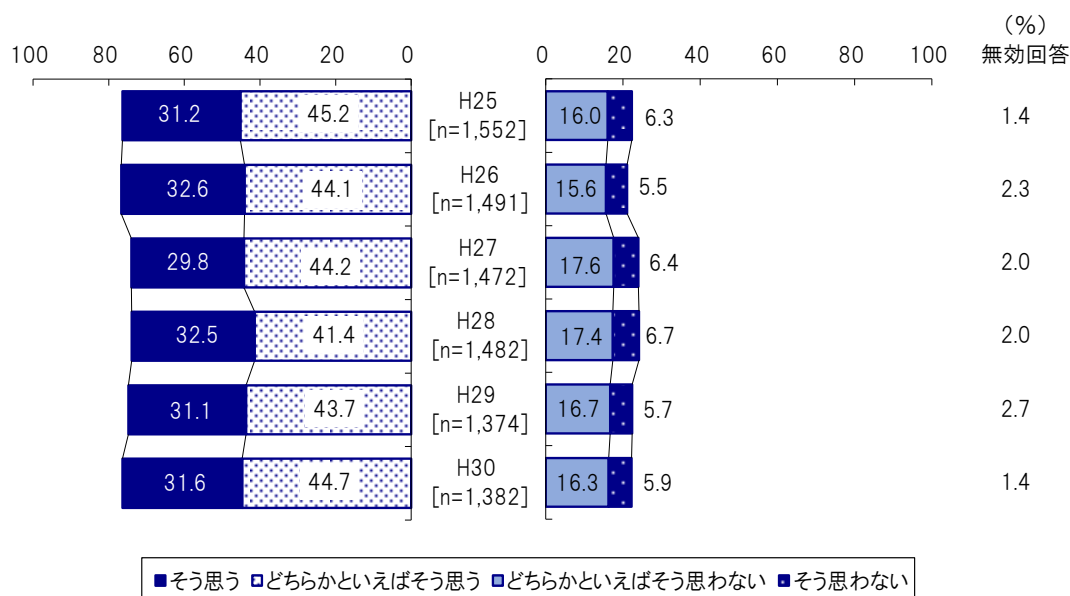
○「そう思う」が 31.6%、「どちらかといえばそう思う」が 44.7%で、合計をすると 7割以上（76.3%）を占めています。



＜経年比較＞

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、平成 28 年度以降増加傾向にあり、平成 30 年度（76.3%）は平成 29 年度（74.8%）と比べ 1.5 ポイント増加しています。

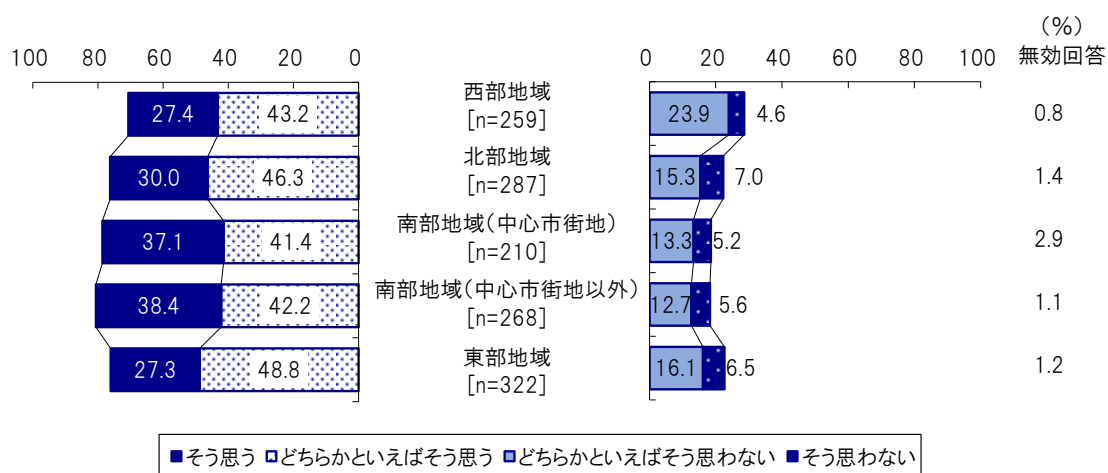
○一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は平成 28 年度以降減少傾向にあり、平成 30 年度（22.2%）は平成 29 年度（22.4%）に比べて 0.2 ポイント減少しています。



＜地域別＞

○南部地域（中心市街地以外）では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が8割以上を占めています。

○西部地域，北部地域，東部地域では，「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が2割を上回っています。



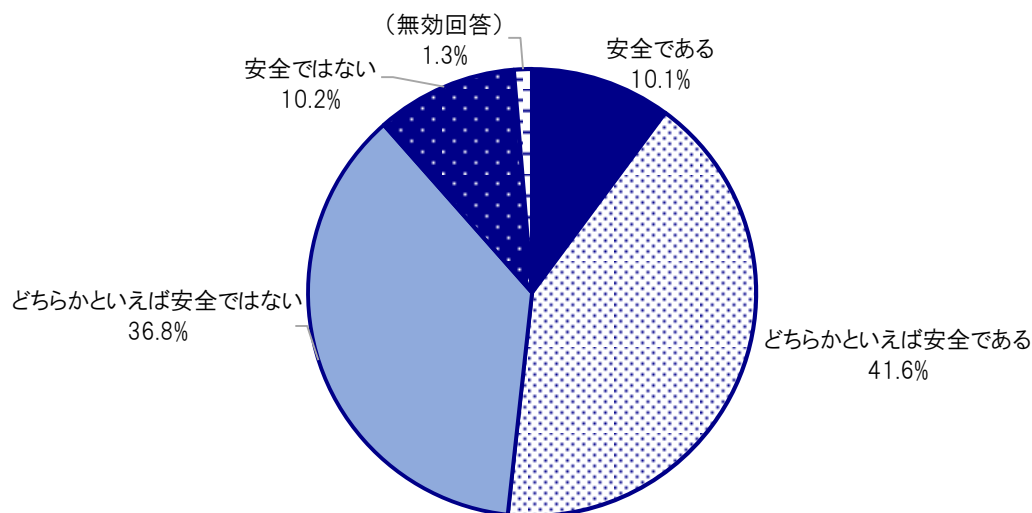
【道路・交通について】

問 31-1) あなたは、普段利用する市内の道路が安全だと思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「安全である」が10.1%、「どちらかといえば安全である」が41.6%で、合計で51.7%と半数を上回っています。

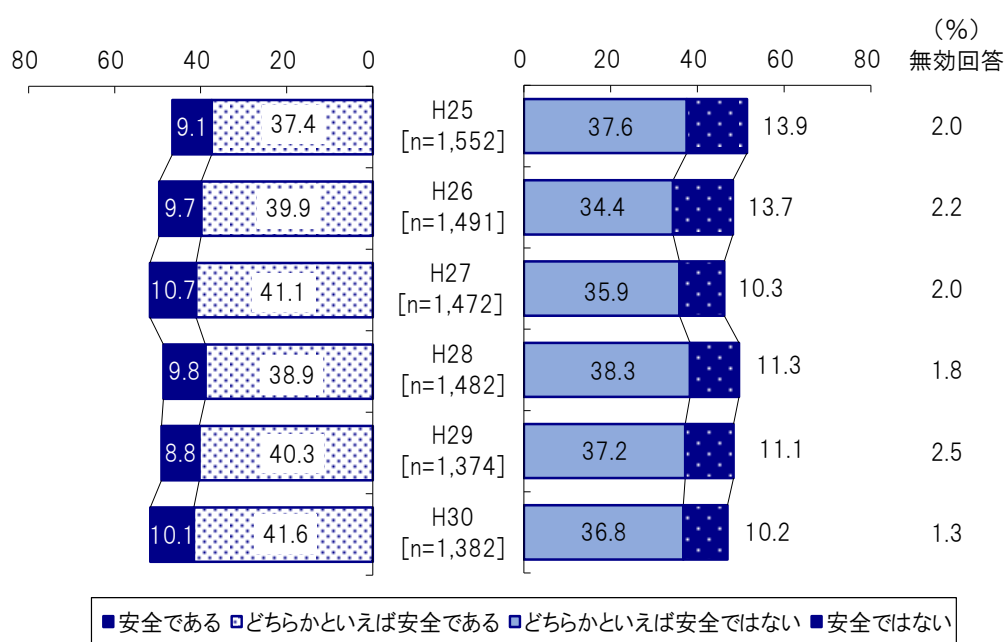
○一方、「安全ではない」は10.2%、「どちらかといえば安全ではない」は36.8%で、合計をすると半数近く（47.0%）となっています。



＜経年比較＞

○「安全である」と「どちらかといえば安全である」の合計51.7%は、平成28年度以降増加しており、平成30年度は平成29年度（49.1%）と比べ2.6ポイント増加しています。

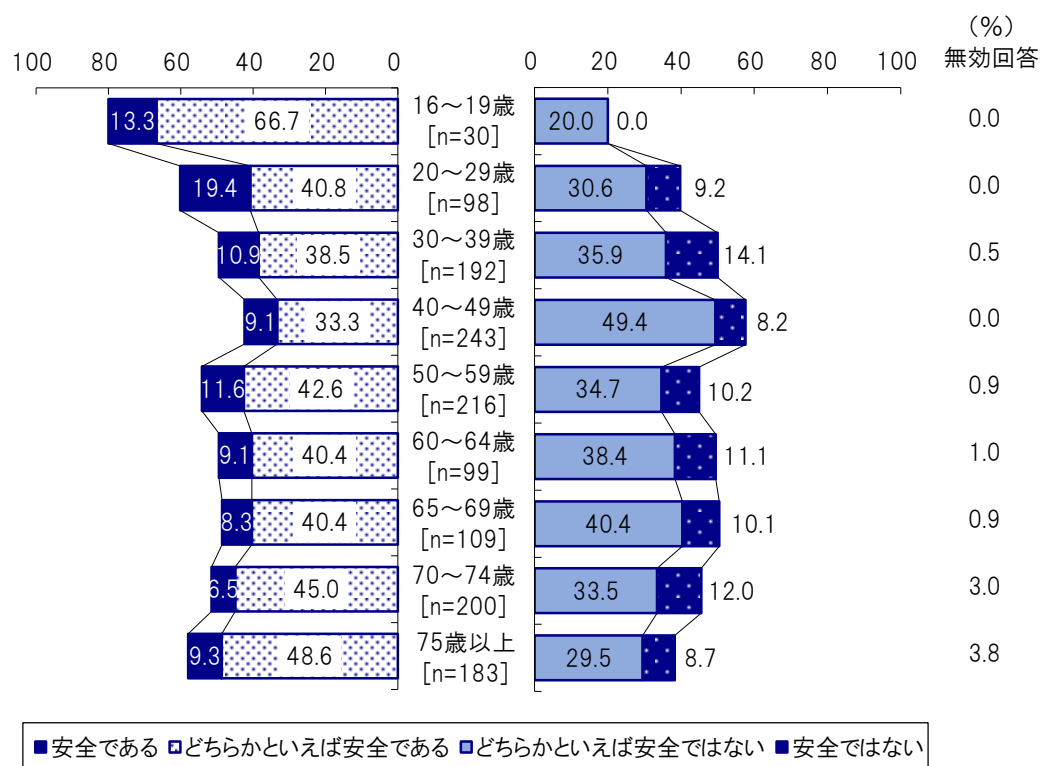
○一方、「安全ではない」と「どちらかといえば安全ではない」の合計47.0%は、平成28年度以降減少しており、平成30年度は平成29年度（48.3%）と比べ1.3ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

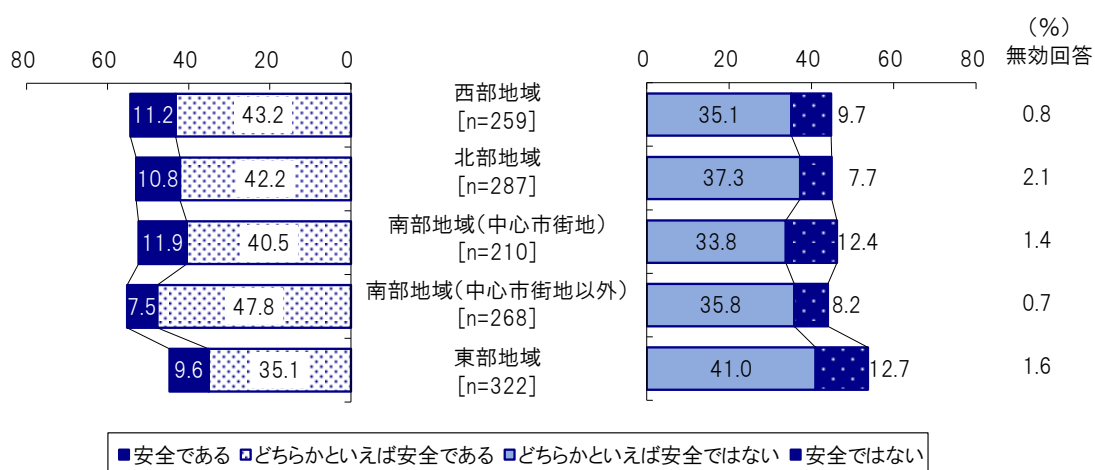
○16～29 歳と 50 歳代と 70 歳以上では、「安全である」と「どちらかといえば安全である」の合計が半数を上回っています。

○30～40 歳代と 65～69 歳では、「安全ではない」と「どちらかといえば安全ではない」の合計が半数を上回っています。

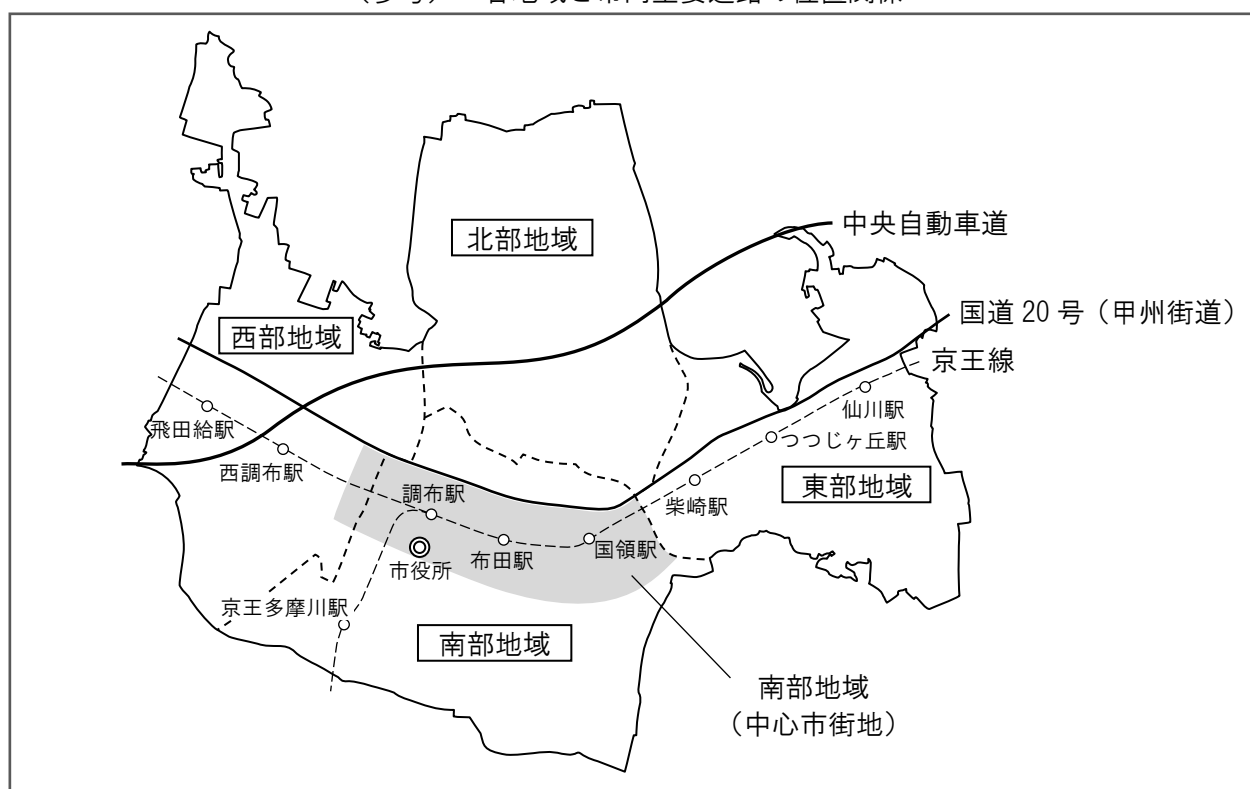


＜地域別＞

○東部地域以外の地域では、「安全である」と「どちらかといえば安全である」の合計が半数を上回っていますが、東部地域のみ半数を下回っています。



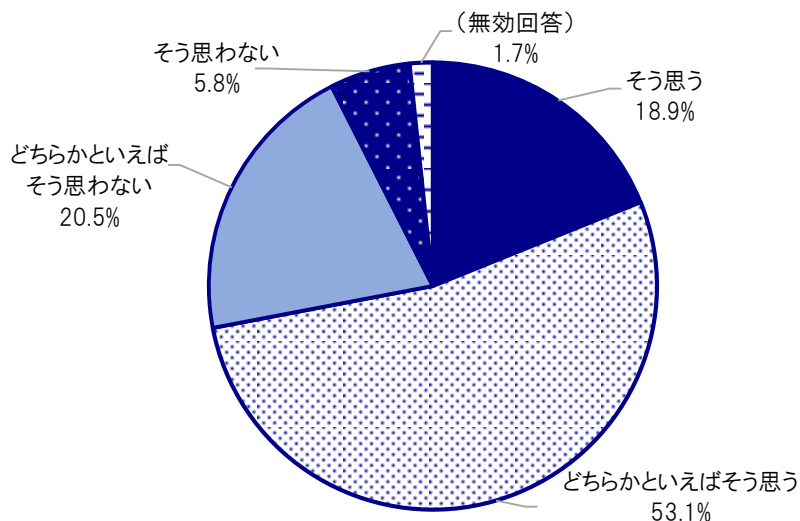
(参考) 各地域と市内主要道路の位置関係



問 31-2) あなたは、自宅などから目的地に向かうときに、市内を円滑に移動できる道路が備わっていると思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

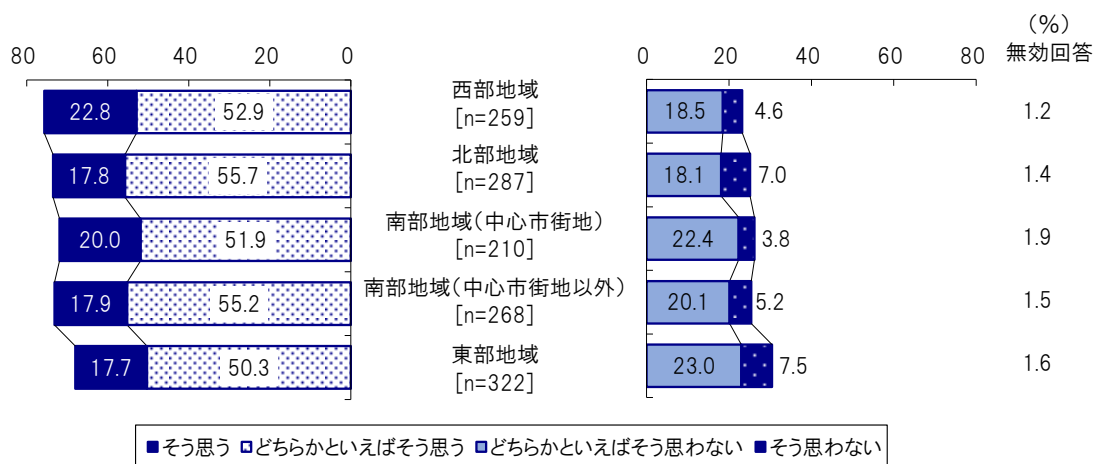
○「そう思う」が18.9%、「どちらかといえばそう思う」が53.1%で、合計をすると7割以上（72.0%）を占めています。



＜地域別＞

○東部地域を除く地域では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が7割を超えています。

○一方、東部地域では「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合計が3割を超えています。

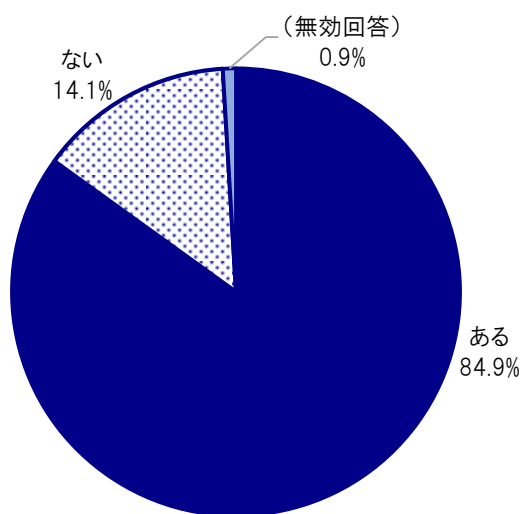


【平和について】

問 32-1) あなたは、これまでに戦争中の話をしたり聞いたりしたことがありますか。

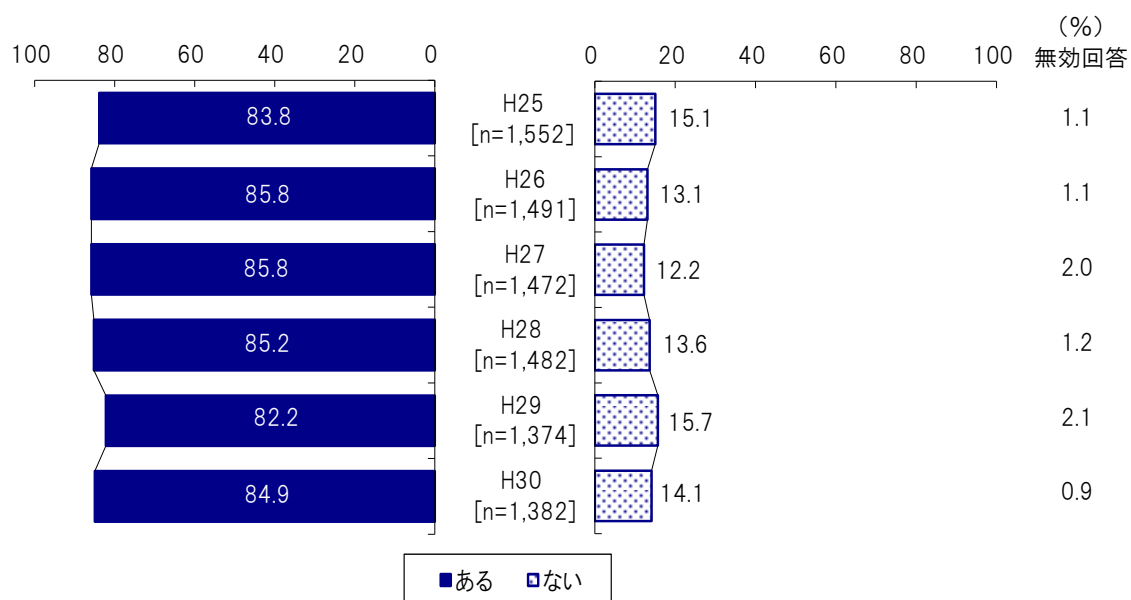
＜全体（n=1,382）＞

○「ある」が84.9%、「ない」が14.1%となっています。



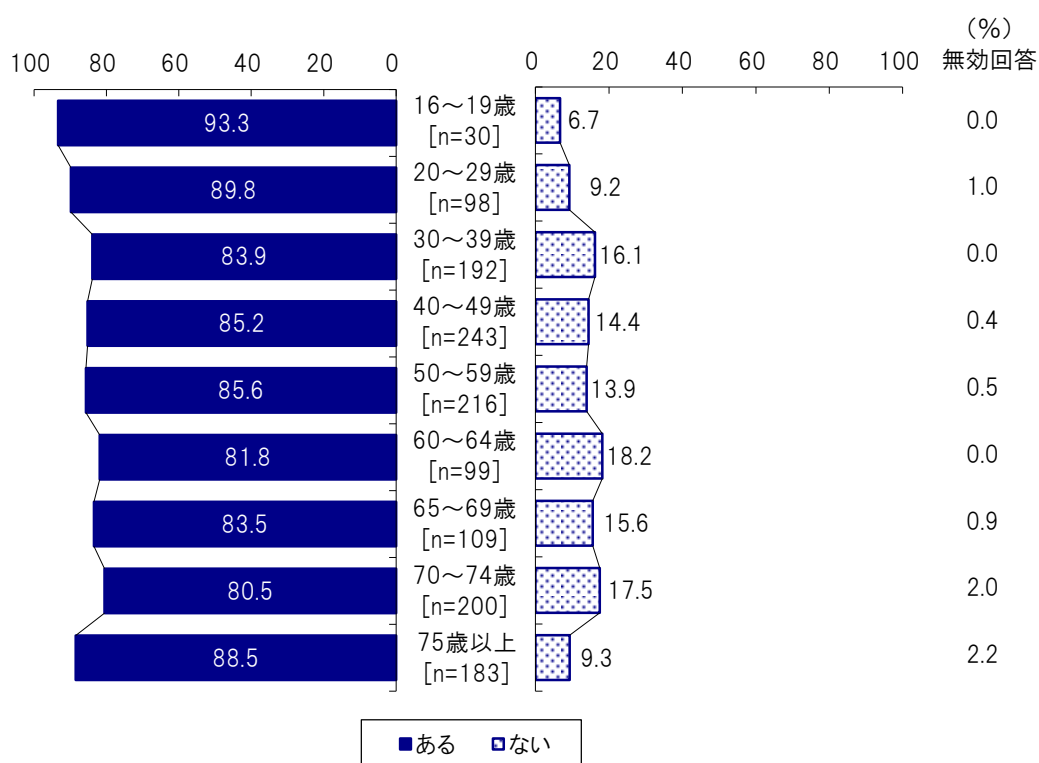
＜経年比較＞

○「ある」84.9%は、平成29年度と比べ2.7ポイント増加しており、「ない」14.1%は、平成29年度に比べて1.6ポイント減少しています。



＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも「ある」が8割以上を占めています。



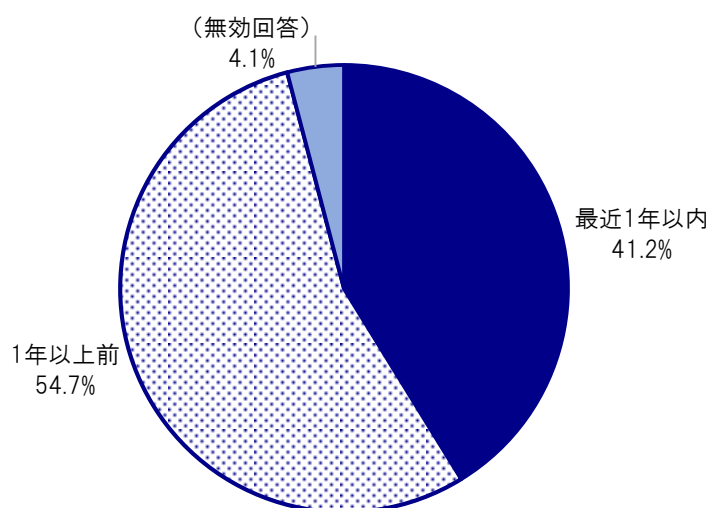
問 32-2) 問 32 で「1 ある」を選んだ方にうかがいます。それは「いつ」・「誰と（誰から）」話をしたり、聞いたりしましたか。

＜全体（n=1,174）＞

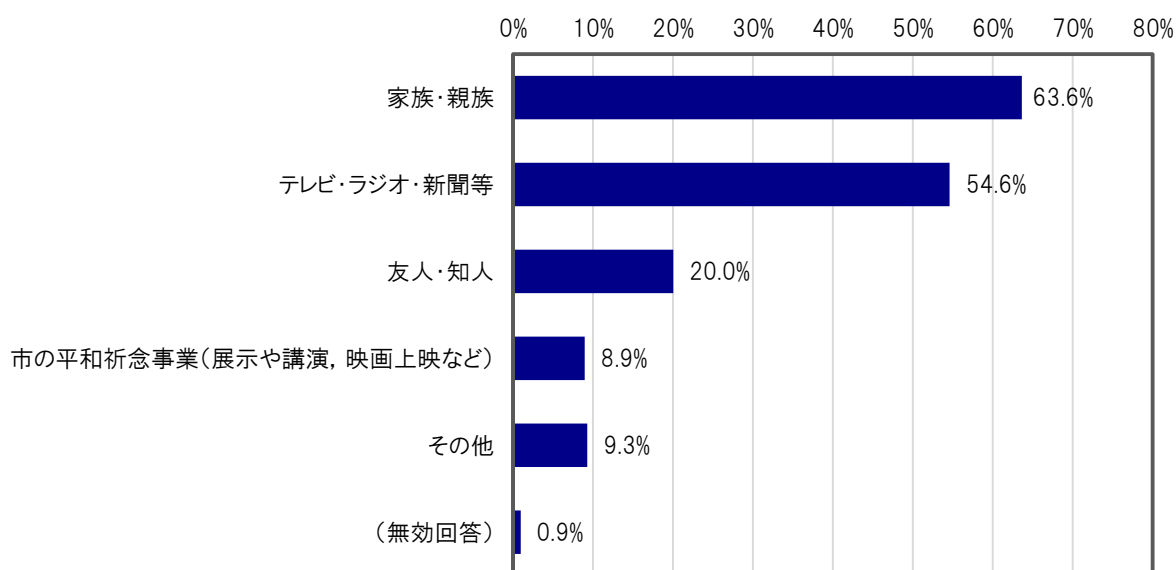
○時期については、「最近1年以内」は41.2%、「1年以上前」は54.7%となっています。

○相手については、「家族・親族」が63.6%で最も多く、次いで「テレビ・ラジオ・新聞等」の54.6%、「友人・知人」の20.0%の順となっています。

時期



相手

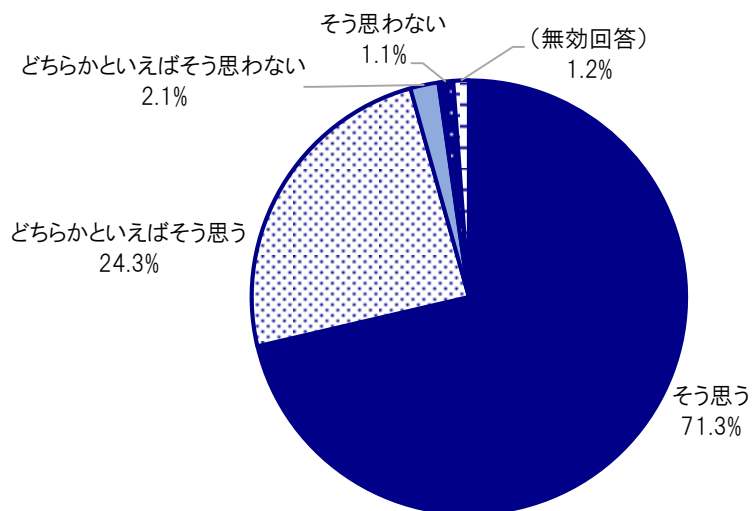


【人権・男女共同参画について】

問 33) あなたは、家事や子育て、介護など家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

＜全体（n=1,382）＞

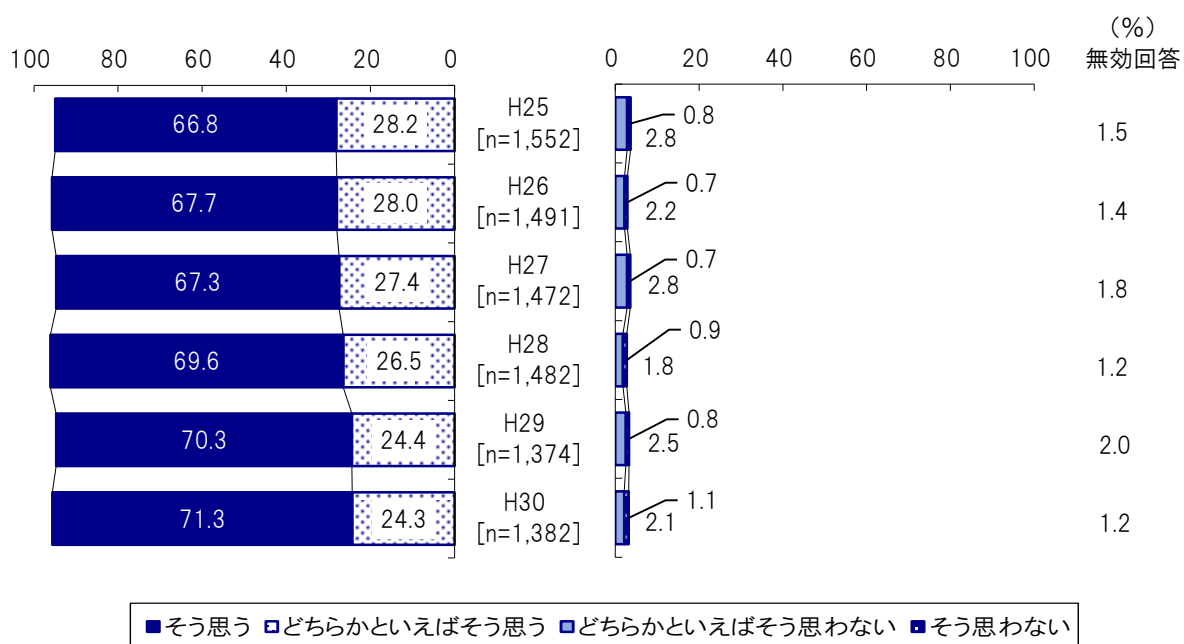
○「そう思う」が71.3%、「どちらかといえばそう思う」が24.3%で、合計をすると9割以上（95.6%）を占めています。



＜経年比較＞

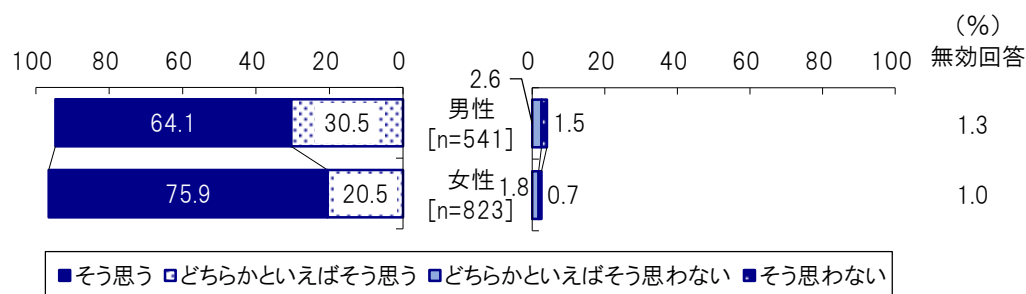
○「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計（95.6%）は、平成29年度（94.7%）に比べ0.9ポイント増加しています。

○一方、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計（3.2%）は、平成29年度（3.3%）に比べ0.1ポイント減少しています。



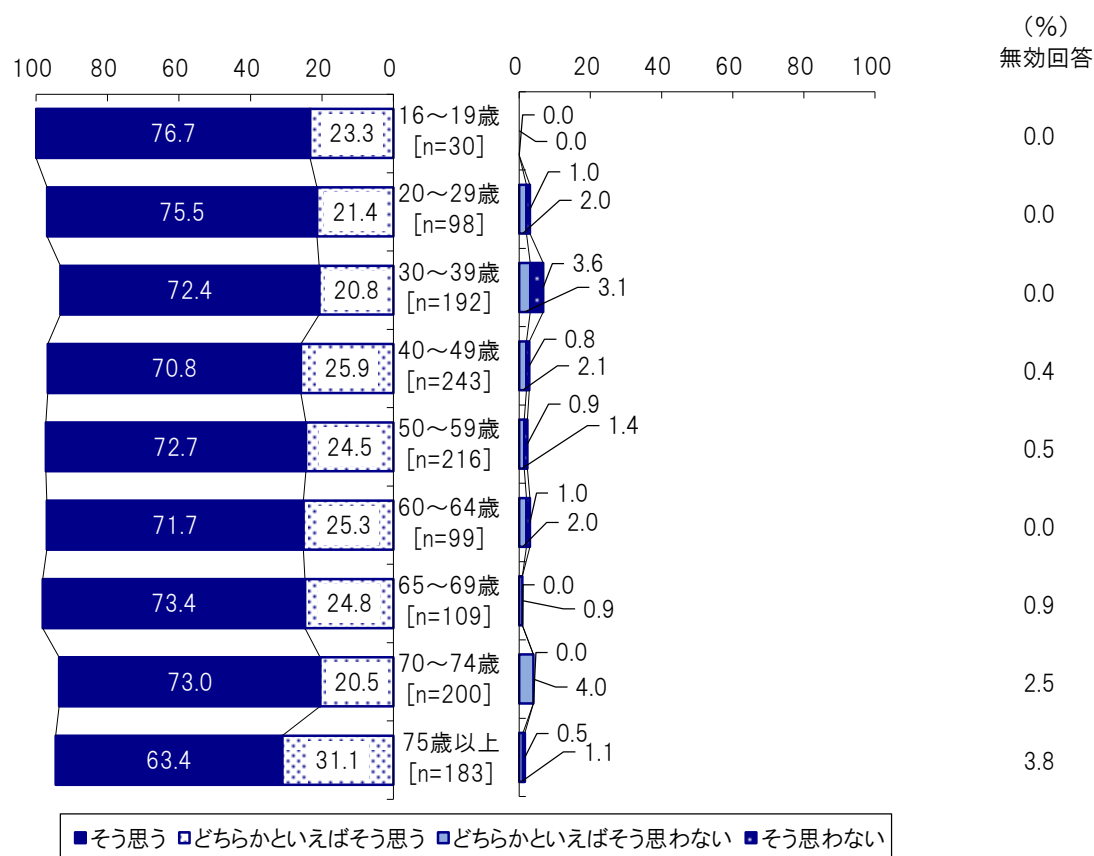
＜性別＞

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は男女でほぼ同様となっていますが、「そう思う」の割合は、女性が男性を11.8ポイント上回っています。



＜年齢層別＞

○いずれの年齢層でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は9割以上を占めています。

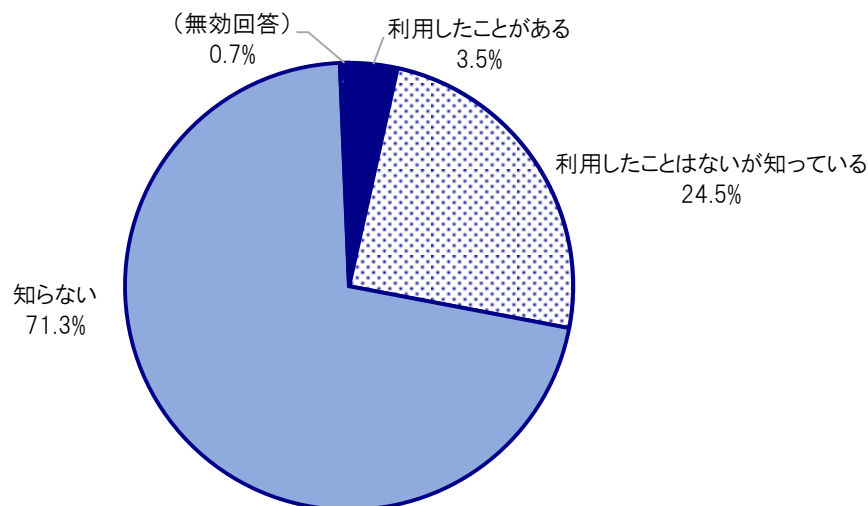


問 34) あなたは、調布市男女共同参画推進センターが市民プラザあくろす（国領駅北側コクティール）内にあることを知っていますか。

＜全体（n=1,382）＞

○「利用したことがある」が3.5%、「利用したことはないが知っている」が24.5%で、合計で3割程度(28.0%)となっています。

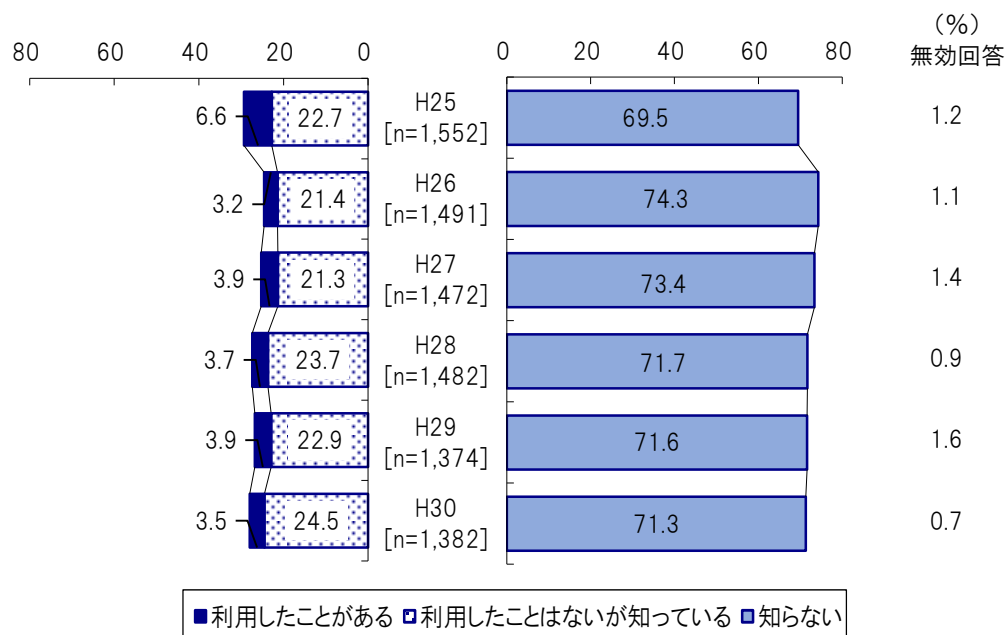
○一方、「知らない」は71.3%となっています。



＜経年比較＞

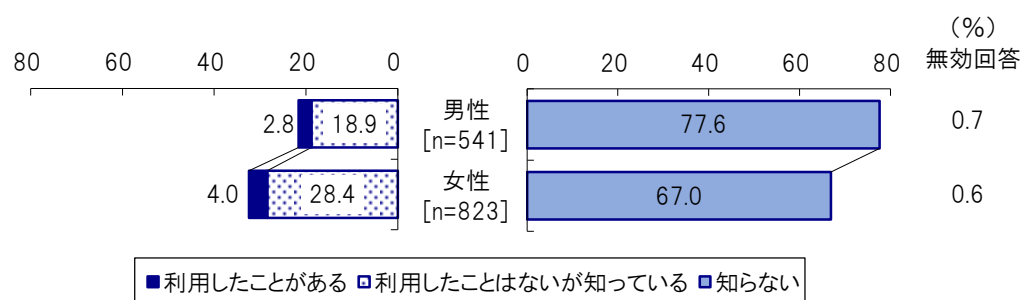
○「利用したことがある」「利用したことはないが知っている」の合計（28.0%）は、平成29年度（26.8%）に比べると1.2ポイント増加しています。

○一方、「知らない」（71.3%）は、平成26年度以降減少しており、平成30年度は平成29年度（71.6%）に比べ0.3ポイント減少しています。



＜性別＞

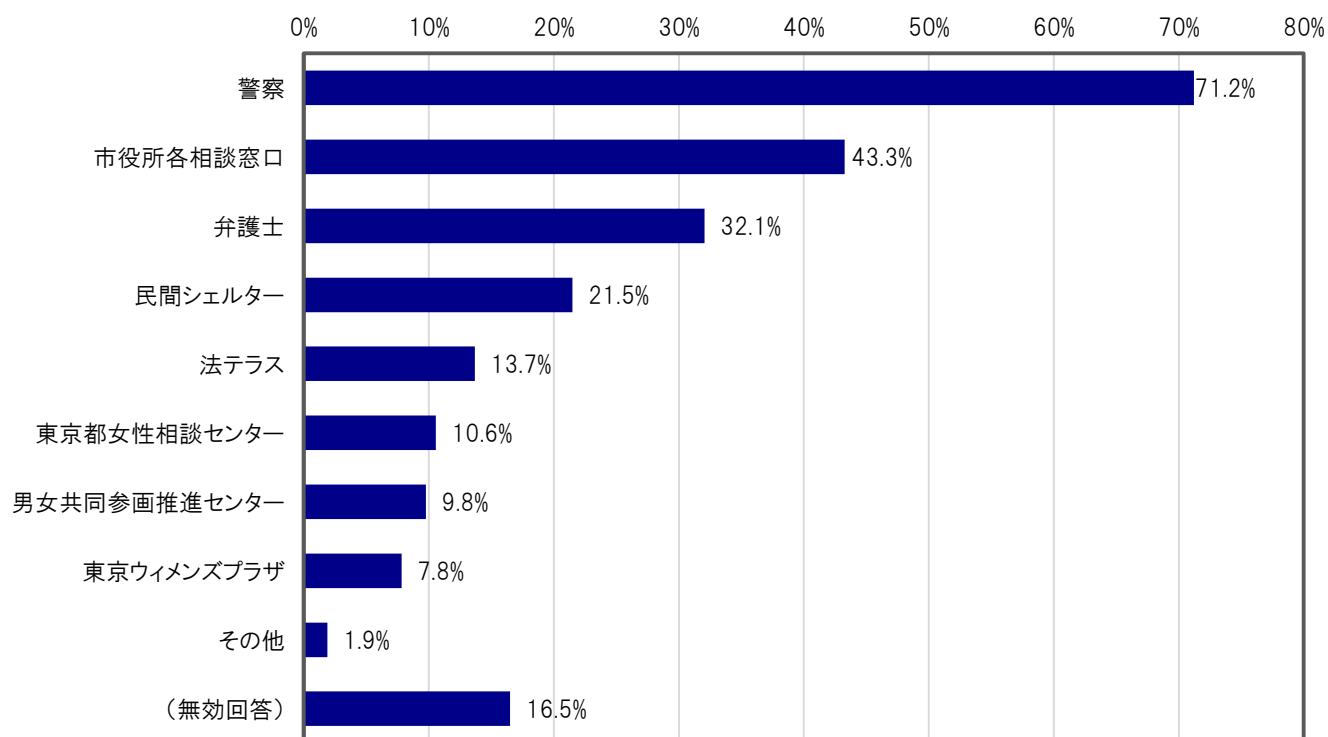
○女性は、「利用したことがある」「利用したことはないが知っている」の合計が3割を超えており、男性に比べ10.7ポイント上回っています。



問 35) あなたは、DV（ドメスティックバイオレンス）に関する各種相談を受け付けていることを知っていますか。（※複数回答可）

＜全体（n=1,382）＞

○「警察」が71.2%で最も多く、次いで「市役所各相談窓口」の43.3%、「弁護士」の32.1%の順となっています。



＜性別＞

○男女とも「警察」が7割を超えて最も多く、次いで「市役所各相談窓口」の順となっています。

○「警察」を除いて女性が男性を上回っている傾向にあります。

選択肢	全体	男性	女性
警察	984 71.2%	388 71.7%	589 71.6%
市役所各相談窓口	598 43.3%	208 38.4%	386 46.9%
弁護士	443 32.1%	170 31.4%	271 32.9%
民間シェルター	297 21.5%	70 12.9%	224 27.2%
法テラス	189 13.7%	71 13.1%	117 14.2%
東京都女性相談センター	146 10.6%	28 5.2%	117 14.2%
男女共同参画推進センター	135 9.8%	49 9.1%	86 10.4%
東京ウィメンズプラザ	108 7.8%	25 4.6%	83 10.1%
その他	26 1.9%	11 2.0%	14 1.7%
(無効回答)	228 16.5%	100 18.5%	120 14.6%
母数	1,382	541	823

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

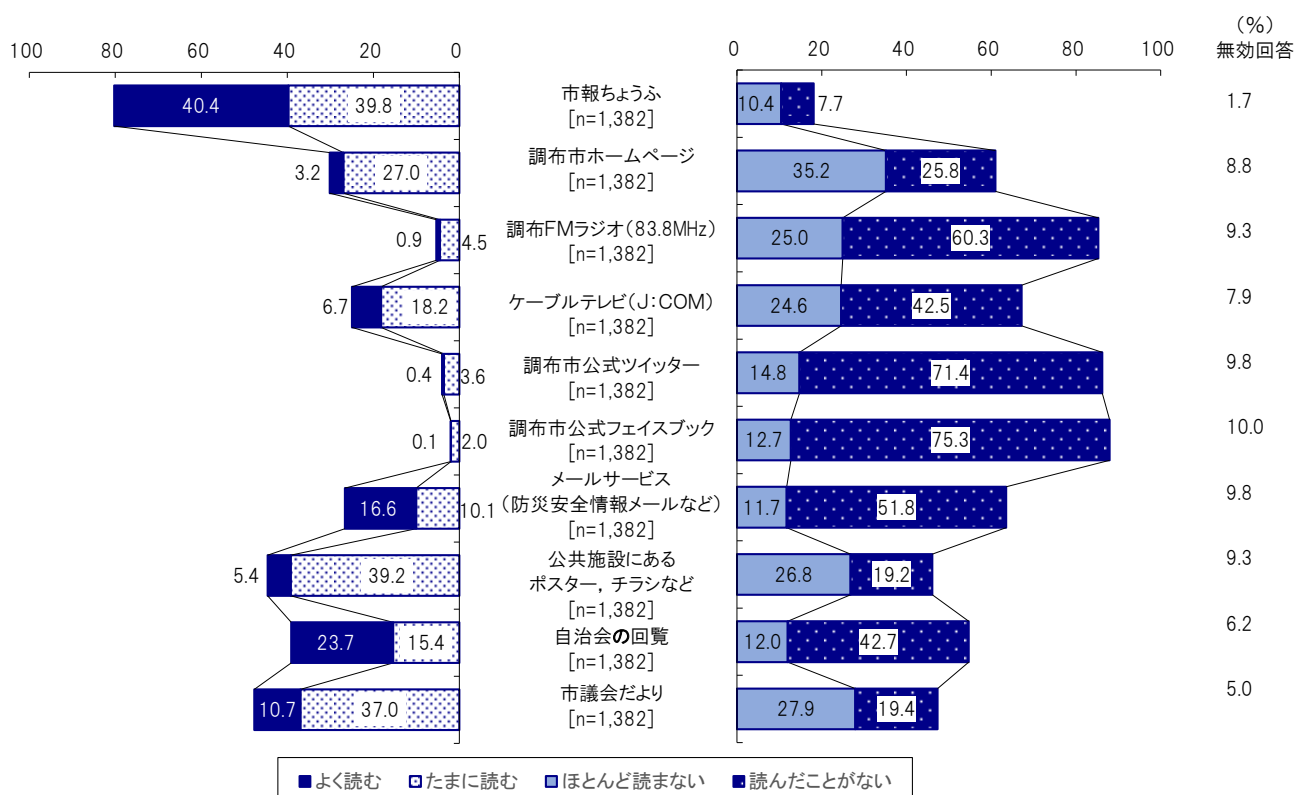
【情報共有化について】

問 36) あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。ア～コのそれぞれについて、次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

＜全体（n=1,382）＞

○「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちょうふ」が80.2%で最も多く、次いで「市議会だより」の47.7%、「公共施設にあるポスター、チラシなど」が44.6%の順となっています。

○一方、「読んだことがない・見たことがない・聴いたことがない」と「ほとんど読まない・見ない・聴かない」の合計は、「調布市公式フェイスブック」が88.0%で最も多く、次いで「調布市公式ツイッター」の86.2%の順となっています。



＜年齢層別＞

○16～19歳以外の「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちょうふ」が最も多くなっています。特に、40歳以上の年齢層では8割以上を占めています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
市報ちょうふ	1,109 80.2%	7 23.3%	44 44.9%	138 71.9%	202 83.1%	174 80.6%	86 86.9%	96 88.1%	188 94.0%	168 91.8%
調布市ホームページ	417 30.2%	3 10.0%	22 22.4%	61 31.8%	95 39.1%	72 33.3%	25 25.3%	39 35.8%	48 24.0%	52 28.4%
調布FMラジオ(83.8MHz)	74 5.4%	2 6.7%	2 2.0%	6 3.1%	11 4.5%	10 4.6%	8 8.1%	10 9.2%	14 7.0%	11 6.0%
ケーブルテレビ(J:COM)	345 25.0%	5 16.7%	20 20.4%	26 13.5%	56 23.0%	59 27.3%	40 40.4%	35 32.1%	58 29.0%	44 24.0%
調布市公式ツイッター	56 4.1%	2 6.7%	10 10.2%	10 5.2%	16 6.6%	7 3.2%	1 1.0%	2 1.8%	3 1.5%	4 2.2%
調布市公式フェイスブック	28 2.0%	0 0.0%	2 2.0%	8 4.2%	9 3.7%	2 0.9%	1 1.0%	2 1.8%	2 1.0%	2 1.1%
メールサービス(防災安全情報メールなど)	368 26.6%	6 20.0%	6 6.1%	55 28.6%	130 53.5%	78 36.1%	17 17.2%	23 21.1%	30 15.0%	20 10.9%
公共施設にあるポスター、チラシなど	616 44.6%	14 46.7%	34 34.7%	78 40.6%	126 51.9%	97 44.9%	39 39.4%	62 56.9%	87 43.5%	77 42.1%
自治会の回覧	540 39.1%	3 10.0%	12 12.2%	30 15.6%	72 29.6%	73 33.8%	45 45.5%	66 60.6%	127 63.5%	112 61.2%
市議会だより	659 47.7%	4 13.3%	18 18.4%	51 26.6%	116 47.7%	100 46.3%	55 55.6%	59 54.1%	130 65.0%	124 67.8%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

＜住居形態別＞

○社宅・官舎を除く住居形態では、「市報ちょうふ」が最も多くなっています。

○社宅・官舎では「公共施設にあるポスター、チラシなど」が最も多くなっています。

○2番目は住居形態ごとに傾向が異なっています。集合住宅(分譲), 集合住宅(賃貸), その他では「公共施設にあるポスター、チラシなど」が、一戸建て(持ち家), 公営住宅(公団, 公社, 都営, 市営)では「自治会の回覧」が、一戸建て(借家)では「調布市ホームページ」が、社宅・官舎では「市報ちょうふ」が2番目となっています。「市議会だより」は、集合住宅(分譲), その他で「公共施設にあるポスター、チラシなど」と同率で2番目となっています。

選択肢	全体	一戸建て(持ち家)	一戸建て(借家)	集合住宅(分譲)	集合住宅(賃貸)	公営住宅(公団, 公社, 都営, 市営)	社宅・官舎	その他
市報ちょうふ	1,109 80.2%	516 84.6%	11 55.0%	281 81.0%	210 70.9%	66 95.7%	9 56.3%	4 80.0%
調布市ホームページ	417 30.2%	200 32.8%	9 45.0%	106 30.5%	68 23.0%	21 30.4%	7 43.8%	2 40.0%
調布FMラジオ(83.8MHz)	74 5.4%	30 4.9%	1 5.0%	18 5.2%	17 5.7%	6 8.7%	1 6.3%	1 20.0%
ケーブルテレビ(J:COM)	345 25.0%	158 25.9%	3 15.0%	78 22.5%	79 26.7%	18 26.1%	3 18.8%	1 20.0%
調布市公式ツイッター	56 4.1%	22 3.6%	1 5.0%	15 4.3%	15 5.1%	1 1.4%	1 6.3%	0 0.0%
調布市公式フェイスブック	28 2.0%	16 2.6%	0 0.0%	5 1.4%	7 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
メールサービス(防災安全情報メールなど)	368 26.6%	183 30.0%	7 35.0%	103 29.7%	52 17.6%	14 20.3%	4 25.0%	0 0.0%
公共施設にあるポスター、チラシなど	616 44.6%	257 42.1%	8 40.0%	172 49.6%	124 41.9%	34 49.3%	10 62.5%	3 60.0%
自治会の回覧	540 39.1%	331 54.3%	6 30.0%	111 32.0%	24 8.1%	54 78.3%	4 25.0%	2 40.0%
市議会だより	659 47.7%	315 51.6%	6 30.0%	172 49.6%	109 36.8%	41 59.4%	5 31.3%	3 60.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

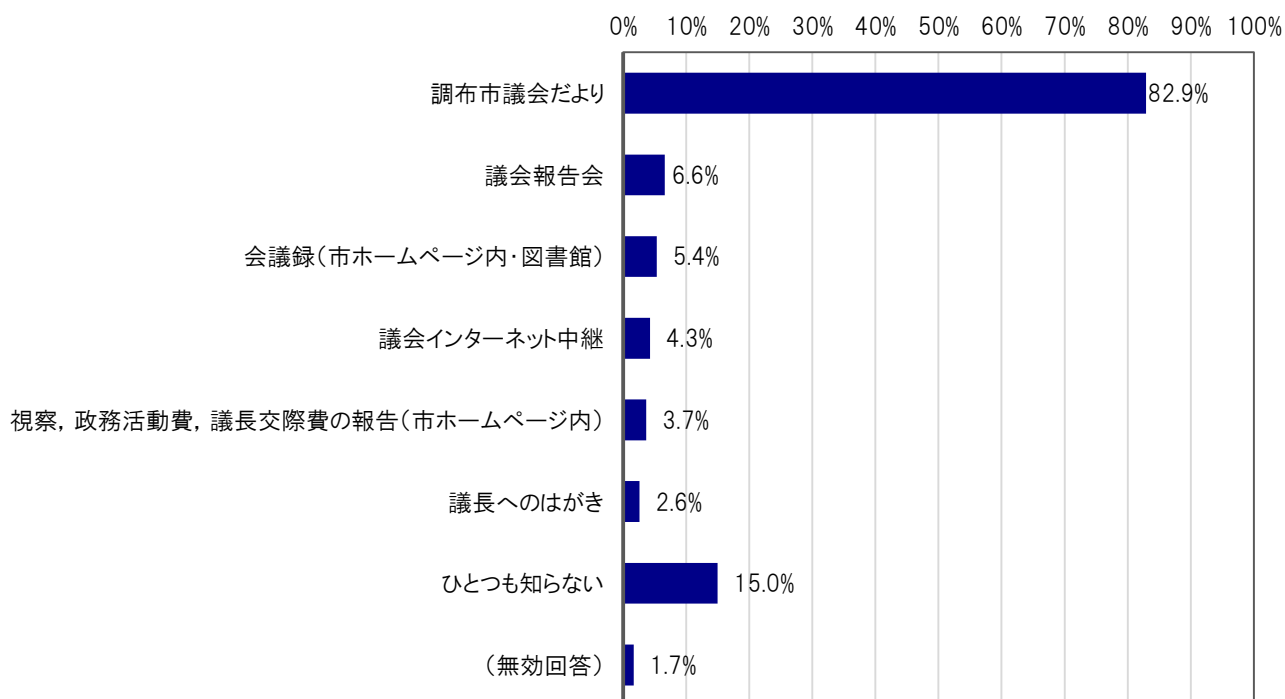
回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

問 37) 調布市議会が行っている広報，広聴活動のうち，あなたが知っているものはどれですか。（※複数回答可）

＜全体（n=1,382）＞

○「調布市議会だより」が82.9%で最も多く，次いで「議会報告会」の6.6%，「会議録（市ホームページ内・図書館）」の5.4%の順となっています。



＜年齢層別＞

○16～19歳以外の年齢層で最も「知っている」ものは，「調布市議会だより」となっています。特に，40歳以上の年齢層では8割以上を占めています。

○16～19歳では，「ひとつも知らない」が半数を上回っています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
調布市議会だより	1,146 82.9%	13 43.3%	61 62.2%	142 74.0%	206 84.8%	193 89.4%	91 91.9%	95 87.2%	173 86.5%	163 89.1%
議会報告会	91 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 3.1%	9 3.7%	11 5.1%	6 6.1%	7 6.4%	28 14.0%	24 13.1%
会議録(市ホームページ内・図書館)	74 5.4%	1 3.3%	7 7.1%	7 3.6%	14 5.8%	14 6.5%	6 6.1%	6 5.5%	10 5.0%	9 4.9%
議会インターネット中継	59 4.3%	0 0.0%	2 2.0%	8 4.2%	16 6.6%	11 5.1%	8 8.1%	4 3.7%	7 3.5%	3 1.6%
視察、政務活動費、議長交際費の報告(市ホームページ内)	51 3.7%	0 0.0%	2 2.0%	9 4.7%	15 6.2%	7 3.2%	5 5.1%	4 3.7%	4 2.0%	4 2.2%
議長へのはがき	36 2.6%	0 0.0%	2 2.0%	3 1.6%	8 3.3%	8 3.7%	2 2.0%	3 2.8%	5 2.5%	5 2.7%
ひとつも知らない	207 15.0%	17 56.7%	34 34.7%	47 24.5%	32 13.2%	21 9.7%	5 5.1%	14 12.8%	19 9.5%	15 8.2%
(無効回答)	23 1.7%	0 0.0%	1 1.0%	2 1.0%	3 1.2%	2 0.9%	3 3.0%	0 0.0%	7 3.5%	5 2.7%
母数	1,382	30	98	192	243	216	99	109	200	183

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%